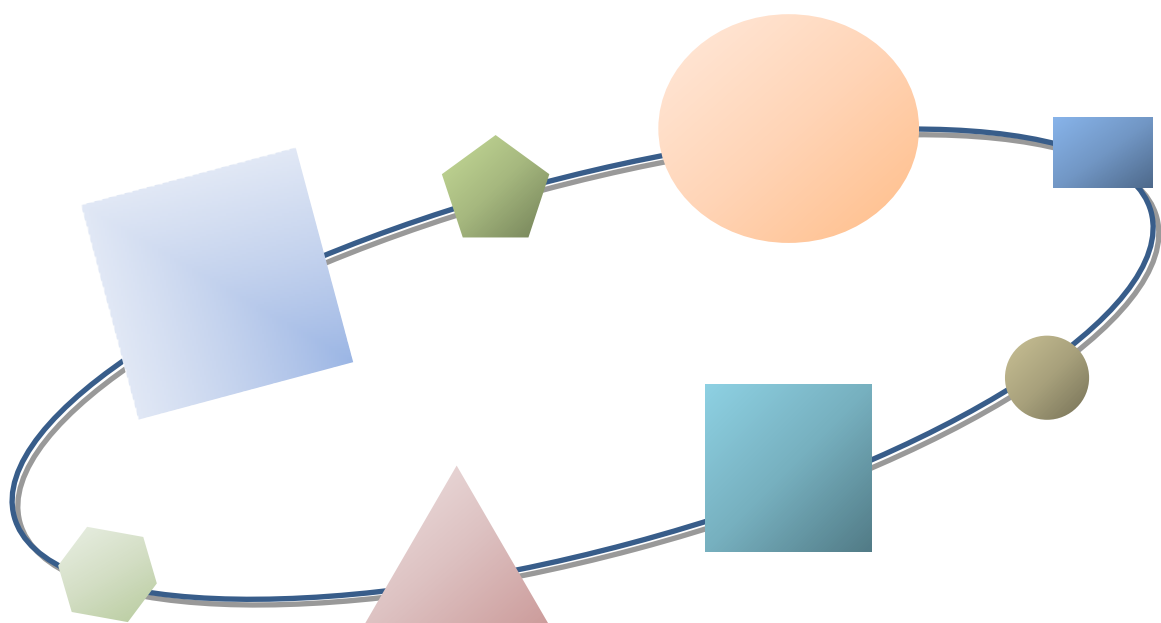


平成 26 年度
蒲郡市公共施設白書



平成 27 年 3 月
蒲郡市

目次

第1章	はじめに	1
1-1	背景	1
1-2	本白書作成の目的	1
第2章	蒲郡市の概要	2
2-1	蒲郡市の概況	2
2-2	人口の推移・将来予測	3
2-3	財政状況の推移	4
2-4	公共施設の保有状況	7
2-5	将来の維持更新費用	10
2-6	公共施設整備状況比較	14
2-7	近隣自治体との公共施設整備状況比較	16
2-8	類似自治体との公共施設整備状況比較	18
第3章	施設用途ごとにみた現状と課題	20
3-1	庁舎等施設（庁舎・車庫）	26
3-2	公民館等施設（公民館・市民会館）	29
3-3	生涯学習施設（博物館等、図書館）	34
3-4	体育施設（スポーツ施設、公園）	39
3-5	学校教育施設（小学校、中学校、専門学校、その他（学校教育））	44
3-6	児童福祉施設（保育園、児童館）	55
3-7	保健・福祉施設（福祉センター等）	64
3-8	公営住宅等施設（公営住宅等）	67
3-9	観光施設	71
3-10	消防施設（消防署等）	75
3-11	その他施設（駐車場、その他）	78
第4章	地区別にみた公共施設の現状	81
4-1	地区の定義	81
4-2	各地区の人口構成と公共施設保有量	82
4-3	大塚地区の現状	83
4-4	三谷地区の現状	88
4-5	蒲郡北地区の現状	93
4-6	蒲郡南地区の現状	98
4-7	塩津地区の現状	104
4-8	形原地区の現状	109
4-9	西浦地区の現状	114

第1章 はじめに

1-1 背景

蒲郡市には、学校や公民館、文化施設など、様々な公共施設が整備されています。しかし、近年、建物自体の老朽化、市民のニーズの多様化、少子高齢化の進展などにより、各施設を取り巻く環境は日々変化しつつあります。

本市が保有する施設はモーターボート競走会館からの繰入金が増えた昭和 50 年代までに整備されたものが多く、近い将来、一定期間に大規模改修や建替えが集中することが想定され、既存の施設を現状のまま維持するには多額の費用が必要になることが見込まれます。

また、人口減少、少子高齢化による世代構成の変化の中で、社会が公共施設に求めるニーズが大きく変化し、高度経済成長期の整備時に想定した設置目的が、現在のニーズに即していない可能性があります。このような状況の中で、財政状況や社会情勢の変化を考慮し、将来の公共施設のあるべき姿を検討する必要があります。

さらに、平成 26 年 5 月に愛知県が発表した東海地震・東南海地震・南海地震等の被害予測調査結果による蒲郡市の被害想定では、最大震度は 7、最大津波高は 5.0m とされており、防災対策の観点からも検討を行う必要があります。

1-2 本白書作成の目的

上記の背景に基づき、蒲郡市の公共施設の現状と課題をありのままに示すことを目的として、蒲郡市公共施設白書を作成します。そして、本白書で明らかとなった課題を解決するために、全庁的な視点で将来の公共施設のあるべき姿を検討していきます。本白書はその取り組みの出発点となるものです。

【本白書をご覧いただくにあたっての注意点】

- ・公共施設の現状については、平成 25 年度末時点の値を用いています。
- ・本白書に掲載している数値は、表示単位未満を四捨五入して掲載しています。そのため表示数値の合計は合計値と一致しない場合があります。
- ・体育施設や公園において、複数の施設を一括した形で指定管理を行っている場合は、施設ごとの経費を費用に応じて按分して掲載しています。

第2章 蒲郡市の概要

2-1 蒲郡市の概況

- ・ 本市は本州のほぼ中心に位置し、渥美半島と知多半島に囲まれた温暖な気候の海辺の街です。温暖な気候を生かしたフルーツ栽培がさかんで、特にハウスミカンには日本有数の出荷量を誇ります。
- ・ 昭和 29 年に三谷町・蒲郡町・塩津村が合併し、市制が施行されました。昭和 30 年に大塚村の大字相楽・大字大塚地区、昭和 37 年に形原町、昭和 38 年に西浦町が合併し、現在に至っています（各市町村・地区の呼称は合併当時のもの）。
- ・ 海辺のテーマパーク、温泉地、競艇場を有する本市には、観光や娯楽を目的に市外より多くの方が訪れます。
- ・ 平成 26 年 3 月末には、国道 23 号蒲郡バイパスが蒲郡インターチェンジまで開通し、西三河地域や名古屋圏との相互交通アクセスが一層容易となりました。これにより、本市の観光や地場産業のさらなる発展が期待されています。
- ・ 古くからの漁師町や、繊維工業で栄えた街を起源としており、限られた平地部に集中して市街地が形成されています。また東海道本線、名鉄蒲郡線などの公共交通も充実しており、コンパクトな都市となっています。

図 2-1 蒲郡市の概況

人口 (平成 22 年国勢調査)	82,249 人
世帯数 (平成 22 年国勢調査)	28,864 世帯
財政力指数 (平成 25 年度)	0.84
歳入総額（普通会計） (平成 25 年度決算)	277.8 億円
歳出総額（普通会計） (平成 25 年度決算)	256.0 億円



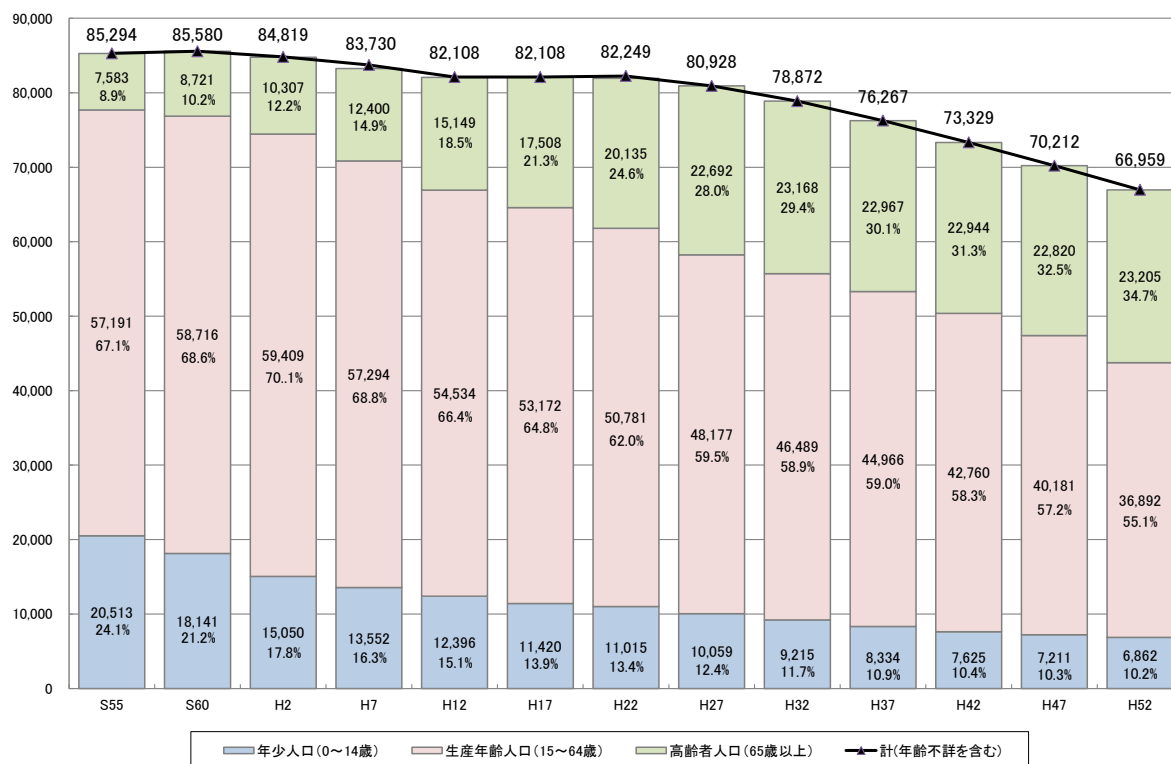
出所：国勢調査、地方公共団体の主要財政指標一覧、蒲郡市決算統計資料

2-2 人口の推移・将来予測

- 人口は、昭和 60 年以降緩やかに減少を続けたものの、平成 12 年からの 10 年間は 82,000 人台を維持しています。
- 将来人口は、平成 22 年国勢調査をもとに平成 25 年 3 月に公表された国立社会保障・人口問題研究所の予測によると、平成 52 年に 67,000 人を割り込むまで減少すると見込まれています。
- 平成 22 年から平成 52 年の間に、生産年齢人口は 50,781 人(62.0%)から 36,892 人(55.1%)に減少し、これに伴う税収減などが見込まれます。一方で、高齢者人口は 20,135 人(24.6%)から 23,205 人(34.7%)と、特に高齢者比率が上昇しており、より少ない生産年齢人口で高齢者を支える構造となります。

このような状況下では、人口減少に伴う余剰施設の発生や、高齢化に伴う公共施設の利用ニーズの変化が想定されます。今後これらに見合った公共施設の再編および用途の転用が必要になると考えられます。

図 2-2 人口の推移・将来予測



※実績値は各年の国勢調査をもとに作成しています。

※推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成 22 年国勢調査をもとに平成 25 年 3 月に公表)をもとに作成しています。

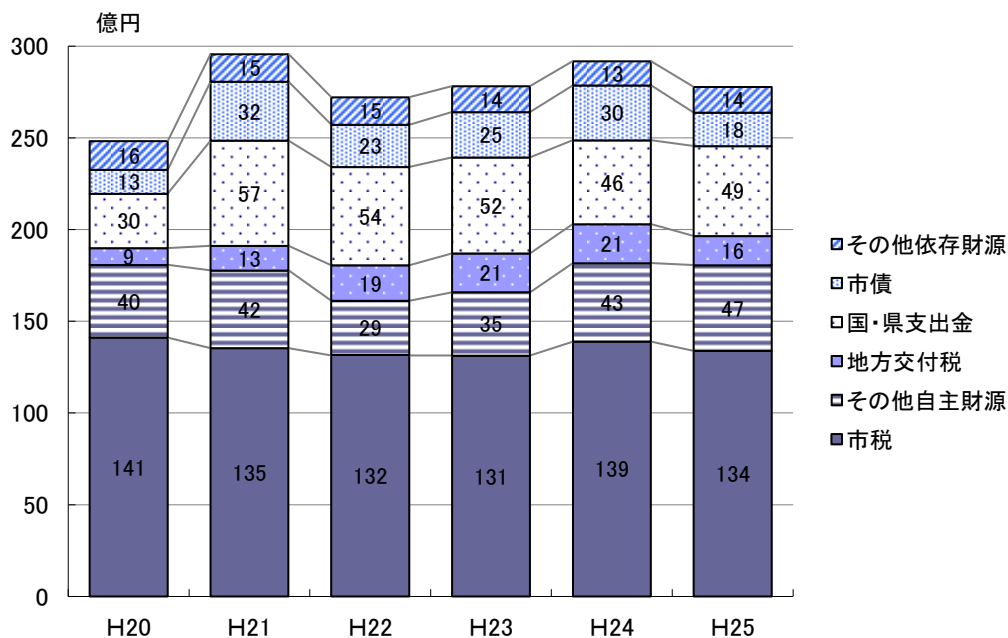
出所：国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査

2-3 財政状況の推移

2-3-1 歳入の推移（普通会計）

- ・ 歳入総額は平成 20 年度から平成 25 年度にかけて、約 250 億円から 300 億円の間で推移しており、平成 25 年度の普通会計決算額は約 277.8 億円となっています。
- ・ 平成 20 年度から平成 25 年度にかけて、国・県支出金や地方交付税等の依存財源による歳入は歳入総額の 3～4 割程度を占め、約 100 億円の前後を推移しています。
- ・ 市税やその他自主財源については、平成 20 年度から平成 25 年度にかけて、約 170 億円の前後を維持しています。しかしながら、将来の人口減により、これらの自主財源の確保は今後一層厳しくなると想定されます。

図 2-3 歳入状況（普通会計決算）



出所：総務省地方財政状況調査関係資料

【歳入に関わる語句の説明】

○普通会計

地方公共団体ごとに各会計に包含する予算内容が異なるため、財政状況の統一的な把握及び比較するための統計上用いられる会計区分。公営事業会計以外の会計を総合して一つの会計としてまとめたものを指す。

○その他依存財源

地方交付税、国・県支出金、市債以外の、政府や県によって定められた額を交付される財源。地方譲与税、地方消費税交付金、自動車取得税交付金、地方特例交付金等。

○市債

地方公共団体の長期借入金（年度を超えて元利を償還する借入金）のことをいう。

○国・県支出金

国庫支出金（国と地方公共団体の経費負担区分に基づき、国が地方公共団体に対して支出する負担金、委託費、特定の施策の奨励又は財政援助のための補助金等）および県支出金（県の市町村に対する支出金）。

○地方交付税

地方公共団体の自主性を損なわず、地方財源の均衡化を図り、かつ地方行政の計画的な運営を保障するために国税の一定割合の額を国が地方公共団体に交付する税のこと。普通交付税と災害等特別の事情に応じて交付される特別交付税がある。

○その他自主財源

市税以外の、市が自らの権限で収入しうる財源。使用料、手数料、財産収入、寄附金、繰入金等。

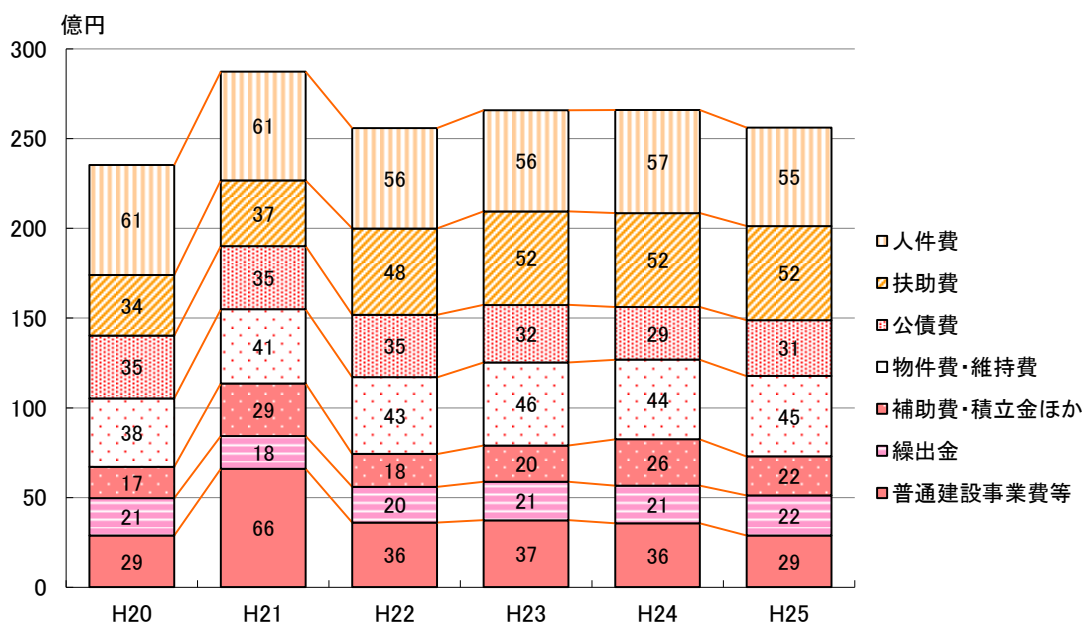
○市税

住民税、固定資産税、都市計画税等の地方税。

2-3-2 歳出の推移（普通会計）

- ・ 歳出総額は平成 20 年度から 25 年度にかけて、平成 21 年度を除き、約 230 億円から 270 億円で推移しています。平成 21 年度歳出総額が他年度に比べて顕著に高いのは、消防施設の移転等が重なったことにより普通建設事業費等が高くなったためです。
- ・ 費目別に見ると扶助費は増加傾向にあり、高齢化が進むことを踏まえると、将来はさらに扶助費の増加が考えられ、財政状況を圧迫する要因となることが想定されます。
- ・ 普通建設事業費等については、平成 21 年度の特例的な歳出以降は、ほぼ一定を維持しています。しかしながら、今後想定される高齢化による扶助費の増加によっては、その影響により普通建設事業費等が削減される可能性もあります。

図 2-4 歳出状況（普通会計決算）



出所：総務省地方財政状況調査関係資料

【歳出に関わる語句の説明】

○人件費

議員報酬、職員給与、その他報酬の額。

○扶助費

社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者等に対する支援に要する経費。児童手当・医療費助成、生活保護費、介護保険給付費等。

○公債費

地方公共団体が発行した地方債の元利償還等に要する経費（地方自治体の借入金の返済にかかる経費）。

○物件費・維持費

物件費（臨時職員の人件費、維持補修費、扶助費、補助費等以外の地方公共団体が支出する消費的（支出の効果が単年度または極めて短期的なもの）な費用の総称）、および維持補修費（公共施設等の管理に必要な費用）。

○補助費・積立金ほか

補助費（他の地方公共団体や国、法人等に対する支出）や積立金、投資及び出資金、貸付金。

○繰出金

普通会計と公営事業会計との間又は特別会計相互間において支出される経費。また、基金に対する支出のうち、定額の資金を運用するためのものも繰出金に含まれる。なお、法非適用の公営企業に対する繰出も含まれる。

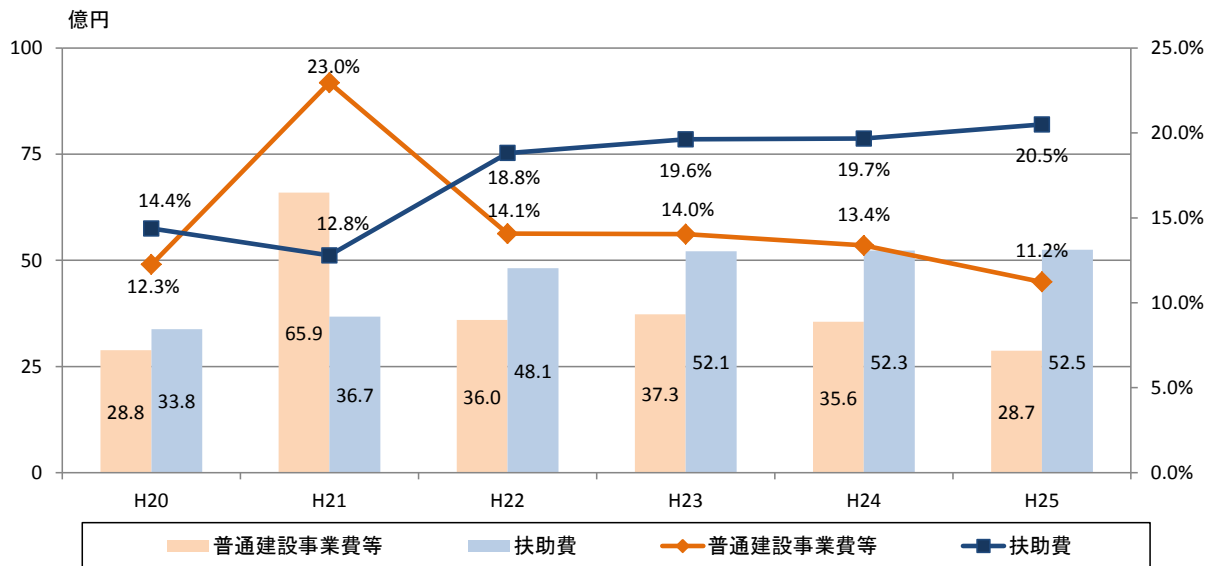
○普通建設事業費等

普通建設事業費（公共施設等の整備を行う際に必要な経費）や、災害復旧事業費、失業対策事業費。

2-3-3 扶助費・普通建設事業費等の総額および歳出に占める割合の推移

- 平成21年度は消防施設の移転により特例的な傾向を示していますが、その翌年の平成22年度以降、扶助費と普通建設事業費等の歳出に占める各割合は、それぞれ増加と減少の傾向を示しています。
- 歳出に占める扶助費の割合について平成20年度と平成25年度を比較すると、14.4%から20.5%へと増加しています。一方、歳出に占める普通建設事業費等の割合について平成20年度と平成25年度を比較すると、12.3%から11.2%へと減少しています。
- なお、普通建設事業費等のうち、公共施設に係る経費（公共施設の維持・整備等に用いられる経費）は、6ヵ年度平均で約18.6億円となっています。
- 上記の傾向と今後加速が予想される高齢化を考慮すると、ますます扶助費の増加は続き、その影響による公共施設に係る経費の減少が想定されます。

図 2-5 扶助費・普通建設事業費等の総額、および歳出に占める割合の推移



出所：総務省地方財政状況調査関係資料

図 2-6 普通建設事業費等に占める公共施設に係る経費の推移

年度	普通建設事業費等 (千円)	公共施設に係る経費 (千円)
		※括弧内は普通建設事業費等に対する割合
平成20年	2,881,515	1,086,868 (37.7%)
平成21年	6,593,202	3,750,107 (56.9%)
平成22年	3,598,820	1,496,957 (41.6%)
平成23年	3,729,793	1,727,860 (46.3%)
平成24年	3,556,181	1,951,904 (54.9%)
平成25年	2,873,992	1,135,977 (39.5%)
平均	3,872,251	1,858,279 (48.0%)

出所：蒲郡市決算統計資料

2-4 公共施設の保有状況

- 平成 25 年度末現在、本市では、総施設数 251、延床面積 372,425 m²の公共施設を保有しています。
- 用途別の保有状況を見ると、学校教育施設が最も多く、次いで保健・福祉施設、その他施設が多くなっています。なお、大規模な競艇場の建物がその他施設（競艇場）に含まれていることから、本市ではその他施設の占める割合が高くなっています。

図 2-7 公共施設保有状況

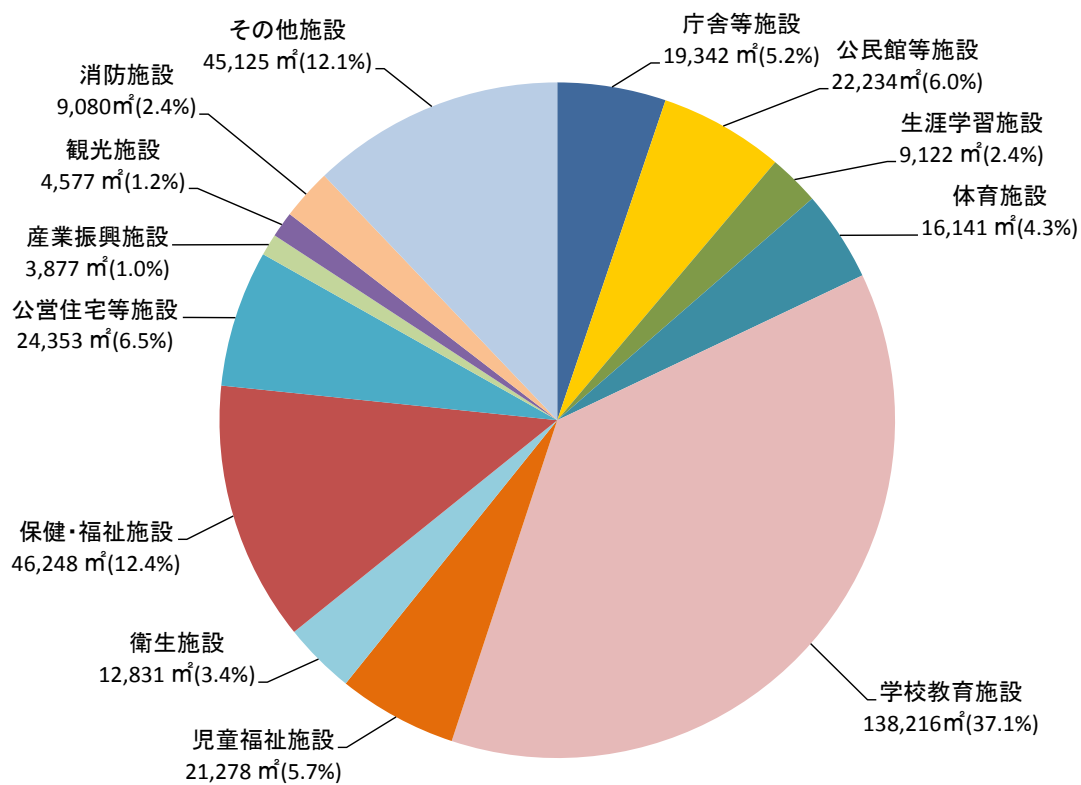
大分類	中分類	総施設数	総面積 (m ²)	延床面積合計 (m ²)
庁舎等施設	庁舎・車庫	1	19,342	19,342
公民館等施設	公民館・市民会館	12	22,234	22,234
生涯学習施設	博物館等	3	5,773	9,122
	図書館	1	3,348	
体育施設	スポーツ施設等	12	14,728	16,141
	公園	34	1,213	
	児童遊園地等	22	200	
学校教育施設	小学校	13	76,099	138,216
	中学校	7	54,007	
	専門学校	1	4,418	
	その他（学校教育）	1	3,692	
児童福祉施設	保育園	18	17,904	21,278
	児童館	7	3,374	
衛生施設	ごみ処理施設等	4	11,587	12,831
	斎場	1	1,244	
保健・福祉施設	福祉センター等	11	46,248	46,248
公営住宅等施設	公営住宅等	9	24,353	24,353
産業振興施設	産業振興施設	1	3,877	3,877
観光施設	観光施設	18	4,577	4,577
消防施設	消防署等	63	9,080	9,080
その他施設	駐車場	5	749	45,125
	競艇場	1	43,838	
	その他	6	538	
合計		251		372,425

※公園については、公衆トイレや小屋等建築物といった建築物が対象。

2-4-1 用途別保有状況

- ・ 白書対象施設の用途別延床面積の内訳を見ると、学校教育施設が 138,216㎡ で全体の 37.1%を占めており、他のどの施設用途に比べても倍以上の延床面積を有しています。次いで、保健・福祉施設が 46,248㎡ で全体の 12.4%を占めており、この2つの用途を合わせると全体の半分近くに相当します。
- ・ その他施設が 45,125㎡ で全体の 12.1%を占めており、3番目に割合が大きくなっています。これは、競艇場を含んでいることによるものです。

図 2-8 施設用途別の建物延床面積の内訳

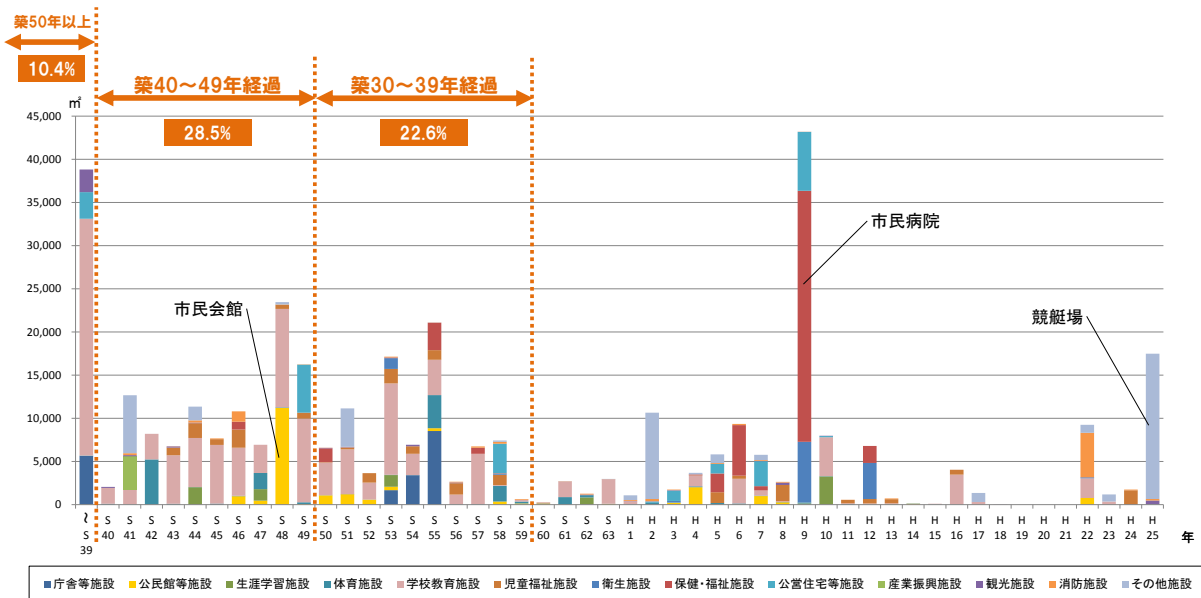


出所：蒲郡市公共施設一覧

2-4-2 築年別整備状況

- ・ 白書対象施設の延床面積の築年別整備状況を見ると、昭和39年までに建設された建物が10.4%、昭和40年代に建設された建物が28.5%、昭和50年代に建設された建物が22.6%を占め、築30年を超える建物が全体の61.5%を占めています。
- ・ 昭和40年代に建設された建物が28.5%と高い割合を占める背景には、公民館等施設の建物約11,204㎡が昭和48年に建設されたことや、学校教育施設が毎年建設されてきたことが挙げられます。学校教育施設については84.8%が築30年を超えています。
- ・ これらの築30年を超える建物は今後、老朽化による大規模修繕や建替えが必要となり、多くのコストがかかることが想定されます。

図 2-9 築年別整備状況（延床面積）



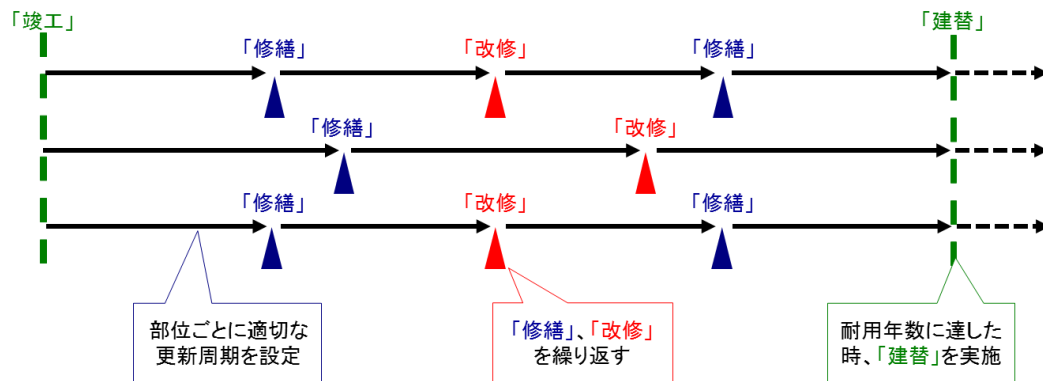
出所：蒲郡市公共施設一覧

2-5 将来の維持更新費用

本市の公共建築物を、既存のまま維持する場合に必要な将来の修繕・改修・建替費用を試算します。推計にあたり、修繕、改修、建替の定義は以下のとおりとします。将来の維持更新費用シミュレーションでは、下記の修繕・改修・建替を設定した周期ごとに実施すると仮定して、費用を算出します。

図 2-10 修繕・改修・建替の定義

	定義
修繕	比較的軽微な工事。屋根や壁の塗り替え、設備のオーバーホールなど、部材・部品の交換を必要としないものを指す。
改修	部材・部品の交換を必要とするものを指し、大規模改修などが該当する。
建替	新たな施設に建替える。



① 対象施設

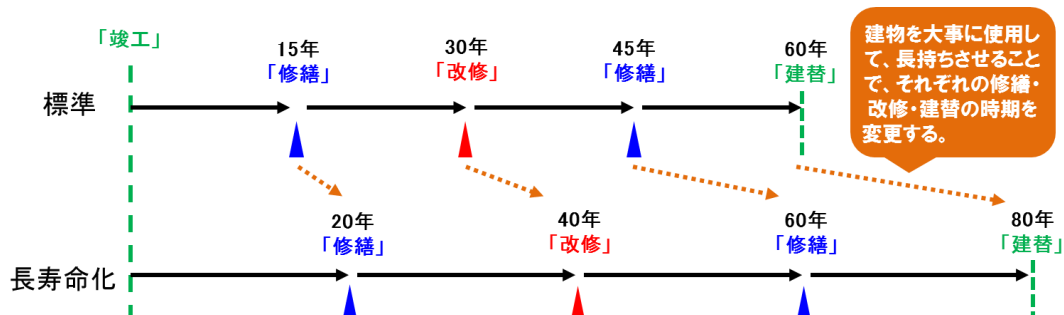
本推計の対象施設は競艇場を除く全公共建築物とします。

② 耐用年数・設定単価

標準的な改修周期、建替周期は、それぞれ 30 年、60 年と設定しました。建物を大事に使用して長持ちさせる「長寿命化」を図るシナリオは、日本建築学会「建築物の耐久計画に関する考え方」によれば、鉄筋コンクリート造の主要な建物の目標耐用年数は 50～80 年とされていることから、80 年と設定しました。

建替単価は、30 万円/m²としました。また修繕・改修単価は、部位ごとに個別に設定し、各部位・設備の数量は、施設用途、延床面積、階数から推計し算出しました。

図 2-11 長寿命化のイメージ



③ 将来の維持更新費用シミュレーション（シナリオの設定）

各シナリオの概要は以下のとおりです。建物の標準的な耐用年数として 60 年と設定したシミュレーションを検討にあたっての出発点とします。続いて長寿命化を念頭においたシナリオも設定し、将来のライフサイクルコストを把握します。

シナリオ 1 は、修繕周期 15 年、改修周期 30 年、建替周期 60 年と周期を設定するシナリオです。

シナリオ 2 は、修繕周期 20 年、改修周期 40 年、建替周期 80 年とするシナリオで、長寿命化を前提とし、各建物を最大限長く供用した場合の費用を算出します。

④ シミュレーション結果

【シナリオ1：標準周期に基づくシナリオ】

修繕・改修・建替それぞれの周期をそれぞれ **15年、30年、60年**と設定するシナリオです。文献調査をもとに上記の周期を標準的な周期に基づくものと整理しました。

周期設定表（シナリオ1）

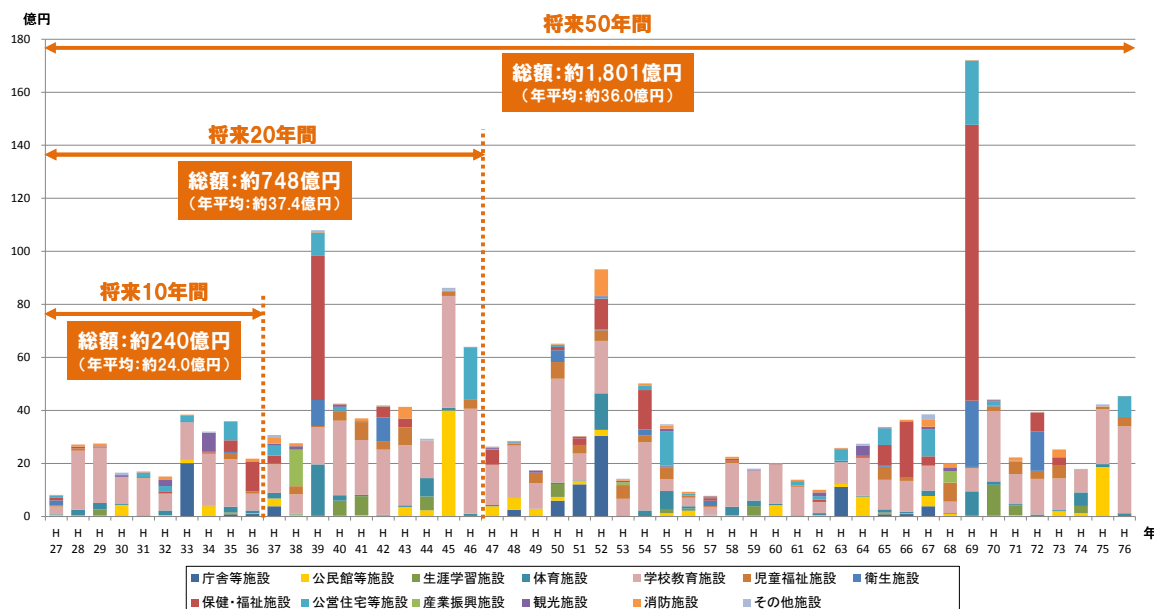
メニュー	周期	考え方
修繕	15年	メーカーが推奨する各部位・設備の推奨する周期を参考とし、設定。ただし、メーカーが推奨する年数は10年程度となっているものも多いものの、10年ごとに修繕を行なうことは費用面から現実的でない判断し、ここでは15年と設定。
改修	30年	建物の耐用年数に到達する60年間の間に一度、大規模改修を行うものと設定。
建替	60年	建物の標準的な耐用年数として、60年と設定。

【ライフサイクルコスト算出結果】

上記の設定に基づき、ライフサイクルコストを算出すると、将来50年間では1年あたり平均約**36.0億円**、将来10年間では約**24.0億円**、将来20年間では約**37.4億円**の費用がかかると推計されています。市民病院が改築を迎える平成69年では170億円を超える結果となっています。

将来50年間における1年あたり平均費用は最近6ヵ年度における公共施設に係る経費の年度平均（約18.6億円）を上回る結果となっています。

図 2-12 将来費用算出結果（シナリオ1）



※競艇場は算定の対象外としています。

期間	年あたり平均費用	合計費用
将来10年間	約24.0億円	約240億円
将来20年間	約37.4億円	約748億円
将来50年間	約36.0億円	約1,801億円

【シナリオ2（参考）：修繕・改修・建替の間隔を延ばし、長寿命化を図るシナリオ】

ここでは、長寿命化を図りコストを最大限削減するシナリオとして下表のとおり修繕・改修周期を設定しました。このシナリオでは、全ての建物の耐用年数を80年として計算しています。

周期設定表（シナリオ2）

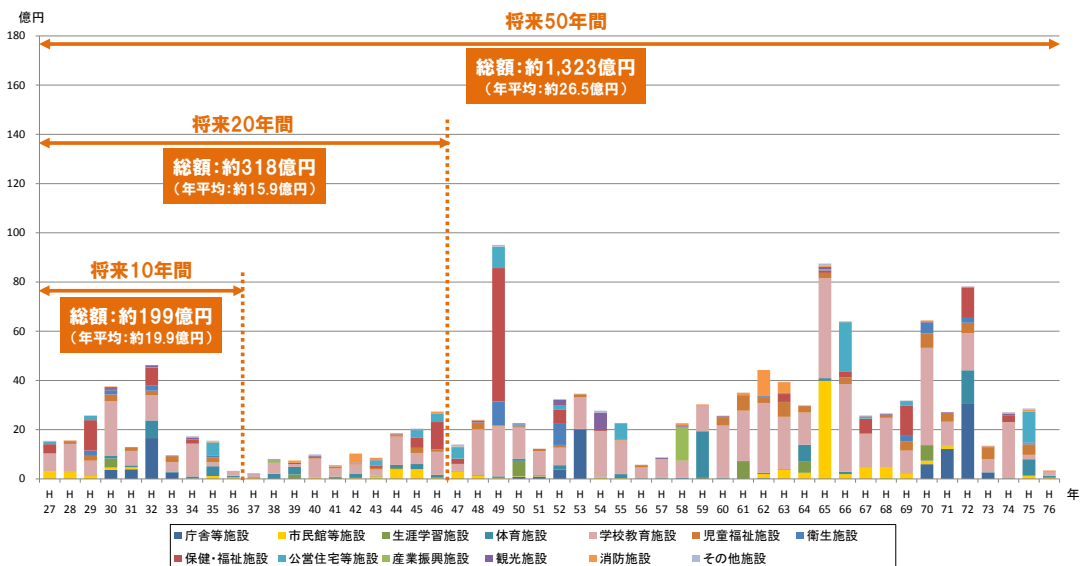
メニュー	周期	考え方
修繕	20年	推奨される周期より間隔を長く設定したもの。既存の部位・設備をなるべく大事に活用することで間隔を延ばすことを想定したシナリオ。
改修	40年	建物の耐用年数に到達する80年間の間に1度、大規模改修を行うものと設定。
建替	80年	長寿命化を図り、80年間供用すると設定。

【ライフサイクルコスト算出結果】

上記の設定に基づき、ライフサイクルコストを算出すると、将来50年間では1年あたり平均約26.5億円、将来10年間では平均約19.9億円、将来20年間では、約15.9億円の費用がかかると算出されています。既存の施設をなるべく大事に供用することによって、シナリオ1と比較して、将来50年間の平均費用で約9.5億円の費用削減が可能であることがわかります。

ただし、このような長寿命化を図った場合においても、将来50年間における1年あたり平均費用は最近6ヵ年度における公共施設に係る経費の年度平均（約18.6億円）を上回る結果となっています。

図 2-13 将来費用算出結果（シナリオ2）



※競艇場は算定の対象外としています。

期間	年あたり平均費用	合計費用
将来10年間	約19.9億円	約199億円
将来20年間	約15.9億円	約318億円
将来50年間	約26.5億円	約1,323億円

2-6 公共施設整備状況比較

本節では、全国との比較により、本市の公共施設の整備状況を把握します。

2-6-1 公有財産の整備状況全国比較

- ・本市の人口1人あたりの公共施設面積（4.53 m²/人）は、全国平均（3.74 m²/人）よりも大きく、したがって将来の財政的負担が大きくなることが想定されます。
- ・本市の可住地面積あたりの公共施設面積（94.3 m²/ha）は、全国平均（39.5 m²/ha）の2倍を超える大きさとなっています。

図 2-14 全国の公有財産整備状況との比較

	蒲郡市	全国
人口（人）	82,249	128,057,352
総面積（ha）	5,681	37,291,849
可住地面積（ha）	3,951	12,215,133
公共施設面積（m ² ）	372,425	479,289,018
人口1人あたり公共施設面積（m ² /人）	4.53	3.74
可住地面積あたりの公共施設面積（m ² /ha）	94.3	39.5
人口1人あたり庁舎面積（m ² ）	0.189	0.132
人口1人あたり公営住宅面積（m ² ）	0.296	0.713
人口1人あたり小中学校面積（m ² ）	1.58	1.37

※人口は平成22年国勢調査の結果（年齢不詳按分済み）をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は平成23年の値を掲載しています。

※本市の庁舎面積には車庫の面積を含んでいません。

出典：国勢調査、社会生活統計指標、統計でみる市区町村のすがた、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

2-6-2 公有財産の整備状況県内比較

・本市の人口 1 人あたりの公共施設面積 (4.53 m²/人) は県内の市でも 4 番目に大きく、名古屋市や刈谷市、豊田市よりも大きくなっています。

図 2-15 県内 38 市 (1 人あたり公共施設面積順) との比較

順位	市名	公共施設面積 (m ²)	人口 (人)	1 人あたり公共施設面積 (m ² /人)
1	田原市	395,219	64,119	6.16
2	新城市	283,862	49,864	5.69
3	常滑市	311,174	54,858	5.67
4	蒲郡市	372,425	82,249	4.53
5	名古屋市	9,999,402	2,263,894	4.42
6	豊田市	1,672,529	421,487	3.97
7	刈谷市	547,352	145,781	3.75
8	弥富市	153,487	43,272	3.55
9	愛西市	221,688	64,978	3.41
10	みよし市	204,950	60,098	3.41
11	知多市	286,883	84,768	3.38
12	豊川市	601,036	181,928	3.30
13	半田市	390,790	118,828	3.29
14	西尾市	542,793	165,298	3.28
15	豊橋市	1,210,148	376,665	3.21
16	津島市	206,997	65,258	3.17
17	碧南市	225,230	72,018	3.13
18	東海市	333,672	107,690	3.10
19	岡崎市	1,131,593	372,357	3.04
20	稲沢市	406,303	136,442	2.98
21	清須市	193,030	65,757	2.94
22	安城市	521,206	178,691	2.92
23	小牧市	418,568	147,132	2.84
24	あま市	244,732	86,714	2.82
25	高浜市	124,032	44,027	2.82
26	一宮市	1,066,313	378,566	2.82
27	長久手市	145,746	52,022	2.80
28	犬山市	199,011	75,198	2.65
29	大府市	225,492	85,249	2.65
30	瀬戸市	324,564	132,224	2.45
31	春日井市	748,643	305,569	2.45
32	豊明市	168,307	69,745	2.41
33	北名古屋市	195,724	81,571	2.40
34	尾張旭市	193,615	81,140	2.39
35	知立市	156,312	68,398	2.29
36	日進市	191,802	84,237	2.28
37	岩倉市	104,519	47,340	2.21
38	江南市	209,867	99,730	2.10

※人口は平成 22 年国勢調査の結果 (年齢不詳按分済み) をもとに掲載しています。

出典：国勢調査、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

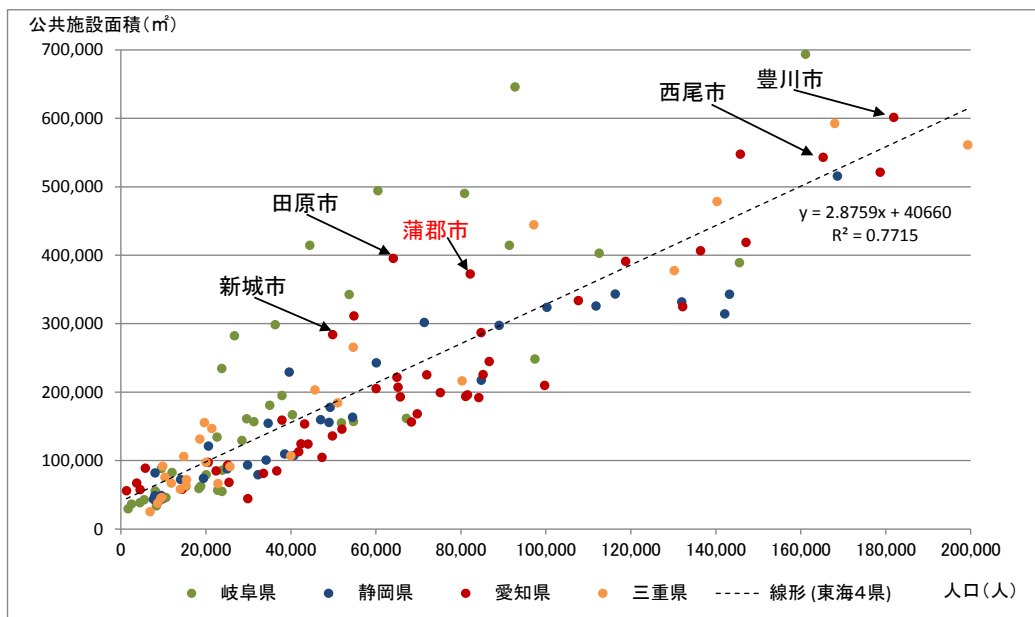
2-7 近隣自治体との公共施設整備状況比較

本節では、東海4県の自治体や東三河5市との比較により、本市の公共施設の整備状況を相対的に把握します。

2-7-1 東海4県人口20万人以下の自治体における公共施設整備状況比較

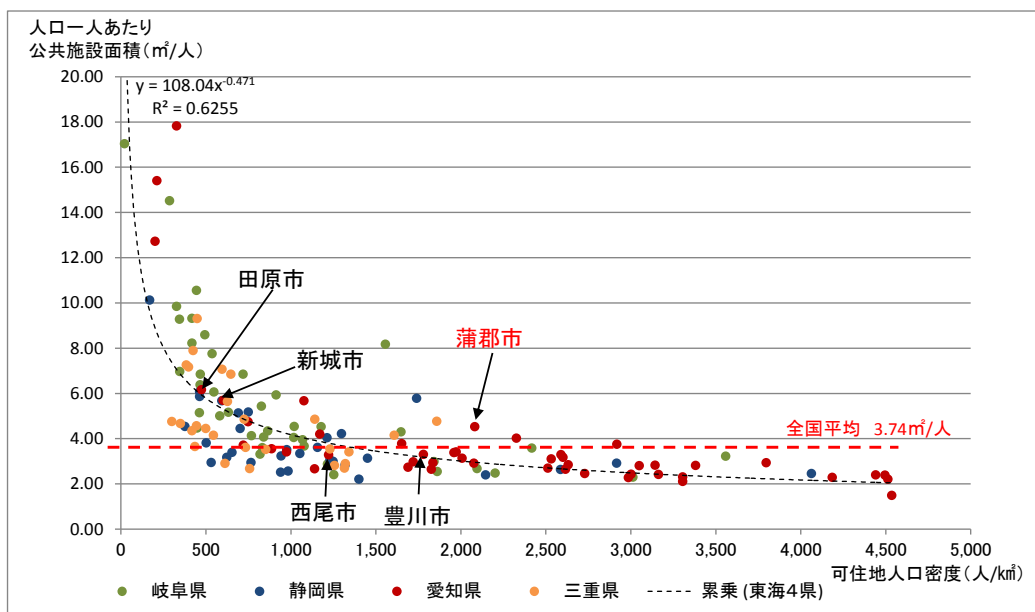
- 人口20万人以下の東海4県の自治体人口と、公共施設面積比較の近似線を求めた結果は下記のとおりとなります。本市は近似線より上部に位置しており、人口に比べ公共施設の保有面積が多いことがわかります。

図 2-16 東海4県人口20万人以下の自治体比較（公共施設面積）



出所：国勢調査、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

図 2-17 東海4県人口20万人以下の自治体比較（人口1人あたり公共施設面積）



出所：国勢調査、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

2-7-2 東三河5市との公共施設整備状況比較

- 東三河5市で施設用途ごとの人口1人あたり延床面積を比較すると、本市は、下表の半数近い施設について上位3位の保有量であることがわかります。
- 本市の総延床面積 4.53 m²/人は、豊橋市、豊川市よりも高い水準となっています。田原市や新城市は本市よりも人口1人あたり総延床面積が大きいです。これらの市はいわゆる「平成の大合併」で市町村合併を行っており、旧自治体毎に支所やホール等が整備されていたことなどから、公共施設面積が大きくなっています。
- また、可住地面積で保有量を比較すると、本市は東三河5市の中で保有量が一番多くなっています。新城市、田原市では面積あたりの保有量は少ないものの、広い市域で最低限の住民サービスを確保するために1人あたりの保有量が増えていますが、本市はコンパクトな可住地の中により多くの公共施設が配置されていることが1人あたりの保有量が多い理由となっています。

図 2-18 東三河5市の公共施設整備状況

	蒲郡市	豊橋市	豊川市	田原市	新城市
人口 (人)	82,249	376,665	181,928	64,119	49,864
総面積 (ha)	5,681	26,135	16,079	18,881	49,900
可住地面積 (ha)	3,951	21,877	10,222	13,506	8,287
公共施設面積 (m ²)	372,425	1,210,148	601,036	395,219	283,862
人口1人あたり公共施設面積 (m ² /人)	4.53	3.21	3.30	6.16	5.69
可住地面積あたり公共施設面積 (m ² /ha)	94.3	55.3	58.8	29.3	34.3
庁舎面積 (m ²)	15,584	59,994	14,945	24,960	5,318
公営住宅面積 (m ²)	24,353	279,312	86,751	63,425	20,364
小中学校面積 (m ²)	130,106	458,542	246,900	122,328	119,956

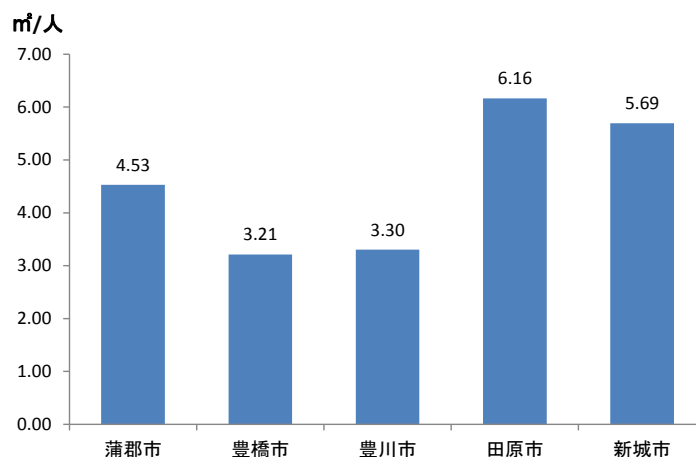
※人口は平成22年国勢調査の結果(年齢不詳按分済み)をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は平成23年の値を掲載しています。

※本市の庁舎面積には車庫の面積を含みません。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

図 2-19 人口1人あたりの公共施設面積の比較



出所：国勢調査、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

2-8 類似自治体との公共施設整備状況比較

本節では、類似自治体との比較により、本市の公共施設の整備状況を相対的に把握します。

2-8-1 類似自治体の抽出

本市との比較対象として、自治体としての規模が類似する自治体を抽出します。まず、自治体としての規模を、人口・面積・財政力の3軸で評価を行いました。人口については市内に住む総人口を、面積については総面積および可住地面積を、財政力については財政力指数を用いて評価を行い、本市との差異がいずれも25%程度におさまる代表的な4市（滋賀県守山市、茨城県牛久市、愛知県知多市、奈良県大和郡山市。以下「類似4自治体」と呼びます。）を抽出しました。なお、各自治体の地形の違いを除くために、総面積だけでなく可住地面積も用いて評価を行いました。

図 2-20 蒲郡市と類似4自治体との比較

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
人口（人）	82,249	76,560	81,864	84,768	89,023
総面積（ha）	5,681	5,573	5,888	4,576	4,268
可住地面積（ha）	3,951	4,496	4,778	4,324	3,878
財政力指数	0.84	0.84	0.88	0.97	0.69

※人口は平成22年国勢調査の結果（年齢不詳按分済み）をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は平成23年の値を掲載しています。

※財政力指数は平成25年度の値を掲載しています。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、地方公共団体の主要財政指標一覧

これら類似4自治体は、人口・面積・財政力の面で本市と似ているだけでなく、近隣都市へのアクセスが良いことからベッドタウンとして発展してきた一方で、湖沼・海・河川・丘陵など自然に恵まれた側面も兼ね備えていることが共通しています。加えて、いずれの自治体も平成の大合併を経ておらず、これまでに急激な規模の変化がない点も共通しています。

図 2-21 類似4自治体の概要

滋賀県 守山市	琵琶湖や乱舞するゲンジボタル、田園地帯に代表される豊かな自然景観が残されている。その一方で、東海道本線による京都・大阪へのアクセスの良さから、京阪神のベッドタウンとして発展してきた。
茨城県 牛久市	稲敷台地に残る豊かな緑と、牛久沼や小野川の水が調和したまちであり、農業も盛んに行われている。首都東京とは常磐線で結ばれ、交通の便の良さと豊かな自然に恵まれた住みやすさから、ベッドタウンとして発展を遂げてきた。
愛知県 知多市	沿岸には発電所や製油所などの臨海工業地帯のみならず海水浴場のような自然に触れられる場所も整備されており、内陸部ではペコロス、フキなど農業も盛んな都市として発展してきた。さらに、丘陵部の宅地開発も進み、名古屋のベッドタウンとしても良好な発展を続けてきた。
奈良県 大和郡山市	大和平野の北部に位置し、大和川流域に広がる田園地帯と西部の矢田丘陵からなる豊かな自然に恵まれた城下町である。昭和40年代には、南部に大規模な昭和工業団地が造成され、大阪市や京都市への通勤上の利便性から、京阪神のベッドタウンとして人口が急増した。

出所：各自治体ホームページ、国土交通省関東地方整備局ホームページ

2-8-2 類似4自治体との公共施設整備状況比較

- ・ 本市は、類似4自治体と比較すると、公共施設保有面積が10～20万㎡程度大きくなっています。
- ・ 人口1人あたりの公共施設面積を比較すると、本市は他の自治体より多くの公共施設を保有していることがわかります。また、可住地面積あたりの公共施設面積も、本市は類似4自治体より大きくなっています。
- ・ 代表的な施設用途別に見ても、庁舎、学校において、本市は類似4自治体より延床面積が大きくなっています。公営住宅においても、わずかに大和郡山市より少ないものの、2番目の大きさとなっています。

図 2-22 類似4自治体と蒲郡市の公共施設整備状況

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
人口（人）	82,249	76,560	81,864	84,768	89,023
総面積（ha）	5,681	5,573	5,888	4,576	4,268
可住地面積（ha）	3,951	4,496	4,778	4,324	3,878
公共施設面積（㎡）	372,425	211,349	188,463	286,883	284,431
人口1人あたり公共施設面積（㎡/人）	4.53	2.76	2.30	3.38	3.20
可住地面積あたり公共施設面積（㎡/ha）	94.3	47.0	39.4	66.3	73.3
庁舎面積（㎡）	15,584	9,222	6,196	10,788	9,081
公営住宅面積（㎡）	24,353	20,134	16,749	7,108	24,738
小中学校面積（㎡）	130,106	98,947	96,856	126,062	122,686

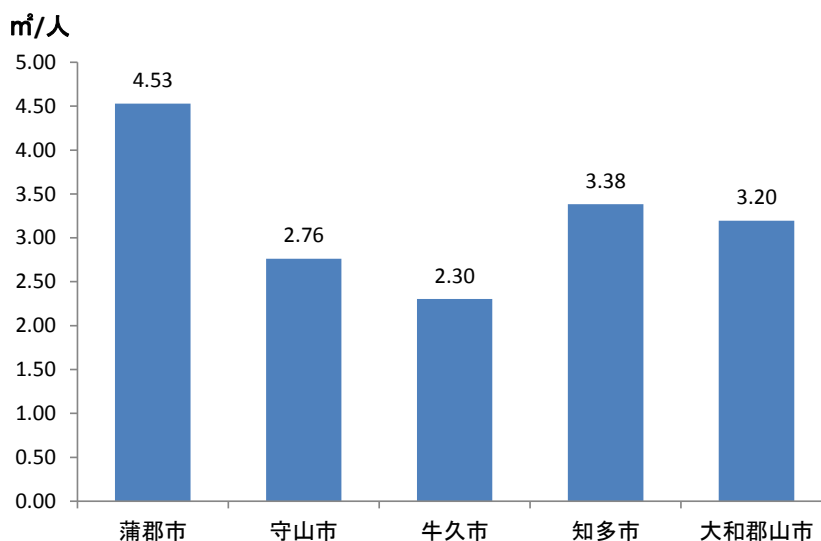
※人口は平成22年国勢調査の結果（年齢不詳按分済み）をもとに掲載しています。

※総面積・可住地面積は平成23年の値を掲載しています。

※本市の庁舎面積には車庫の面積を含みません。

出所：国勢調査、統計でみる市区町村のすがた、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

図 2-23 人口1人あたりの公共施設面積の比較



出所：国勢調査、公共施設状況調、蒲郡市公共施設一覧

第3章 施設用途ごとにみた現状と課題

本章では、本市が保有する公共施設の現況と課題を整理し、今後の整備方針を検討するための基礎資料とします。基本構成は下記のとおりとします。本章で対象とする施設は、主に延床面積 100 m²以上の施設とします。また、施設の処分方針（廃止）が決まっているものは対象外とします。

(1) 配置状況

施設用途別の公共施設の配置状況を整理し、配置図で示します。

(2) 品質・管理運営経費・利用の状況

各施設の設置目的や施設機能等に応じ、品質状況、管理運営経費、利用状況の3つの観点を基本に現状を整理します。

① 品質状況

施設用途ごとに、各施設の老朽化状況を整理します。老朽化状況については、建築士による老朽化診断結果を示します。

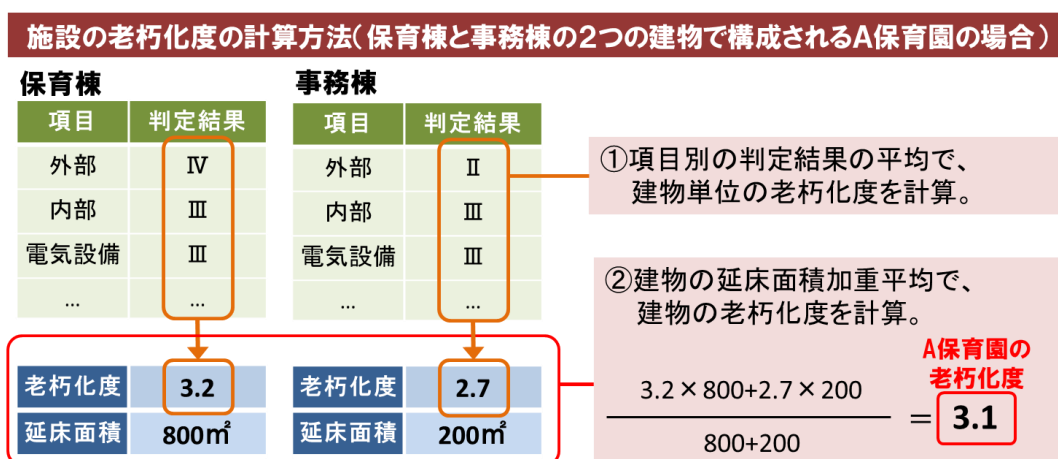
老朽化診断は、各施設の建物ごとに調査を行い、外部（屋根、外壁、建具等）、内部（天井・床・壁等）、電気設備、給排水設備、空調設備、搬送設備の6項目を設定し、部位ごとに5段階での判定を実施しました。判定に当たっての考え方は、下表のとおりとしました。

図 3-1 老朽化判定の基本的考え方

判定結果	老朽化診断	対応
I	老朽化が見られない健全な状態。	特に対応の必要性はない。
II	ほぼ健全な状態。	計画的な保全を継続。状態は常時監視。
III	老朽化が進んでおり、放置すると機能低下又は寿命が早まる。	今後4～6年程度に改修が必要。
IV	老朽化が進んでおり、大きな機能低下が発生している。	今後3年以内に改修・更新が必要。
V	老朽化がかなり進んでおり、安全性を損なう可能性がある。	安全性や機能面から重大な影響を与えるおそれがあり直ちに改修が必要。

老朽化診断により判定した部位ごとの判定結果の平均値を、各建物における老朽化度としました。本白書では、施設単位で分析を行うこととなります。複数の建物で構成される施設の老朽化度は、各建物の部位ごとの老朽化判定結果の平均値を、建物の延床面積で加重平均した値としました（図 3-2 参照）。

図 3-2 施設の老朽化度の計算方法



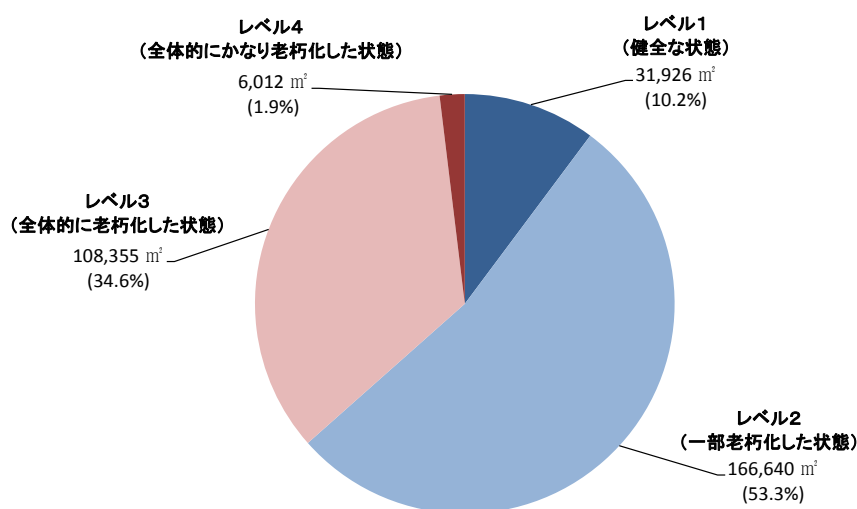
本白書に掲載される老朽化度は、一般的に次のとおり解釈できます。

図 3-3 本白書における老朽化度の解釈

老朽化度	解 釈	対 応
2未満 (レベル1)	ほぼ健全な状態。	計画的な保全を継続。状態は常時監視。
2以上3未満 (レベル2)	一部の部位・建物に老朽化が進行している箇所が存在。	老朽化箇所に対し、早急に修繕・改修を実施することが望ましい。
3以上4未満 (レベル3)	施設全体において老朽化が進行している。	施設全体を改修することが望ましい。
4以上 (レベル4)	施設全体において老朽化がかなり進行しており、老朽化箇所によっては、安全性を損なう可能性がある。	早急な改修が必要。安全性を損なう可能性がある箇所については、直ちに改修が必要。

なお、老朽化診断を行った施設（主に延床面積 100 ㎡以上の施設。全 133 施設、延床面積合計 312,933 ㎡）の老朽化状況をみると、面積にしておよそ 3 分の 1 の施設がレベル 3 以上（施設全体において老朽化が進行している状態）となっています。

図 3-4 老朽化状況別延床面積・割合



※老朽化診断を行った建物のみを対象としているため、面積合計は市の公共施設保有面積と合致しない。

② 利用状況

各施設の利用状況を施設用途別に整理します。

図 3-5 利用状況を確認するための指標

施設種別 (大分類)	施設種別 (中分類)	利用状況を確認するための指標
庁舎等施設	庁舎・車庫	・1日平均利用者数/延床面積
公民館等施設	公民館・市民会館	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率(年間利用コマ数/年間利用可能コマ数)
生涯学習施設	博物館等	・1日平均利用者数/延床面積
	図書館	・貸出冊数/蔵書冊数
体育施設	スポーツ施設等	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率(年間利用コマ数/年間利用可能コマ数)
	公園	—
	児童遊園地等	—
学校教育施設	小学校	・延床面積/児童数
	中学校	・延床面積/生徒数
	専門学校	・延床面積/学生数
	その他(学校教育)	・1日平均配食数
児童福祉施設	保育園	・延床面積/園児数
	児童館	・1日平均利用者数/延床面積
保健・福祉施設	福祉センター等	・1日平均利用者数/延床面積 ・貸部屋等利用率(年間利用コマ数/年間利用可能コマ数)
公営住宅等施設	公営住宅等	・入居率(入居戸数/入居可能戸数)
産業振興施設	産業振興施設	—
観光施設	観光施設	・1日平均利用者数/延床面積
消防施設	消防署等	—
その他施設	駐車場	—
	競艇場	—
	その他	—

※利用コマ数とは、部屋・貸出箇所ごとの貸出単位です。例えば、ある部屋について午前・午後・夜間の3区分で貸出可能な場合は1部屋3コマと数えます。1時間単位での貸出の場合は、9:00～17:00まで貸出可能であれば、1部屋8コマと数えます。

また、利用状況を確認する施設用途については、面積あたり1日平均利用者数、利用率、入居率(住宅施設)、園児・児童・生徒数(保育園、小学校、中学校)あたり延床面積をグラフ化して相対比較を行います。

③ 管理運営経費の状況

各施設が年間にどの程度の支出があり、施設の管理運営等に要する経費が発生しているかについて整理します。

図 3-6 管理運営経費の状況を確認するための指標

費 目	内容（表の合計金額は単位未満四捨五入のため合わない場合があります）
施設に係るコスト	光熱水費、工事請負費・修繕費、土地・建物の賃借料、土地・建物以外のリース料、施設・設備管理委託料等
事業運営に係るコスト	事業委託費、事業物件費（需用費・役務費等）等
人に係るコスト	人件費（概算）

(3) ポートフォリオ分析

公共施設の状況を、①品質（老朽化状況）、②供給（利用状況）、③財務（コスト状況）の観点から分析します。この3点に着目する理由を下表のとおり整理しました。

この三つの視点は、いずれも公共施設を運営していく中で満たすべき条件です。他の施設と比較して相対的に悪い状況にある施設は、状況を改善するための方策が必要です。

図 3-7 ポートフォリオ分析の視点

視 点		分析の視点
ハード	品質（老朽化状況）	市民にとって使用しやすい機能を維持しているか
ソフト	供給（利用状況）	行政サービスを効率的に提供しているか
	財務（コスト状況）	適切な経費で施設が運営されているか

品質状況は、平均築年数・老朽化度（各建物の面積加重平均値）の視点から、供給状況は各施設の利用度の視点から、財務状況は各施設の収支の視点（市の正味の収支）から、それぞれの指標の偏差値を算出します。偏差値が低い場合は、他の施設に比べて、その施設の状況がよくないということとなります。下表に、本分析で用いる指標を整理します。

図 3-8 品質、供給、財務の視点からそれぞれの指標

指 標			指標の概要
ハード	品質	平均築年数	建物の新しさを表現するための指標 ※平均築年数は、施設を構成する各建物の平成26年4月1日を基準とした経過年数（年未満切り上げ）を、施設を構成する全建物の延床面積で加重平均して計算。
		老朽化度	
ソフト	供給	1日あたり平均利用者数	当該施設の稼働状況を把握するための指標
		面積あたり1日平均利用者数	
		平均園児数（または児童・生徒数）あたり面積	
		平均入居率	
		貸部屋等利用率	
	財務	面積あたり市負担額	当該施設の費用面からの運営状況を把握するための指標
		利用者1人あたり1日あたり市負担額	当該施設がどの程度費用面で効率的に使用されているか確認するための指標

これらの指標から施設の特성에応じて適切なものを選択します。また、本分析に馴染まない施設用途や、対象施設数が少なく相対比較が困難な施設用途は本分析の対象外とします。

図 3-9 用途ごとの分析指標

利用用途別分類		品質の視点		供給の視点					財務の視点		
大分類	中分類	平均築年数	老朽化度	1日あたり平均利用者数	面積あたり1日あたり平均利用者数	平均園児数・児童数・生徒数あたり面積	平均入居率	利用率	面積あたり市負担額	利用者1人あたり1日あたり市負担額	平均園児数・児童数・生徒数あたり市負担額
庁舎等施設	庁舎・車庫			ポートフォリオ分析の対象外(対象施設数が少なく相対比較が困難なため)							
公民館等施設	公民館・市民会館	○	○	-	○	-	-	○	○	○	-
生涯学習施設	博物館等	○	○	-	○	-	-	-	○	○	-
	図書館			ポートフォリオ分析の対象外(対象施設数が少なく相対比較が困難なため)							
体育施設	スポーツ施設等	○	○	○	-	-	-	○	○	○	-
	公園			ポートフォリオ分析の対象外(本分析に馴染まない施設用途であるため)							
	児童遊園地等			ポートフォリオ分析の対象外(本分析に馴染まない施設用途であるため)							
学校教育施設	小学校	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○
	中学校	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○
	専門学校			ポートフォリオ分析の対象外(対象施設数が少なく相対比較が困難なため)							
	その他(学校教育)			ポートフォリオ分析の対象外(対象施設数が少なく相対比較が困難なため)							
児童福祉施設	保育園	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○
	児童館	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-
衛生施設	斎場			本章における分析の対象外(処分方針が決まっているため)							
保健・福祉施設	福祉センター等			ポートフォリオ分析の対象外(本分析に馴染まない施設用途であるため)							
公営住宅等施設	公営住宅等	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-
産業振興施設	産業振興施設			本章における分析の対象外(処分方針が決まっているため)							
観光施設	観光施設	○	○	-	○	-	-	-	○	○	-
消防施設	消防署等			ポートフォリオ分析の対象外(本分析に馴染まない施設用途であるため)							
その他施設	駐車場			ポートフォリオ分析の対象外(対象施設数が少なく相対比較が困難なため)							
	競艇場			ポートフォリオ分析の対象外(対象施設数が少なく相対比較が困難なため)							
	その他			ポートフォリオ分析の対象外(対象施設数が少なく相対比較が困難なため)							

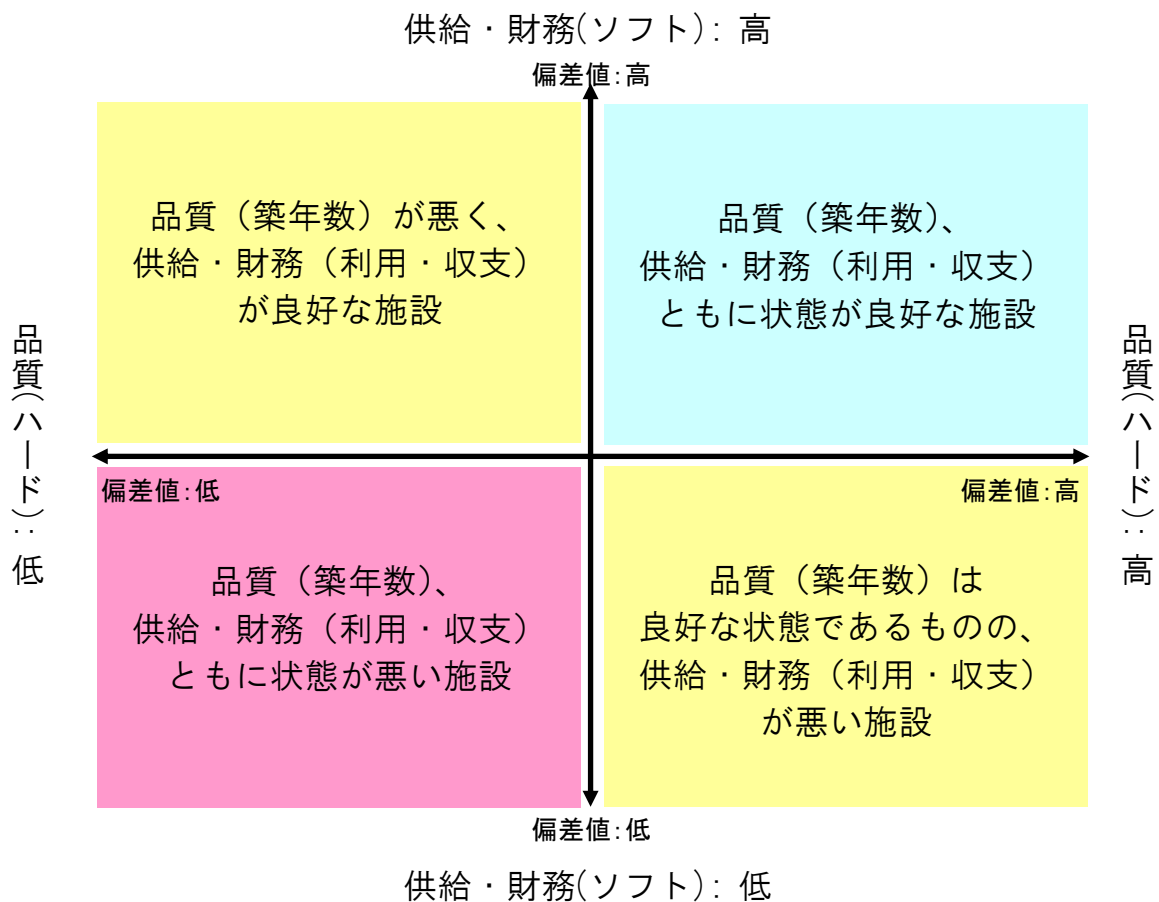
品質に係る指標は施設のハード面での状況を示す指標、供給・財務に係る指標は施設のソフト面での状況を示す指標と捉えることができます。それぞれの指標を品質（ハード）、供給・財務（ソフト）に分類し、それぞれの指標の偏差値の平均を下図のようにプロットすることで、各施設の状況を“可視化”します。

品質状況（ハード）を横軸に、供給・財務状況（ソフト）を縦軸に、偏差値 50 点を中心としたグラフに、各施設の値をプロットすると、そのプロット位置により、各施設の状況を把握することが可能です。

なお、品質状況（ハード）の指標となる偏差値は、全施設を対象として算出します。これにより、当該施設用途が全施設の中でどの程度老朽化した傾向にあるのかを把握できます。供給・財務状況（ソフト）における指標の偏差値は、施設用途ごとに偏差値を算出します。

偏差値を算出し、二軸上のグラフに各施設の値をプロットし、類似施設用途間で相対比較する手法をポートフォリオ分析といいます。

図 3-10 ポートフォリオ分析結果の解釈



3-1 庁舎等施設（庁舎・車庫）

- ・庁舎等施設は、市の行政事務を行うとともに、市民に必要な行政サービスを提供することを目的に設置しています。
- ・本庁舎につきましては、耐震診断の結果、要改修と判定され、平成28年度までに耐震化を図る改修工事を行う計画です。
- ・市民の利便性に配慮し、複数の行政サービスを一つの窓口で行うことができる総合窓口の設置などの取組みを進めています。

図 3-11 配置状況・外観写真（庁舎等施設）



本庁舎

3-1-1 庁舎・車庫

(1) 老朽化状況の把握

・本庁舎は部分的に老朽化が進んだ状態となっていますが、定期的な改修を実施しているため、築年数に対しては良好な状態です。

図 3-12 老朽化状況（庁舎・車庫）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全				老朽化
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
本庁舎	19,342	S36	2.7					

※本庁舎は複数の建物で構成されていますが、建築年は最も古い建物（本館）のものを掲載しています。

(2) 利用状況の把握

・本庁舎は利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

図 3-13 利用状況（庁舎・車庫）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				1日あたり平均 利用者数(人/ 日)	面積あたり1日 あたり平均利 用者数(人/ ㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H23	H24	H25	3年平均			0.0	10.0	20.0	30.0	40.0
本庁舎	19,342	-	-	-	-	-	-	-				

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

※利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

・本庁舎は市の行政機能が集中した施設であるため、コストが高くなっています。
・施設に係るコストが大部分を占めています。

図 3-14 コスト状況（庁舎・車庫）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
本庁舎	137,610	23,222	3,900	0	164,732

施設名称	市の支出(千円)				
	0	40,000	80,000	120,000	160,000
本庁舎					

※支出額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

【参考：類似自治体との比較】

- ・本市と類似する代表的な自治体と庁舎面積を比べると、本市は人口あたり庁舎面積が大きいことが分かります。

図 3-15 本市と類似する代表的な 4 自治体との庁舎面積の比較

	蒲郡市	滋賀県 守山市	茨城県 牛久市	愛知県 知多市	奈良県 大和郡山市
総人口（人）	82,249	76,560	81,864	84,768	89,023
本庁舎面積（㎡）	15,584	7,310	6,274	8,426	7,974
人口あたり庁舎面積 （㎡/人）	0.189	0.120	0.076	0.127	0.102

※本市の本庁舎面積には駐車場棟や車庫を含んでいません。

※類似自治体についての詳細は 18 ページをご覧ください。

出所：総務省「公共施設状況調経年比較表」平成 24 年データより作成

3-2 公民館等施設（公民館・市民会館）

- ・公民館等施設には、市民会館ならびに南部市民センター（府相公民館）、各地区の公民館があります。
- ・市民会館は市民の文化の向上及び福祉の増進を図るために設置され、大小さまざまなホールや会議室、茶室などを備えています。
- ・南部市民センター（府相公民館）は、市民等のコミュニティ活動やサークル活動等の場を提供するために設置され、集会室や和室、料理実習室を備えています。
- ・公民館は、社会教育法に基づき市が設置している社会教育施設で、地域における生涯学習、学術及び文化に関する各種事業を行うほか、住民の教養の向上、健康の増進を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与する場として設置しています。

図 3-16 配置状況・外観写真（公民館等施設）



市民会館



蒲郡公民館



形原公民館

3-2-1 公民館・市民会館

(1) 老朽化状況の把握

・蒲郡公民館と形原公民館以外の公民館・市民会館は、築30年程度かそれ以上が経過しています。小江公民館、南部市民センター（府相公民館）、東部公民館、北部公民館、塩津公民館、市民会館は老朽化度が3を超えており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-17 老朽化状況（公民館・市民会館）

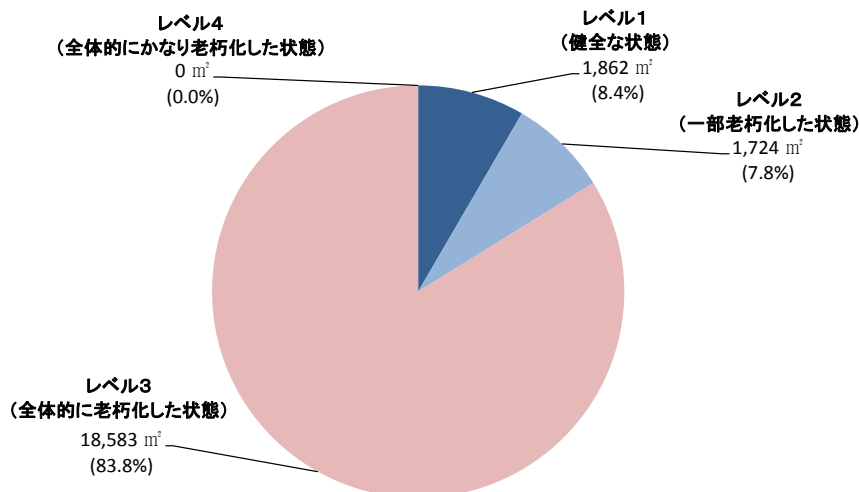
施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
蒲郡公民館	806	H26	1.0	[Progress bar from 1.0 to 1.0]				
小江公民館	677	S50	3.2	[Progress bar from 1.0 to 3.2]				
南部市民センター(府相公民館)	876	S51	3.4	[Progress bar from 1.0 to 3.4]				
東部公民館	667	S48	3.0	[Progress bar from 1.0 to 3.0]				
北部公民館	551	S53	3.0	[Progress bar from 1.0 to 3.0]				
西部公民館	418	S51	2.6	[Progress bar from 1.0 to 2.6]				
三谷公民館	1,854	S46	2.6	[Progress bar from 1.0 to 2.6]				
塩津公民館	554	S50	3.0	[Progress bar from 1.0 to 3.0]				
大塚公民館	742	S47	2.9	[Progress bar from 1.0 to 2.9]				
形原公民館	777	H22	1.0	[Progress bar from 1.0 to 1.0]				
西浦公民館	1,078	S52	2.5	[Progress bar from 1.0 to 2.5]				
市民会館	13,233	S48	3.5	[Progress bar from 1.0 to 3.5]				

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

【参考：老朽化状況別延床面積・割合（公民館・市民会館）】

・公民館・市民会館は、面積にして8割以上がレベル3（施設全体において老朽化が進行している状態）となっています。

図 3-18 老朽化状況別延床面積・割合（公民館・市民会館）



※老朽化診断を行った建物のみを対象としているため、面積合計は市の公共施設保有面積と合致しない。

(2) 利用状況の把握

- ・市民会館は3年平均で、年間約23万7千人の方に利用されています。公民館は館によってばらつきがあり、年間約8千人～4万4千人の方に利用されています。
- ・貸部屋等利用率をみると、東部公民館、北部公民館、西部公民館、三谷公民館、塩津公民館は10%台となっており、相対的に利用率が低い状況です。

図 3-19 利用状況（公民館・市民会館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				1日あたり平均 利用者数(人/ 日)	面積あたり1日 あたり平均利 用者数(人/ ㎡・日)	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率(%)				
		H23	H24	H25	3年平均				0.0	10.0	20.0	30.0	40.0
蒲郡公民館	806	—	—	—	—	—	—	—	—				
小江公民館	677	10,376	14,396	14,486	13,086	44.4	0.065	21.1					
南部市民センター(府相公民館)	876	10,104	12,960	18,257	13,774	44.9	0.051	23.2					
東部公民館	667	20,859	33,687	34,990	29,845	98.7	0.148	16.5					
北部公民館	551	38,184	33,300	31,363	34,282	112.6	0.204	15.5					
西部公民館	418	7,878	8,015	8,731	8,208	27.2	0.065	12.8					
三谷公民館	1,854	34,041	27,652	31,069	30,921	102.9	0.056	16.4					
塩津公民館	554	36,142	29,056	18,094	27,764	92.3	0.167	12.7					
大塚公民館	742	32,851	36,663	34,712	34,742	116.5	0.157	23.7					
形原公民館	777	28,672	33,323	28,803	30,266	99.6	0.128	27.4					
西浦公民館	1,078	44,941	46,120	42,238	44,433	153.7	0.143	22.8					
市民会館	13,233	206,175	247,528	257,095	236,933	769.3	0.058	32.7					

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

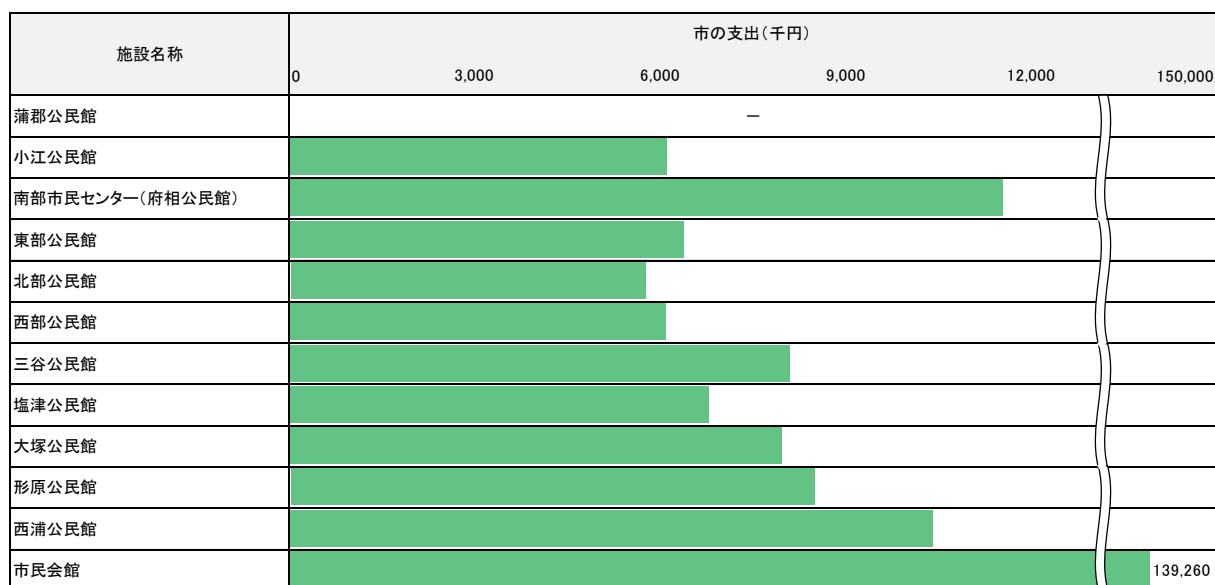
※蒲郡公民館は平成26年度に建築されたため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- ・市民会館のコストが高くなっています。市の支出に着目し支出項目別に見ると、施設に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-20 コスト状況（公民館・市民会館）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡公民館	—	—	—	—	—
小江公民館	290	0	0	5,810	6,100
南部市民センター(府相公民館)	751	1,569	2,152	7,075	11,547
東部公民館	532	0	0	5,844	6,376
北部公民館	291	0	0	5,472	5,763
西部公民館	1,184	0	0	4,901	6,085
三谷公民館	1,767	2,330	4,009	0	8,106
塩津公民館	1,008	0	0	5,780	6,788
大塚公民館	1,453	0	0	6,523	7,976
形原公民館	1,145	0	0	7,344	8,489
西浦公民館	3,340	0	0	7,089	10,429
市民会館	39,935	0	0	99,325	139,260



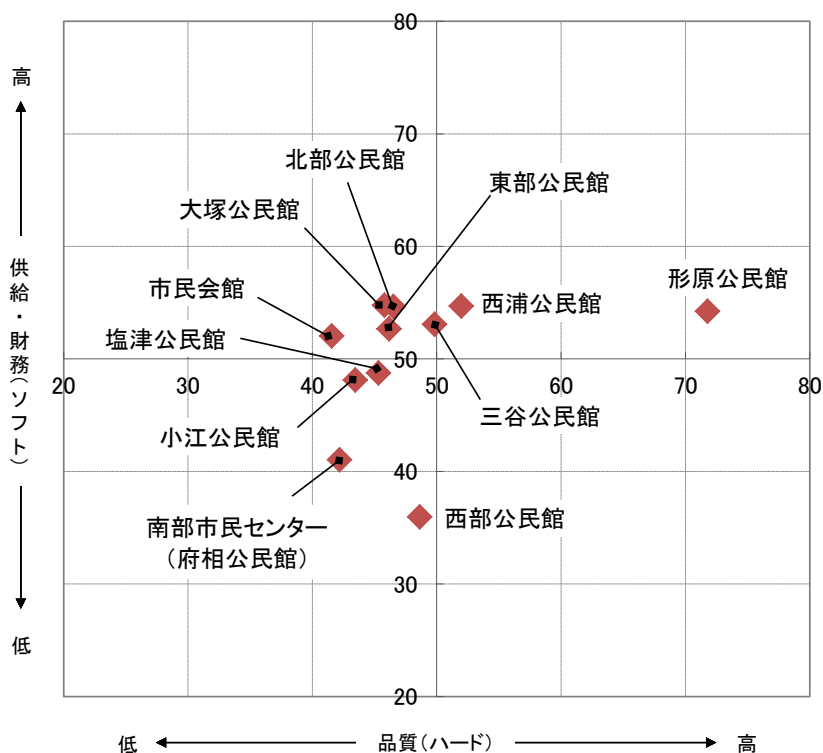
※支出額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。
 ※蒲郡公民館は平成26年度に建築されたため、データを掲載していません。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、蒲郡公民館と形原公民館以外は、偏差値 50 前後か 50 以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・小江公民館、南部市民センター（府相公民館）、西部公民館、塩津公民館は、建物の品質と供給・財務のどちらの視点においても平均偏差値が 50 を下回っています。

図 3-21 ポートフォリオ分析結果（公民館・市民会館）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給				財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	貸部屋等利用率 (%)	偏差値	面積あたり市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人あたり1日あたり市負担額 (円/人・日)	偏差値	
蒲郡公民館	806	0.0	74.5	1.0	72.2	73.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小江公民館	677	38.3	44.3	3.2	42.6	43.5	0.065	40.9	21.1	51.1	9,005	55.2	1.62	45.2	48.1
南部市民センター(府相公民館)	876	38.0	44.5	3.4	39.9	42.2	0.051	38.2	23.2	54.6	12,264	41.9	2.73	29.5	41.0
東部公民館	667	34.8	47.0	3.0	45.3	46.2	0.148	56.7	16.5	43.4	9,555	53.0	0.74	57.6	52.7
北部公民館	551	33.8	47.8	3.0	45.3	46.5	0.204	67.5	15.5	41.7	10,466	49.2	0.56	60.1	54.7
西部公民館	418	35.7	46.4	2.6	50.9	48.6	0.065	40.9	12.8	37.3	14,570	32.4	2.46	33.3	36.0
三谷公民館	1,854	31.7	49.5	2.6	50.2	49.8	0.056	39.0	16.4	43.3	4,361	74.3	0.88	55.6	53.1
塩津公民館	554	36.9	45.4	3.0	45.3	45.3	0.167	60.2	12.7	37.1	12,235	42.0	0.88	55.6	48.7
大塚公民館	742	36.6	45.6	2.9	46.0	45.8	0.157	58.4	23.7	55.4	10,738	48.1	0.77	57.1	54.8
形原公民館	777	4.0	71.3	1.0	72.2	71.8	0.128	52.9	27.4	61.6	10,920	47.4	0.92	55.1	54.2
西浦公民館	1,078	29.3	51.3	2.5	52.6	52.0	0.143	55.7	22.8	54.0	9,668	52.5	0.81	56.6	54.7
市民会館	13,233	37.9	44.6	3.5	38.5	41.6	0.058	39.5	32.7	70.4	9,307	54.0	1.68	44.3	52.0



※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。
 ※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。
 ※蒲郡公民館は平成 26 年度に建築されたため、供給・財務（ソフト）のデータがなく、掲載されていません。品質（ハード）の偏差値は 73.4 となっています。

3-3 生涯学習施設（博物館等、図書館）

- ・平安・鎌倉時代の歌人や、ノーベル文学賞を受賞した川端康成など、様々な文人達に愛された自然や風土または、固有の歴史文化に触れることのできる博物館や生命の海科学館、海辺の文学記念館などが沿岸部を中心に立地されています。
- ・生命の海科学館では、学習指導要領に沿ったワークショップや出前授業といった「学習プログラム」が積極的に行われています。また、小中学生向けのイベント開催等が活発に行われ、市外の子供たちの来場も多くなっています。

図 3-22 配置状況・外観写真（生涯学習施設）



生命の海科学館



博物館



図書館

3-3-1 博物館等

(1) 老朽化状況の把握

- ・生命の海科学館は新しい施設ですが、外装部に部分的な老朽化がみとめられ、定期的な修繕が必要な時期が来ています。
- ・海辺の文学記念館は比較的良好な状態を維持しています。
- ・博物館は築30年以上が経過しています。老朽化度も3を超えており、全体的に老朽化が進んだ状態となっています。

図 3-23 老朽化状況（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
生命の海科学館	3,281	H10	2.8					
海辺の文学記念館	148	H9	1.8					
博物館	2,344	S53	3.3					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・生命の海科学館は平成23～25年度の3ヵ年度平均で約6万人以上に利用されています。また、利用者数は増加傾向にあります。
- ・海辺の文学記念館は利用者数が少ないですが、面積あたり1日あたり平均利用者数をみると、この分類の中で最も多くなっています。

図 3-24 利用状況（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				1日あたり平均 利用者数(人/ 日)	面積あたり1日 あたり平均利 用者数(人/ ㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H23	H24	H25	3年平均			0.000	0.100	0.200	0.300	0.400
生命の海科学館	3,281	53,031	64,714	71,404	63,050	197.6	0.060					
海辺の文学記念館	148	14,389	16,716	16,264	15,790	51.0	0.344					
博物館	2,344	34,574	32,890	30,575	32,680	108.5	0.046					

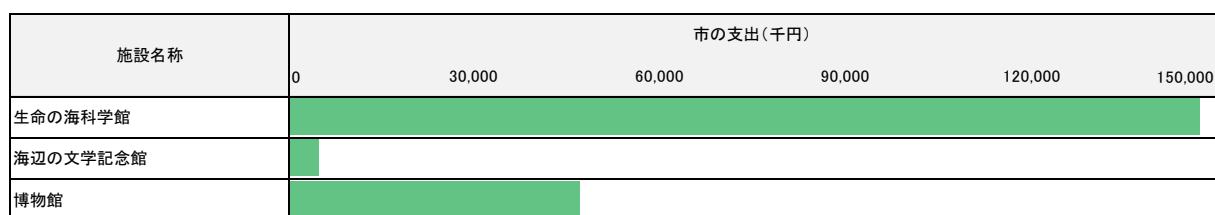
※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・コストは施設の大きさや利用者数に比例しており、生命の海科学館が最も多く、次いで博物館が多くなっています。

図 3-25 コスト状況（博物館等）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
生命の海科学館	44,536	32,951	70,000	0	147,487
海辺の文学記念館	1,898	0	2,695	0	4,593
博物館	12,041	8,007	26,900	0	46,948



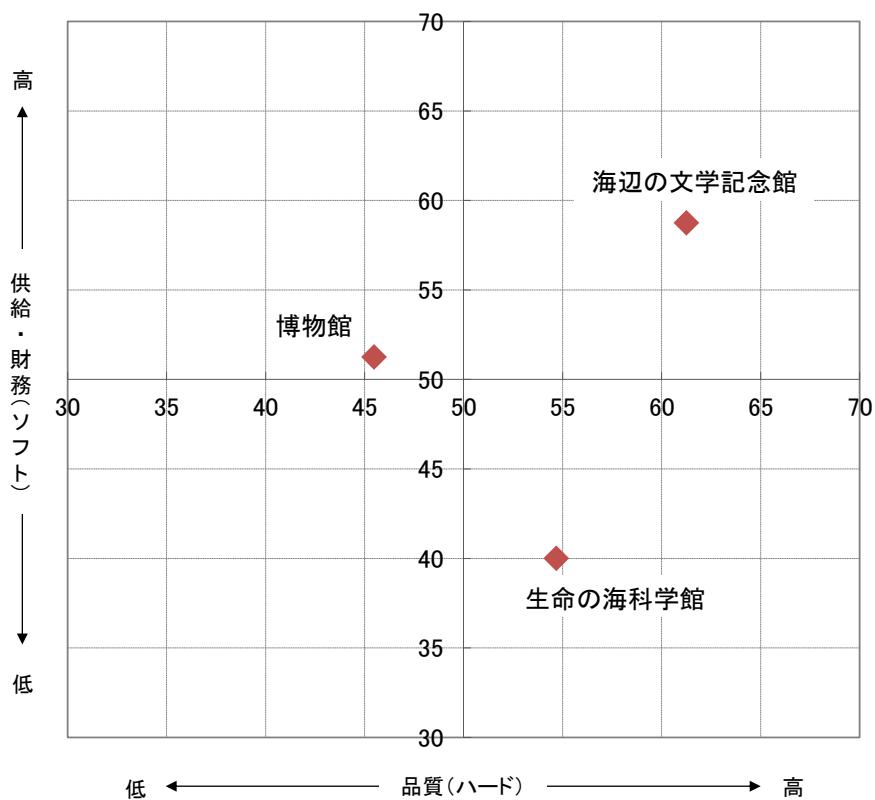
※支出額の値は 3 ヲ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・生命の海科学館は供給・財務において平均偏差値が50以下となっています。
- ・博物館は建物の品質において平均偏差値50以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。

図 3-26 ポートフォリオ分析結果（博物館等）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務			供給・財務 (ソフト) 平均偏差値	
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり1 日あたり平均 利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人 あたり1日あ たり市負担 額(円/人・ 日)		偏差値
生命の海科学館	3,281	16.0	61.9	2.8	47.5	54.7	0.060	43.4	41,522	38.1	6.96	38.4	40.0
海辺の文学記念館	148	17.0	61.1	1.8	61.4	61.3	0.344	64.1	30,951	49.3	0.94	62.8	58.8
博物館	2,344	31.4	49.7	3.3	41.3	45.5	0.046	42.4	18,399	62.6	4.41	48.7	51.2



※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

3-3-2 図書館

(1) 老朽化状況の把握

- ・図書館は築30年以上が経過しています。老朽化度も3を超えており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-27 老朽化状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
図書館	3,348	S44	3.1	3.1				

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・図書館では年間の平均貸出冊数は、40万冊を超えています。蔵書数は約27万冊となっており、平均すると一冊あたり年間1.5回程度の貸出があります。

図 3-28 利用状況（図書館）

施設名称	延床面積 (㎡)	平均貸出冊 数(冊)	平均蔵書数 (冊)	貸出冊数/ 蔵書数	貸出冊数/蔵書数				
					0.0	1.0	2.0	3.0	4.0
図書館	3,348	417,376	266,712	1.565	1.565				

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・図書館は、指定管理者制度を導入しています。
- ・市の支出に着目し支出項目別に見ると、施設に係るコストが大きなものとなっています。

図 3-29 コスト状況（図書館）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
図書館	3,752	0	0	112,879	116,631

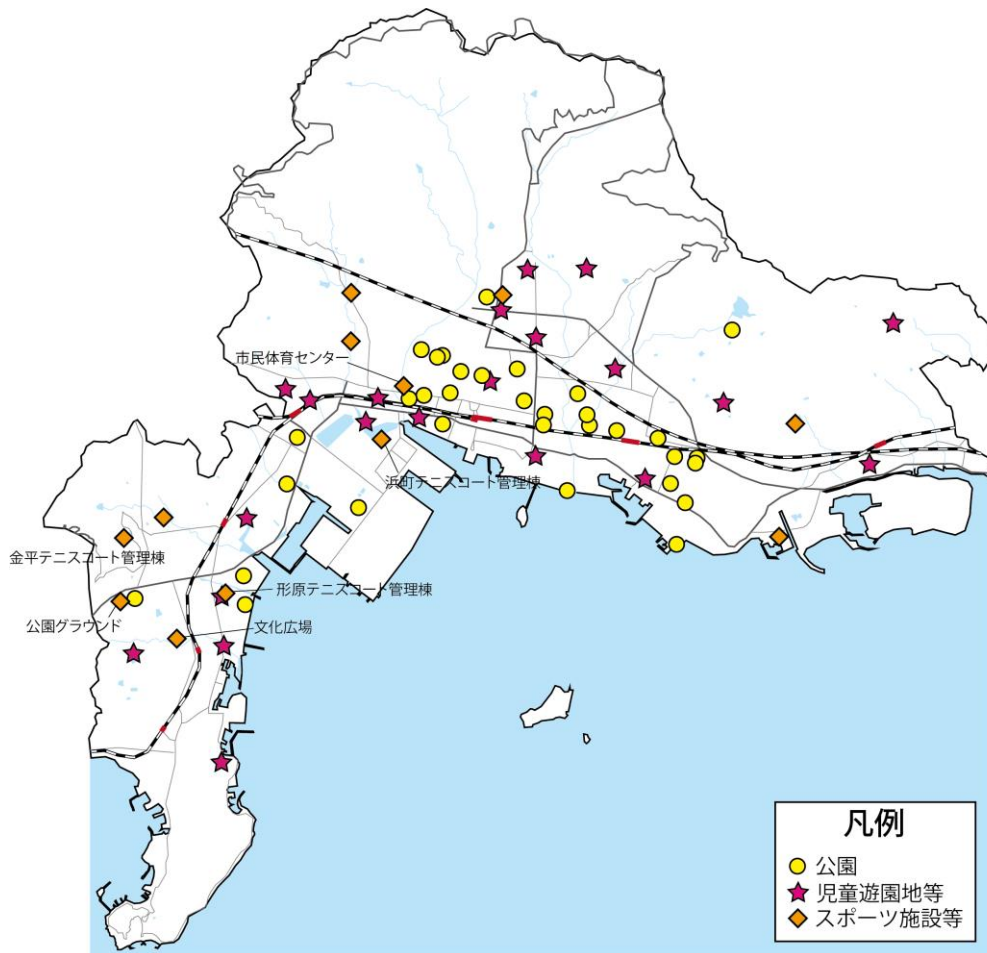
施設名称	市の支出(千円)				
	0	30,000	60,000	90,000	120,000
図書館	116,631				

※支出額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

3-4 体育施設（スポーツ施設、公園）

- ・ 体育施設は、スポーツの振興を図り、住民福祉の向上に寄与することを目的として設置しています。グラウンド、体育館、テニスコート、多目的広場、公園、児童遊園地等の各種施設が整備されています。
- ・ 市民体育センターは、武道館や相撲場だけでなく会議室も完備しているスポーツ施設となっています。
- ・ 小規模な公園や児童遊園地のトイレ・休憩所・屋外競技場等は対象外とします。

図 3-30 配置状況・外観写真（体育施設）



市民体育センター



文化広場



双太山公園

3-4-1 スポーツ施設等

(1) 老朽化状況の把握

- ・市民体育センターは、競技場と武道館（武道館および弓道場・相撲場等）を比べると、競技場の方が老朽化の進んだ状態となっています。
- ・市民体育センター競技場、金平テニスコート管理棟は老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-31 老朽化状況（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度					
				健全	←	→	老朽化		
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	
公園グラウンド	2,071	S47	2.2						
市民体育センター	競技場	5,241	S42	3.6					
	武道館	5,031	S55	2.3					
文化広場	1,857	S58	2.4						
形原テニスコート管理棟	30	S53	調査対象外	調査対象外					
浜町テニスコート管理棟	89	H2	2.8						
金平テニスコート管理棟	242	S62	3.0						

- ※市民体育センターは、競技場と武道館（武道館および弓道場・相撲場等）それぞれの老朽化状況を掲載しています。
- ※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。市民体育センターの武道館については、武道館棟の建築年を掲載しています。
- ※形原テニスコート管理棟は延床面積が50㎡未満のため、老朽化診断の調査対象からは除外しています。

(2) 利用状況の把握

- ・市民体育センターは、年間約17万人の利用があります。
- ・公園グラウンド、市民体育センター、浜町テニスコート、金平テニスコートは利用率が30%以上となっていますが、文化広場、形原テニスコートは利用率が20%を下回っています。

図 3-32 利用状況（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				1日あたり平均利用者数(人/日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)				
		H23	H24	H25	3年平均				0.0	10.0	20.0	30.0	40.0
公園グラウンド	2,071	28,725	33,523	31,202	31,150	101.0	0.049	36.4					
市民体育センター	10,272	171,284	166,287	165,612	167,728	466.8	0.045	39.3					
文化広場	1,857	24,167	22,316	23,992	23,492	76.3	0.041	19.7					
形原テニスコート管理棟	30	2,481	3,384	2,438	2,768	7.7	0.259	16.0					
浜町テニスコート管理棟	89	10,563	10,739	11,131	10,811	35.1	0.392	36.5					
金平テニスコート管理棟	242	14,994	18,357	14,583	15,978	44.5	0.184	46.3					

- ※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。
- ※貸部屋等利用率は競技用の部屋・スペースだけでなく、会議室等を保有している場合は会議室等も含めて計算しています。

(3) コスト状況の把握

- ・施設規模が大きい市民体育センターのコストが高くなっています。特に、指定管理料が他施設よりも高くなっています。

図 3-33 コスト状況（スポーツ施設等）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
公園グラウンド	14,920	0	0	17,395	32,314
市民体育センター	7,316	0	0	40,715	48,031
文化広場	1,511	0	0	9,791	11,302
形原テニスコート管理棟	0	7	0	672	679
浜町テニスコート管理棟	0	0	0	2,624	2,624
金平テニスコート管理棟	243	0	0	3,879	4,122

施設名称	市の支出(千円)					
	0	10,000	20,000	30,000	40,000	50,000
公園グラウンド						
市民体育センター						
文化広場						
形原テニスコート管理棟						
浜町テニスコート管理棟						
金平テニスコート管理棟						

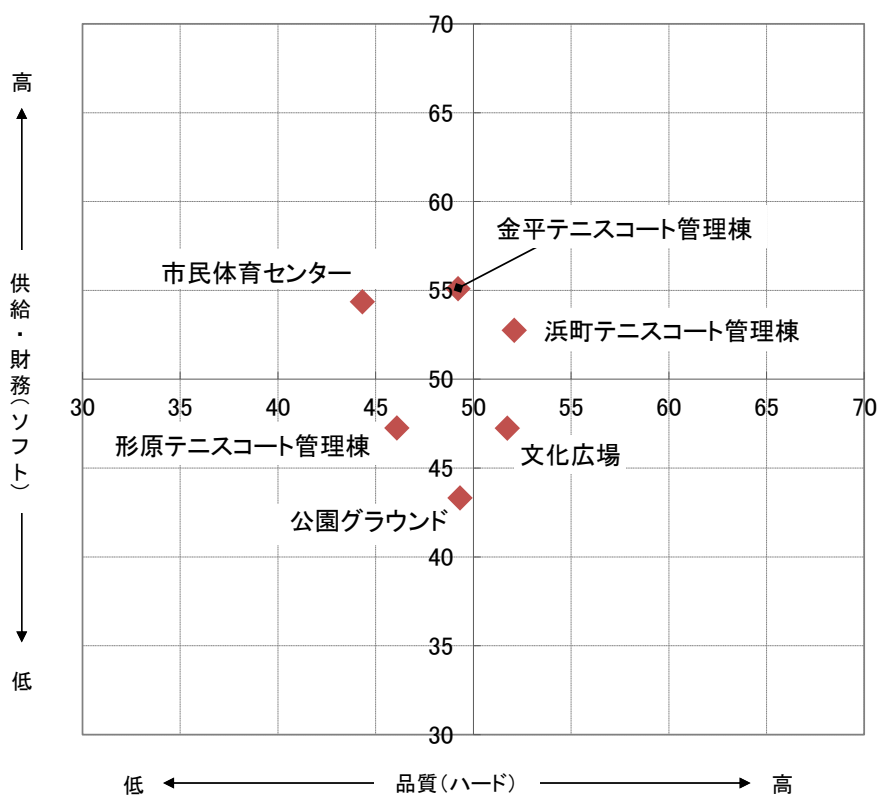
※支出額の値は 3 ヲ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、いずれの施設も平均偏差値 50 前後となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・公園グラウンド、形原テニスコート管理棟、文化広場は供給・財務において平均偏差値が 50 を下回っています。
- ・公園グラウンドは供給・財務において、最も偏差値が低くなっています。

図 3-34 ポートフォリオ分析結果（スポーツ施設等）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給				財務			供給・財務 (ソフト) 平均偏差値	
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	貸部屋等利用率 (%)	偏差値	面積あたり市負担額 (円/㎡)	偏差値	利用者1人あたり1日あたり市負担額 (円/人・日)		偏差値
公園グラウンド	2,071	40.7	42.4	2.2	56.3	49.3	0.049	41.4	36.4	53.7	15,330	49.7	3.38	28.4	43.3
市民体育センター	10,272	39.8	43.1	3.0	45.6	44.3	0.045	41.2	39.3	56.4	3,374	63.2	0.57	56.7	54.4
文化広場	1,857	30.9	50.1	2.4	53.4	51.7	0.041	40.8	19.7	38.3	5,277	61.0	1.36	48.8	47.2
形原テニスコート管理棟	30	36.0	46.1	調査対象外	調査対象外	46.1	0.259	57.4	16.0	34.9	22,808	41.3	0.70	55.4	47.3
浜町テニスコート管理棟	89	24.0	55.6	2.8	48.6	52.1	0.392	67.5	36.5	53.8	28,507	34.9	0.77	54.7	52.7
金平テニスコート管理棟	242	27.0	53.2	3.0	45.3	49.2	0.184	51.7	46.3	62.9	15,172	49.9	0.65	55.9	55.1



※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

3-4-2 公園

(1) 老朽化状況の把握

- ・中央公園（管理事務所・トイレ）、常磐苑（休憩所・トイレ）は老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-35 老朽化状況（公園）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
中央公園	148	S55	3.0					
双太山公園	220	H2	2.5					
春日浦公園	78	H11	2.2					
常磐苑	198	S59	3.0					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

- ・中央公園、双太山公園、春日浦公園では指定管理料が、常磐苑では施設に係るコストが発生しています。

図 3-36 コスト状況（公園）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
中央公園	0	0	0	212	212
双太山公園	0	5	0	225	230
春日浦公園	0	0	0	106	106
常磐苑	781	0	0	0	781

施設名称	市の支出(千円)					
	0	200	400	600	800	1,000
中央公園						
双太山公園						
春日浦公園						
常磐苑						

※支出額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

3-5 学校教育施設（小学校、中学校、専門学校、その他（学校教育））

- ・小（中）学校は、学校教育法で「市町村はその区域内にある学齢児童（生徒）を就学させるに必要な小（中）学校を設置しなければならない。」と定められ、小学校は、心身の発達に応じて、初等普通教育を施すことを目的とし、中学校は、小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、中等普通教育を施すことを目的として設置しています。
- ・地域社会に暮らす人々の健康と福祉に貢献できる看護師を育成することを目的に、ソフィア看護専門学校を設置しています。
- ・市内の小中学校は構造体の耐震化は全て完了しており、災害時の拠点となることが期待されます。

図 3-37 配置状況・外観写真（学校教育施設）



蒲郡南部小学校



大塚中学校



ソフィア看護専門学校

3-5-1 小学校

(1) 老朽化状況の把握

・昭和 20 年代から 40 年代にかけて整備された学校が多く、特に三谷小学校と形原小学校は老朽化度が 3 以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-38 老朽化状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全 1.0	2.0	3.0	4.0	老朽化 5.0
蒲郡南部小学校	6,826	S24	2.5					
蒲郡東部小学校	5,129	S41	2.3					
蒲郡北部小学校	4,747	S27	2.7					
蒲郡西部小学校	3,642	S27	2.2					
三谷小学校	6,092	S32	3.0					
塩津小学校	6,992	S35	2.7					
大塚小学校	5,354	S31	2.5					
形原小学校	6,208	S43	3.2					
西浦小学校	6,101	S31	2.9					
形原北小学校	6,271	S42	2.7					
中央小学校	6,216	S41	2.9					
三谷東小学校	6,548	S32	2.9					
竹島小学校	5,973	S49	2.7					

※校内には複数の建物が建っていますが、建築年は最も建築年の古い建物（倉庫等を含む）をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

・蒲郡西部小学校は、他の小学校に比べて児童 1 人あたり面積が広がっています。一方で、形原北小学校は児童 1 人あたり面積が狭くなっています。

図 3-39 利用状況（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	児童数(人)				児童 1 人あたり 面積 (㎡/人)	児童 1 人あたり面積 (㎡/人)				
		H23	H24	H25	3年平均		0	10	20	30	40
蒲郡南部小学校	6,826	352	339	333	341	20.0					
蒲郡東部小学校	5,129	303	303	294	300	17.1					
蒲郡北部小学校	4,747	299	311	298	303	15.7					
蒲郡西部小学校	3,642	88	80	74	81	45.1					
三谷小学校	6,092	282	281	262	275	22.2					
塩津小学校	6,992	546	499	518	521	13.4					
大塚小学校	5,354	354	330	308	331	16.2					
形原小学校	6,208	452	416	391	420	14.8					
西浦小学校	6,101	241	232	214	229	26.6					
形原北小学校	6,271	563	573	570	569	11.0					
中央小学校	6,216	291	302	334	309	20.1					
三谷東小学校	6,548	314	317	320	317	20.7					
竹島小学校	5,973	323	336	337	332	18.0					

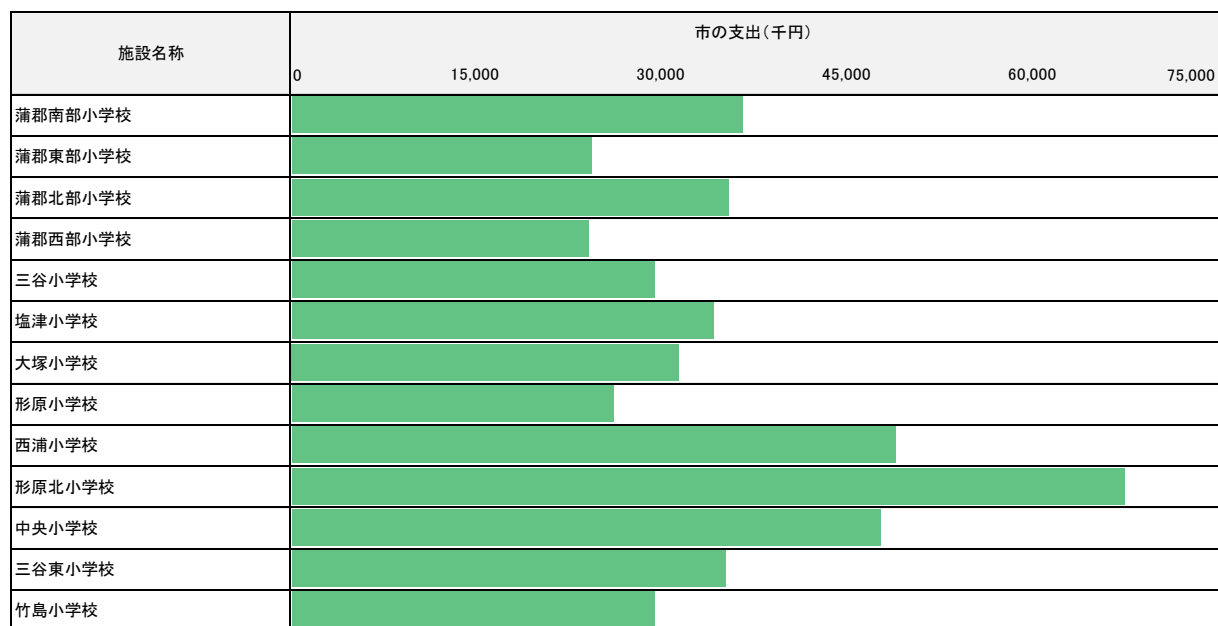
※利用状況の値は 3 ヲ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

・平均児童数が多い形原北小学校のコストが、他の小学校に比べて高くなっています。

図 3-40 コスト状況（小学校）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡南部小学校	25,334	8,452	2,700	0	36,485
蒲郡東部小学校	13,463	8,113	2,700	0	24,276
蒲郡北部小学校	21,184	8,042	6,133	0	35,359
蒲郡西部小学校	14,485	6,878	2,700	0	24,063
三谷小学校	11,914	7,702	9,733	0	29,349
塩津小学校	14,025	9,556	10,633	0	34,215
大塚小学校	17,204	8,424	5,767	0	31,395
形原小学校	12,538	9,041	4,500	0	26,079
西浦小学校	37,975	7,407	3,600	0	48,982
形原北小学校	52,942	8,761	5,767	0	67,470
中央小学校	35,475	8,577	3,600	0	47,652
三谷東小学校	24,761	7,648	2,700	0	35,109
竹島小学校	18,260	8,485	2,700	0	29,445



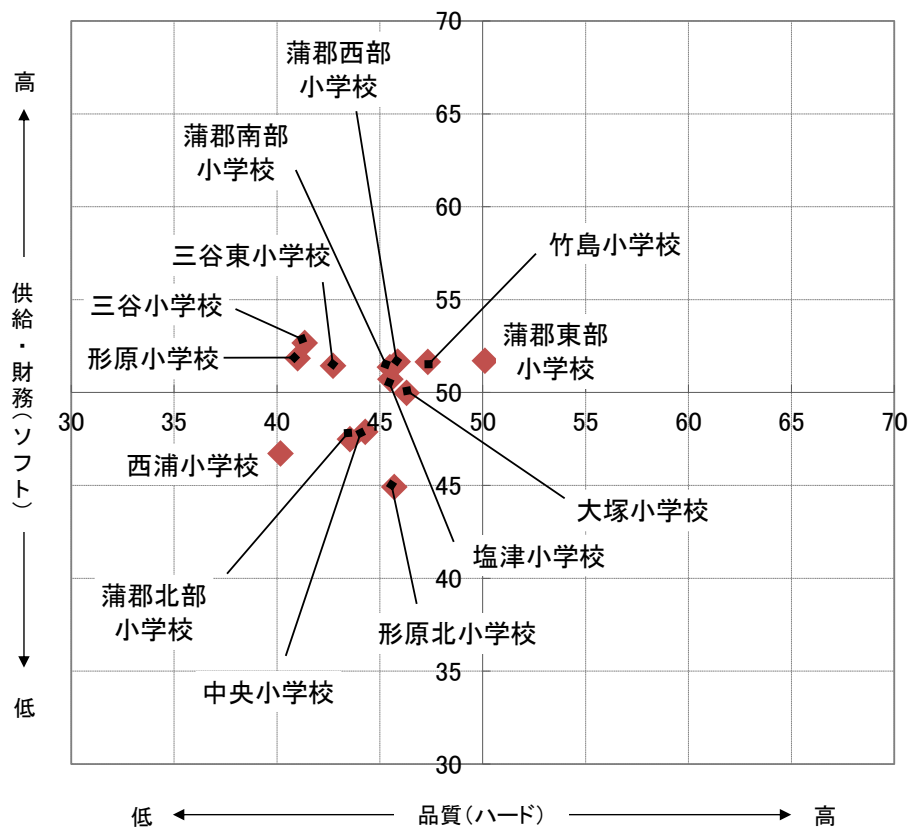
※支出額の値は 3 ヶ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

・多くの小学校において、建物の品質の平均偏差値が 50 を下回っており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。

図 3-41 ポートフォリオ分析結果（小学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務		供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		児童1人あ たり面積 (㎡/人)	偏差値	児童1人あ たり市負担 額(円/人)	偏差値	
蒲郡南部小学校	6,826	44.4	39.4	2.5	51.6	45.5	20.0	49.9	106,753	52.8	51.4
蒲郡東部小学校	5,129	36.3	45.9	2.3	54.4	50.1	17.1	46.4	80,820	57.0	51.7
蒲郡北部小学校	4,747	44.1	39.7	2.7	48.9	44.3	15.7	44.7	117,210	51.1	47.9
蒲郡西部小学校	3,642	45.1	38.9	2.2	55.7	47.3	45.1	80.5	290,734	22.8	51.6
三谷小学校	6,092	46.8	37.6	3.0	45.2	41.4	22.2	52.5	106,773	52.8	52.7
塩津小学校	6,992	41.2	42.0	2.7	49.0	45.5	13.4	41.9	65,602	59.5	50.7
大塚小学校	5,354	42.8	40.7	2.5	51.9	46.3	16.2	45.3	95,282	54.7	50.0
形原小学校	6,208	44.2	39.6	3.2	42.4	41.0	14.8	43.6	62,060	60.1	51.8
西浦小学校	6,101	52.4	33.2	2.9	47.2	40.2	26.6	58.0	213,218	35.4	46.7
形原北小学校	6,271	40.3	42.7	2.7	48.7	45.7	11.0	39.0	118,847	50.8	44.9
中央小学校	6,216	43.8	39.9	2.9	47.2	43.5	20.1	50.1	155,127	44.9	47.5
三谷東小学校	6,548	45.1	38.9	2.9	46.6	42.7	20.7	50.7	110,664	52.2	51.4
竹島小学校	5,973	40.0	43.0	2.7	48.8	45.9	18.0	47.5	88,139	55.8	51.7



※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

3-5-2 中学校

(1) 老朽化状況の把握

- ・どの中学校も昭和30年代から50年代にかけて整備されています。
- ・中でも塩津中学校は、老朽化が進んでいます。一方、形原中学校と西浦中学校は他の中学校と比べると、相対的に健全な状態を維持しています。

図 3-42 老朽化状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
蒲郡中学校	9,336	S36	2.3					
三谷中学校	7,939	S48	2.7					
塩津中学校	6,740	S37	3.2					
大塚中学校	7,104	S32	2.4					
形原中学校	8,566	S40	2.1					
西浦中学校	6,737	S38	2.1					
中部中学校	7,585	S53	2.3					

※校内には複数の建物が建っていますが、建築年は最も建築年の古い建物（倉庫等を含む）をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・大塚中学校と西浦中学校の生徒1人あたり面積が広がっています。一方で、形原中学校と蒲郡中学校は、生徒1人あたり面積が狭くなっています。

図 3-43 利用状況（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	生徒数(人)				生徒1人あたり 面積(㎡/人)	生徒1人あたり面積(㎡/人)				
		H23	H24	H25	3年平均		0	10	20	30	40
蒲郡中学校	9,336	524	508	520	517	18.0					
三谷中学校	7,939	338	333	318	330	24.1					
塩津中学校	6,740	298	321	317	312	21.6					
大塚中学校	7,104	172	171	184	176	40.4					
形原中学校	8,566	520	526	517	521	16.4					
西浦中学校	6,737	166	158	148	157	42.8					
中部中学校	7,585	343	324	338	335	22.6					

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・どの中学校も一定程度のコストが発生していますが、大塚中学校、形原中学校、西浦中学校は相対的にコストが小さくなっています。

図 3-44 コスト状況（中学校）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
蒲郡中学校	27,595	10,284	8,300	0	46,179
三谷中学校	34,295	8,014	7,033	0	49,343
塩津中学校	37,117	8,170	5,767	0	51,053
大塚中学校	24,446	7,190	6,500	0	38,136
形原中学校	17,276	9,192	5,767	0	32,235
西浦中学校	21,495	7,699	2,700	0	31,894
中部中学校	40,768	8,111	5,767	0	54,646

施設名称	市の支出(千円)					
	0	15,000	30,000	45,000	60,000	75,000
蒲郡中学校						
三谷中学校						
塩津中学校						
大塚中学校						
形原中学校						
西浦中学校						
中部中学校						

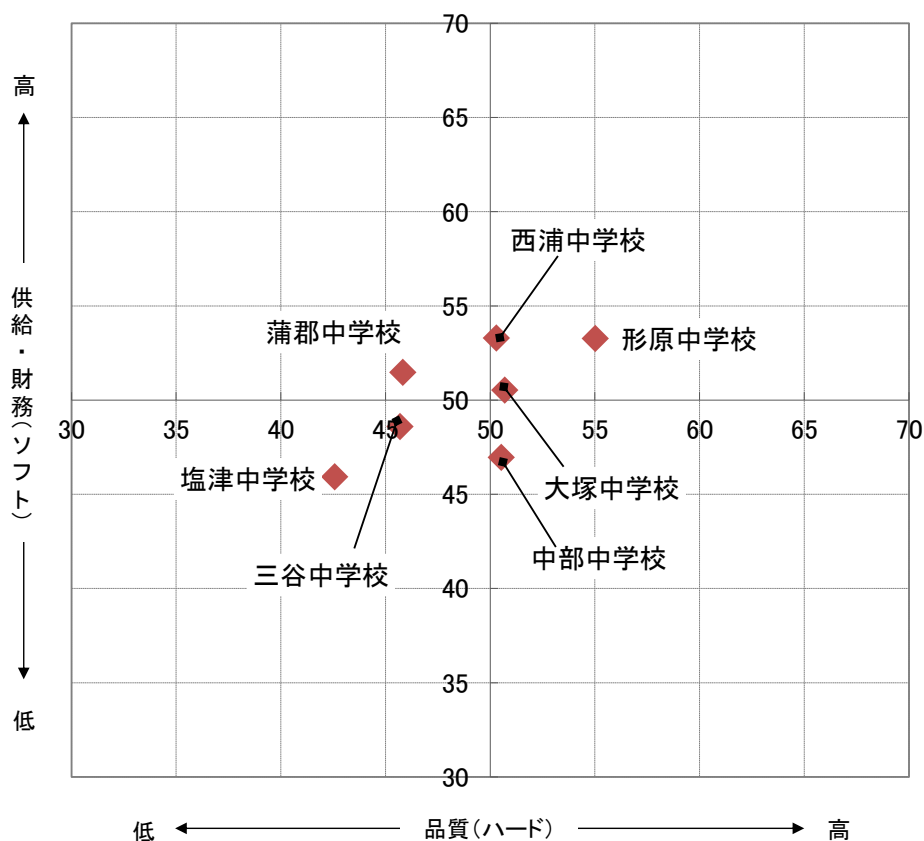
※支出額の値は 3 ヲ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・多くの中学校において、建物の品質の平均偏差値が50前後か50を下回っており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・形原中学校は、建物の品質と供給・財務のどちらの視点においても、他の中学校よりも偏差値が高くなっています。

図 3-45 ポートフォリオ分析結果（中学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務		供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		生徒1人あ たり面積 (㎡/人)	偏差値	生徒1人あ たり市負担 額(円/人)	偏差値	
蒲郡中学校	9,336	47.7	36.8	2.3	54.8	45.8	18.0	41.3	89,082	61.6	51.5
三谷中学校	7,939	40.7	42.4	2.7	49.0	45.7	24.1	47.5	151,532	49.7	48.6
塩津中学校	6,740	39.7	43.2	3.2	41.9	42.6	21.6	44.9	166,337	46.9	45.9
大塚中学校	7,104	33.7	47.9	2.4	53.5	50.7	40.4	64.1	218,571	37.0	50.5
形原中学校	8,566	27.0	53.2	2.1	56.9	55.0	16.4	39.7	61,611	66.8	53.3
西浦中学校	6,737	40.3	42.7	2.1	57.9	50.3	42.8	66.5	202,225	40.1	53.3
中部中学校	7,585	35.7	46.4	2.3	54.7	50.5	22.6	46.0	161,093	47.9	46.9



※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

3-5-3 専門学校

(1) 老朽化状況の把握

・ソフィア看護専門学校は築 20 年未満であり、老朽化度も 2 を下回っており、比較的健全な状態を維持しています。

図 3-46 老朽化状況（専門学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
ソフィア看護専門学校	4,418	H10	1.9					

※ソフィア看護専門学校は校舎と体育館で構成されていますが、建築年は最も古い建物（校舎）のものを掲載しています。

(2) 利用状況の把握

・ソフィア看護専門学校は毎年一定人数の学生数を確保し、安定した利用状況となっています。

図 3-47 利用状況（専門学校）

施設名称	延床面積 (㎡)	学生数(人)				学生1人あたり 面積(㎡/人)	学生1人あたり面積(㎡/人)				
		H23	H24	H25	3年平均		0	10	20	30	40
ソフィア看護専門学校	4,418	118	119	118	118	37.3					

※利用状況の値は3ヵ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

・支出項目別に見ると、人に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-48 コスト状況（専門学校）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
ソフィア看護専門学校	14,060	14,446	98,567	0	127,073

施設名称	市の支出(千円)				
	0	30,000	60,000	90,000	120,000
ソフィア看護専門学校					

※支出額の値は3ヵ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

3-5-4 その他（学校教育）

(1) 老朽化状況の把握

・学校給食センターは、建築年数が10年程度となっており、良好な状態に維持されています。

図 3-49 老朽化状況（その他（学校教育））

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
学校給食センター	3,692	H16	1.0					

※学校給食センターは給食センター棟と車庫棟で構成されていますが、建築年は最も古い建物（給食センター棟）のものを掲載しています。

(2) 利用状況の把握

・学校給食センターは、稼働日1日あたり約7000食を配食しています。

図 3-50 利用状況（その他（学校教育））

施設名称	延床面積 (㎡)	配食数(食)				稼働日1日 あたり配食数 (食/日)	稼働日1日あたり配食数(食/日)				
		H23	H24	H25	3年平均		0	1,500	3,000	4,500	6,000
学校給食センター	3,692	1,575,997	1,288,748	1,522,623	1,462,456	6,621.7					

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

・支出項目別に見ると、事業運営に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-51 コスト状況（その他（学校教育））

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
学校給食センター	92,436	438,153	129,400	0	659,989

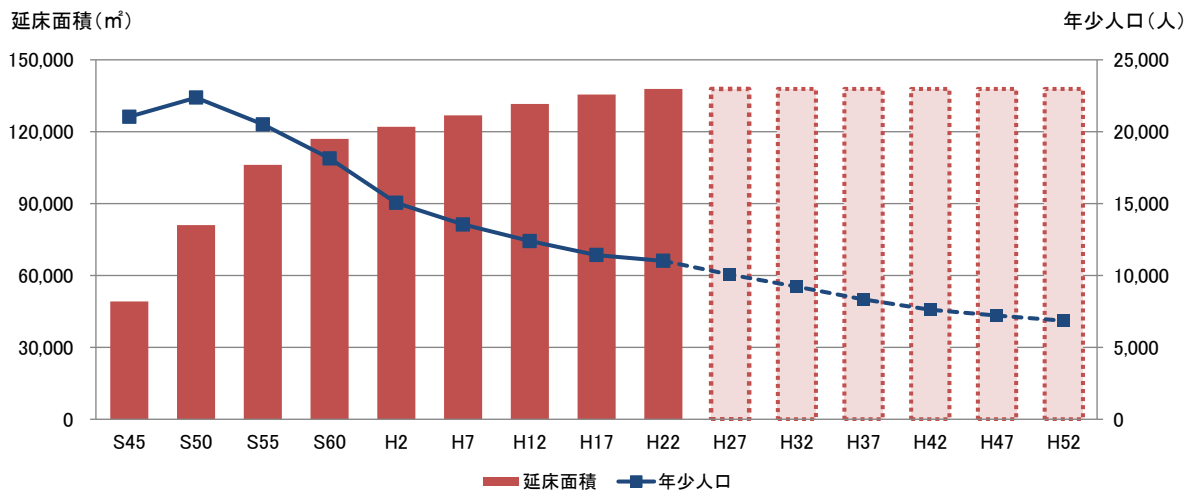
施設名称	市の支出(千円)				
	0	150,000	300,000	450,000	600,000
学校給食センター					

※支出額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

【参考：年少人口と学校教育施設延床面積の推移】

- ・学校教育施設は、年少人口（0歳～14歳人口）の減少に従い、ピーク時と比較して施設余剰が発生していると考えられます。
- ・延床面積を現在と同等の水準に維持した場合、年々、年少人口と延床面積の開きが拡大していきます。
- ・将来を見据え、適切な施設規模を検討することの重要性が高まっていると言えます。

図 3-52 年少人口と学校教育施設延床面積の推移



※年少人口の実績値は、年少人口は国勢調査をもとに作成しています。学校教育施設の延床面積は蒲郡市公共施設一覧をもとに作成しています。年少人口の推計値は、国立社会保障・人口問題研究所による推計値（平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表）をもとに作成しています。

【参考：類似自治体との小中学校の整備状況比較】

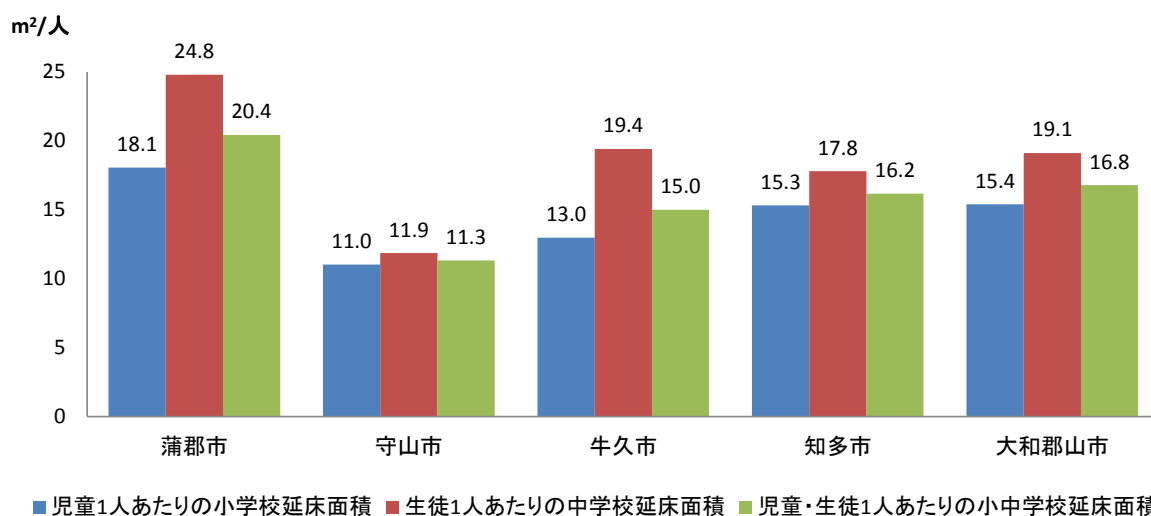
- ・第2章「2-8 類似自治体との公共施設整備状況比較」で比較対象とした、滋賀県守山市、茨城県牛久市、愛知県知多市、奈良県大和郡山市と小中学校の整備状況を比較します。
- ・本市は類似4自治体よりも小中学校数が多くなっています。また、児童・生徒数の違いを考慮し、児童・生徒1人あたりの学校延床面積を比較しても、本市は他の自治体より小中学校が多い状況であることがわかります。

図 3-53 類似4自治体との小中学校の整備状況比較

	蒲郡市	守山市	牛久市	知多市	大和郡山市
小学校数（校）	13	9	8	10	11
小学校児童数（人）	4,319	5,537	4,429	5,132	4,573
小学校延面積（m ² ）	76,099	61,070	57,501	78,653	70,464
中学校数（校）	7	6	5	5	6
中学校生徒数（人）	2,341	3,191	2,027	2,662	2,730
中学校延床面積（m ² ）	54,007	37,877	39,355	47,409	52,222

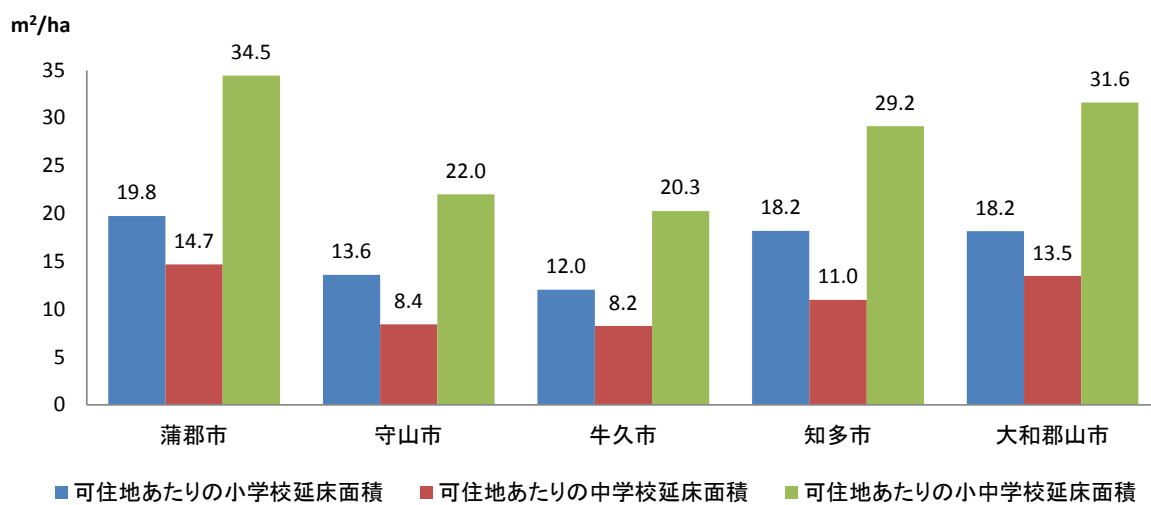
出所：公共施設状況調、学校基本調査、社会生活統計指標、蒲郡市公共施設一覧

図 3-54 児童・生徒1人あたりの延床面積（小学校、中学校、小中学校）



出所：公共施設状況調、学校基本調査、社会生活統計指標、蒲郡市公共施設一覧

図 3-55 可住地あたりの学校延床面積（小学校、中学校、小中学校）



出所：公共施設状況調、学校基本調査、社会生活統計指標、蒲郡市公共施設一覧

3-6 児童福祉施設（保育園、児童館）

- ・ 保育園は、保護者が就労等の理由により日中家庭で保育することができない場合に、保護者に代わって保育するための施設です。子どもが、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要な時期に、その生活時間の大半を過ごすところです。
- ・ 鹿島保育園、みどり保育園は、民営化した保育園です。
- ・ 児童館は、児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにするための施設として設置されています。

図 3-56 配置状況・外観写真（児童福祉施設）



三谷西保育園



にしうら児童館



南部保育園・がまごおり児童館
（複合施設）

3-6-1 保育園

(1) 老朽化状況の把握

- ・昭和40年代から50年代にかけて整備され、築30年以上が経過している保育園が多く、北部保育園、塩津保育園、大塚西保育園、三谷西保育園、形原南保育園、形原北保育園は老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。
- ・南部保育園は、平成24年に建替えられたため、良好な状態を維持しています。

図 3-57 老朽化状況（保育園）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度	
				健全 1.0	老朽化 5.0
東部保育園	793	S44	2.9		
北部保育園	1,140	S55	3.0		
西部保育園	660	S52	2.2		
塩津保育園	933	S44	3.0		
大塚保育園	684	S45	2.8		
府相保育園	1,112	S46	2.7		
三谷東保育園	1,252	S49	2.9		
大塚西保育園	530	S48	3.1		
三谷西保育園	1,002	S46	3.0		
形原保育園	905	S46	2.4		
中部保育園	1,308	S51	2.6		
南部保育園	1,088	H24	1.0		
形原南保育園	1,201	S56	3.4		
西浦保育園	1,184	S58	2.9		
鹿島保育園(私)	1,239	H5	2.8		
みどり保育園(私)	1,401	H8	2.2		
形原北保育園	921	S43	3.4		
塩津北保育園	552	S53	2.8		

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・西部保育園、塩津保育園、大塚西保育園、形原保育園の園児1人あたり面積が比較的広くなっています。
- ・北部保育園、三谷東保育園、中部保育園、鹿島保育園、形原北保育園の園児1人あたり面積は狭い傾向にあります。

図 3-58 利用状況（保育園）

施設名称	延床面積 (㎡)	園児数(人)				園児1人あたり 面積(㎡/ 人)	園児1人あたり面積(㎡/人)
		H23	H24	H25	3年平均		
東部保育園	793	65	57	57	60	13.3	
北部保育園	1,140	135	119	124	126	9.0	
西部保育園	660	43	48	39	43	15.2	
塩津保育園	933	46	46	40	44	21.2	
大塚保育園	684	55	55	68	59	11.5	
府相保育園	1,112	123	105	90	106	10.5	
三谷東保育園	1,252	151	141	143	145	8.6	
大塚西保育園	530	36	30	31	32	16.4	
三谷西保育園	1,002	102	78	70	83	12.0	
形原保育園	905	43	60	73	59	15.4	
中部保育園	1,308	152	150	129	144	9.1	
南部保育園	1,088	55	108	128	97	11.2	
形原南保育園	1,201	105	96	82	94	12.7	
西浦保育園	1,184	96	93	90	93	12.7	
鹿島保育園(私)	1,239	122	122	131	125	9.9	
みどり保育園(私)	1,401	105	105	119	110	12.8	
形原北保育園	921	103	93	97	98	9.4	
塩津北保育園	552	36	49	51	45	12.2	

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

【参考】保育園の年齢別利用状況

- ・大塚保育園、南部保育園、形原保育園、鹿島保育園、みどり保育園、塩津北保育園の園児数が増加傾向にあります。特に大塚保育園と南部保育園は、3歳児、4歳児の園児数が増加しています。また南部保育園は平成24年度に建替えられ、0歳～2歳児の利用が始まりました。
- ・一方で、府相保育園、大塚西保育園、三谷西保育園、形原南保育園は園児数が減少傾向にあります。特に三谷西保育園、形原南保育園は減少が顕著になっています。

図 3-59 平成23～25年度の年齢別利用状況（保育園）

施設名称	園児数(人)							
	年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
東部保育園	H23				22	19	24	65
	H24				17	20	20	57
	H25				20	17	20	57
北部保育園	H23	5	10	18	21	39	42	135
	H24	4	10	9	21	38	37	119
	H25	5	11	17	28	23	40	124
西部保育園	H23		0	0	23	11	9	43
	H24		5	4	15	14	10	48
	H25		4	3	6	13	13	39
塩津保育園	H23				4	22	20	46
	H24				11	13	22	46
	H25				12	15	13	40
大塚保育園	H23				18	16	21	55
	H24				20	18	17	55
	H25				22	24	22	68
府相保育園	H23	6	9	18	20	31	39	123
	H24	6	10	12	26	20	31	105
	H25	0	5	12	22	31	20	90
三谷東保育園	H23	7	15	18	40	36	35	151
	H24	3	15	18	25	43	37	141
	H25	6	15	24	26	31	41	143
大塚西保育園	H23				8	13	15	36
	H24				9	8	13	30
	H25				12	10	9	31
三谷西保育園	H23	1	5	23	23	22	28	102
	H24		5	12	16	24	21	78
	H25		5	11	12	19	23	70
形原保育園	H23		4	12	12	4	11	43
	H24		9	6	23	17	5	60
	H25		10	10	13	24	16	73
中部保育園	H23	6	15	18	34	50	29	152
	H24	3	15	17	37	26	52	150
	H25	6	13	18	32	34	26	129
南部保育園	H23				14	16	25	55
	H24	6	14	14	24	28	22	108
	H25	6	10	22	30	32	28	128
形原南保育園	H23	6	8	18	20	33	20	105
	H24	3	7	10	19	23	34	96
	H25	6	10	8	16	18	24	82
西浦保育園	H23	3	9	15	20	25	24	96
	H24	3	7	11	23	24	25	93
	H25	3	5	11	19	27	25	90
鹿島保育園	H23	6	15	28	29	20	24	122
	H24	6	15	23	29	26	23	122
	H25	6	15	22	28	33	27	131
みどり保育園	H23	9	15	18	20	24	19	105
	H24	9	15	18	20	23	20	105
	H25	6	15	24	29	24	21	119
形原北保育園	H23				38	28	37	103
	H24				21	45	27	93
	H25				26	25	46	97
塩津北保育園	H23				9	16	11	36
	H24				17	13	19	49
	H25				16	23	12	51

※網掛け箇所は児童の受け入れをしていないクラスです。

(3) コスト状況の把握

- ・鹿島保育園、みどり保育園は、民営化した保育園であり、市が運営費を負担しているため、市の支出は事業運営に係るコストのみの計上になります。
- ・公立保育園は保育園の規模に応じてコストが高くなっており、園児数の多い北部保育園、府相保育園、三谷東保育園、中部保育園、南部保育園は相対的にコストが高くなっています。

図 3-60 コスト状況（保育園）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
東部保育園	3,305	9,305	34,100	0	46,710
北部保育園	5,757	28,361	83,733	0	117,851
西部保育園	2,972	9,416	50,533	0	62,922
塩津保育園	5,013	8,725	34,833	0	48,571
大塚保育園	4,676	10,546	40,067	0	55,289
府相保育園	4,131	25,143	84,067	0	113,341
三谷東保育園	7,014	32,135	85,900	0	125,049
大塚西保育園	4,120	7,929	22,200	0	34,249
三谷西保育園	4,359	19,669	63,533	0	87,561
形原保育園	3,725	14,604	48,000	0	66,329
中部保育園	6,094	33,612	78,867	0	118,572
南部保育園	5,332	23,875	70,933	0	100,140
形原南保育園	3,437	21,407	72,367	0	97,211
西浦保育園	7,851	17,628	64,967	0	90,446
鹿島保育園(私)	0	106,764	0	0	106,764
みどり保育園(私)	0	100,302	0	0	100,302
形原北保育園	4,425	20,508	42,767	0	67,700
塩津北保育園	2,063	8,829	29,233	0	40,125



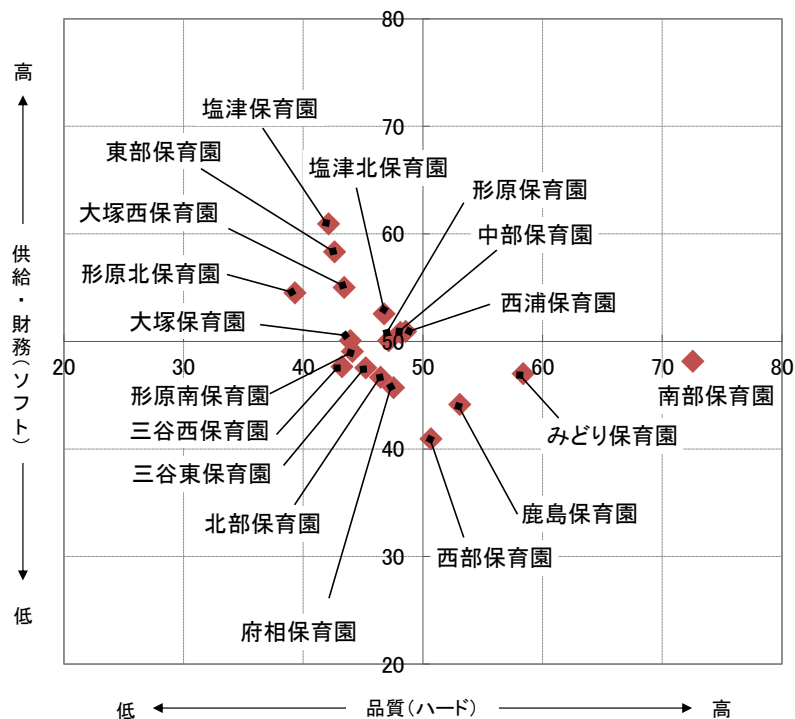
※支出額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、南部保育園、鹿島保育園、みどり保育園を除いて平均偏差値が50前後か50以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・供給・財務については、西部保育園、府相保育園、鹿島保育園の平均偏差値が低くなっています。
- ・南部保育園は建物の品質においては平均偏差値が70以上となっていますが、供給・財務においては、平均偏差値が50以下になっています。

図 3-61 ポートフォリオ分析結果（保育園）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務		供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		園児1人あ たり面積 (㎡/人)	偏差値	園児1人あ たり市負担 額(円/人)	偏差値	
東部保育園	793	44.7	39.2	2.9	46.0	42.6	13.3	52.9	563,299	63.7	58.3
北部保育園	1,140	34.0	47.7	3.0	45.3	46.5	9.0	39.0	722,291	54.3	46.7
西部保育園	660	37.0	45.3	2.2	56.1	50.7	15.2	59.2	1,254,244	22.7	40.9
塩津保育園	933	45.0	39.0	3.0	45.3	42.1	21.2	78.7	909,810	43.2	60.9
大塚保育園	684	43.8	39.9	2.8	48.0	43.9	11.5	47.1	743,828	53.0	50.1
府相保育園	1,112	36.5	45.7	2.7	49.4	47.6	10.5	43.7	834,545	47.6	45.7
三谷東保育園	1,252	38.3	44.3	2.9	46.2	45.2	8.6	37.7	670,041	57.4	47.5
大塚西保育園	530	40.4	42.6	3.1	44.2	43.4	16.4	63.0	844,342	47.0	55.0
三谷西保育園	1,002	42.9	40.7	3.0	45.8	43.2	12.0	48.8	853,203	46.5	47.6
形原保育園	905	43.0	40.6	2.4	53.7	47.1	15.4	59.8	957,947	40.3	50.1
中部保育園	1,308	36.3	45.9	2.6	50.4	48.1	9.1	39.2	585,165	62.4	50.8
南部保育園	1,088	2.0	72.9	1.0	72.2	72.6	11.2	46.1	791,584	50.2	48.1
形原南保育園	1,201	33.0	48.5	3.4	39.8	44.1	12.7	51.1	844,008	47.1	49.1
西浦保育園	1,184	31.0	50.0	2.9	47.1	48.6	12.7	51.1	781,614	50.8	50.9
鹿島保育園(私)	1,239	21.0	57.9	2.8	48.3	53.1	9.9	41.9	855,089	46.4	44.1
みどり保育園(私)	1,401	18.0	60.3	2.2	56.5	58.4	12.8	51.2	916,025	42.8	47.0
形原北保育園	921	45.7	38.4	3.4	40.2	39.3	9.4	40.3	479,352	68.7	54.5
塩津北保育園	552	36.0	46.1	2.8	47.4	46.8	12.2	49.3	696,108	55.9	52.6



※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

3-6-2 児童館

(1) 老朽化状況の把握

- ・児童館はいずれも平成4年以降の建設であり、比較的健全な状態を維持しています。
- ・かたはら児童館は児童館の中では最も古く、相対的には老朽化が進んでいます。

図 3-62 老朽化状況（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
おおつか児童館	389	H11	2.0					
みや児童館	490	H8	1.5					
がまごおり児童館	577	H24	1.2					
ちゅうぶ児童館	569	H16	2.0					
しおつ児童館	510	H12	1.2					
かたはら児童館	349	H4	2.6					
にしうら児童館	491	H13	1.8					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・かたはら児童館とちゅうぶ児童館の面積あたり1日あたり平均利用者数が多くなっています。
- ・にしうら児童館は、面積あたり1日あたり平均利用者数が比較的少ない結果となっています。

図 3-63 利用状況（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				1日あたり平均 利用者数(人/ 日)	面積あたり1日 あたり平均利 用者数(人/ ㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H23	H24	H25	3年平均			0.0	0.050	0.100	0.150	0.200
おおつか児童館	389	17,505	17,026	16,721	17,084	58.0	0.149					
みや児童館	490	24,977	23,420	22,514	23,637	80.4	0.164					
がまごおり児童館	577	—	24,507	23,942	24,225	82.1	0.142					
ちゅうぶ児童館	569	37,731	35,383	33,682	35,599	121.1	0.213					
しおつ児童館	510	27,498	23,243	23,968	24,903	84.5	0.166					
かたはら児童館	349	21,787	22,214	21,290	21,764	73.9	0.212					
にしうら児童館	491	18,060	17,680	18,727	18,156	61.8	0.126					

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

※がまごおり児童館は平成24年度より開所されたため、平成24年度・平成25年度の平均値を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・ おおつか児童館としおつ児童館のコストが高くなっています。
- ・ 支出項目別にみると、どの児童館も人に係るコストが高くなっています。

図 3-64 コスト状況（児童館）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
おおつか児童館	3,556	3,103	11,900	0	18,559
みや児童館	3,293	3,101	8,100	0	14,494
がまごおり児童館	882	3,051	8,100	0	12,033
ちゅうぶ児童館	1,795	2,436	10,633	0	14,864
しおつ児童館	4,457	4,534	11,900	0	20,891
かたはら児童館	1,593	3,852	11,900	0	17,345
にしうら児童館	2,013	3,371	8,100	0	13,484

施設名称	市の支出(千円)					
	0	5,000	10,000	15,000	20,000	25,000
おおつか児童館						
みや児童館						
がまごおり児童館						
ちゅうぶ児童館						
しおつ児童館						
かたはら児童館						
にしうら児童館						

※支出額の値は 3 ヶ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

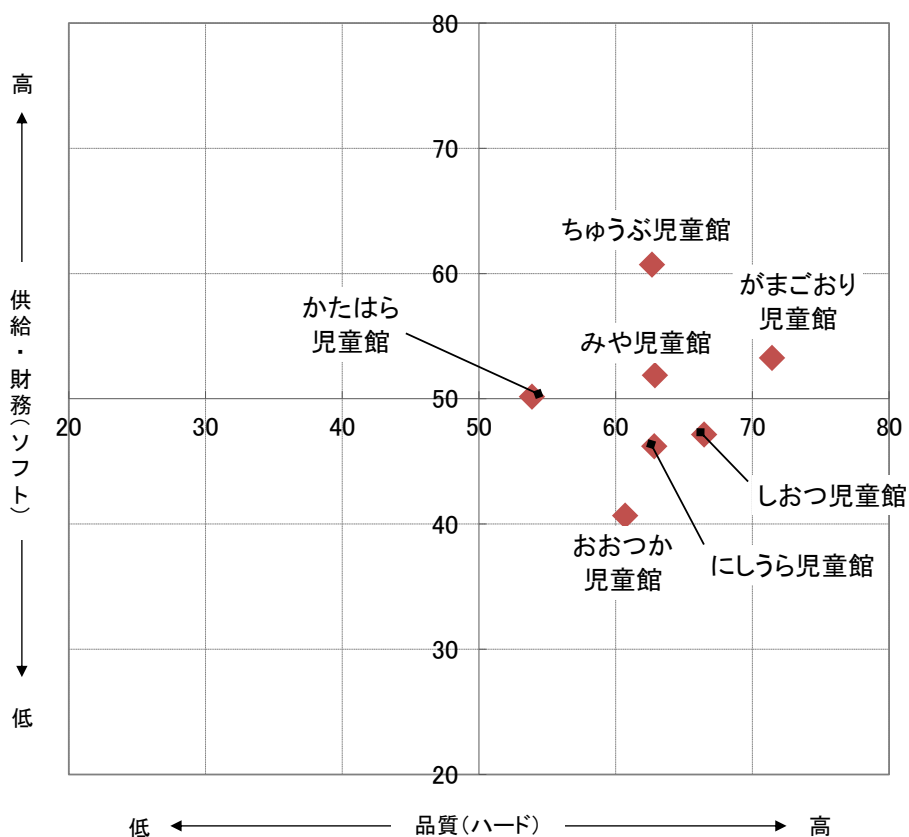
※がまごおり児童館は平成 24 年度より開所されたため、平成 24 年度・平成 25 年度の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、どの施設も偏差値が50以上となっており、本市の公共施設の中では良好な状態を維持しています。
- ・みや児童館、がまごおり児童館、ちゅうぶ児童館以外は、供給・財務において平均偏差値が50前後か50以下となっています。

図 3-65 ポートフォリオ分析結果（児童館）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務		供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり1 日あたり平均 利用者数 (人/㎡・日)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	
おおつか児童館	389	15.0	62.6	2.0	58.7	60.7	0.149	44.1	44,432	37.2	40.7
みや児童館	490	18.0	60.3	1.5	65.5	62.9	0.164	49.0	27,483	54.8	51.9
がまごおり児童館	577	2.0	72.9	1.2	70.0	71.4	0.142	41.9	18,007	64.6	53.3
ちゅうぶ児童館	569	10.0	66.6	2.0	58.7	62.7	0.213	64.7	25,567	56.8	60.7
しおつ児童館	510	14.0	63.4	1.2	69.5	66.5	0.166	49.4	37,103	44.8	47.1
かたはら児童館	349	22.0	57.1	2.6	50.7	53.9	0.212	64.3	45,563	36.0	50.2
にしうら児童館	491	13.0	64.2	1.8	61.4	62.8	0.126	36.6	26,469	55.8	46.2



※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

3-7 保健・福祉施設（福祉センター等）

- ・保健医療センターは、赤ちゃんからお年寄りまで、市民のみなさんの健康づくりの拠点として、健康診査・健康相談・健康教室などを行っています。
- ・ユトリーナ蒲郡は、廃棄物焼却施設「クリーンセンター」の余熱を利用した健康増進施設で、人工温泉や露天風呂が併設されています。
- ・生きがいセンターは、高齢者の方が就業活動や趣味の活動を通じて積極的に社会参加し、生きがいをもって生活していただくために設置された施設です。
- ・福祉施設では、デイサービスなどの高齢者向けの福祉活動のみならず、障害者への生活支援、自立支援や子育て支援も行っています。

図 3-66 配置状況・外観写真（保健・福祉施設）



生きがいセンター



ユトリーナ蒲郡



老人福祉センター寿楽荘

3-7-1 福祉センター等

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 勤労福祉会館、浜町福祉センター、養護老人ホーム、老人福祉センター寿楽荘は老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。
- ・ 一方で中央子育て支援センター、三谷デイサービスは老朽化度が2を下回っており、比較的健全な状態を維持しています。

図 3-67 老朽化状況（福祉センター等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
勤労福祉会館	3,174	S55	3.8					
浜町福祉センター	709	S57	3.0					
中央子育て支援センター	99	H4	1.8					
生きがいセンター	2,176	H5	2.6					
養護老人ホーム	1,070	S46	3.1					
老人福祉センター寿楽荘	1,610	S50	3.0					
大塚デイサービス	502	H7	2.6					
三谷デイサービス	557	H9	1.7					
保健医療センター	5,861	H6	2.7					
ユトリーナ蒲郡	1,977	H12	2.3					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・ 中央子育て支援センターの面積あたり1日あたりの平均利用者数が多くなっています。

図 3-68 利用状況（福祉センター等）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				1日あたり平均利用者数(人/日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)	貸部屋等利用率(%)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H23	H24	H25	3年平均				0.000	0.100	0.300	0.300	0.400
勤労福祉会館	3,174	-	-	-	-	-	-	48.1					
浜町福祉センター	709	4,119	4,613	5,522	4,751	19.4	0.027	-					
中央子育て支援センター	99	11,112	9,360	10,301	10,258	42.6	0.430	-					
生きがいセンター	2,176	43,943	46,254	43,347	44,515	123.9	0.057	52.9					
養護老人ホーム	1,070	5,785	5,776	6,705	6,089	16.7	0.016	-					
老人福祉センター寿楽荘	1,610	48,714	50,691	46,684	48,696	199.6	0.124	-					
大塚デイサービス	502	6,619	6,743	6,909	6,757	20.2	0.040	-					
三谷デイサービス	557	8,454	9,282	9,063	8,933	26.9	0.048	-					
保健医療センター	5,861	30,000	30,000	30,000	30,000	82.2	0.014	-					
ユトリーナ蒲郡	1,977	48,345	48,684	43,423	46,817	145.5	0.074	-					

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

※勤労福祉会館は利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

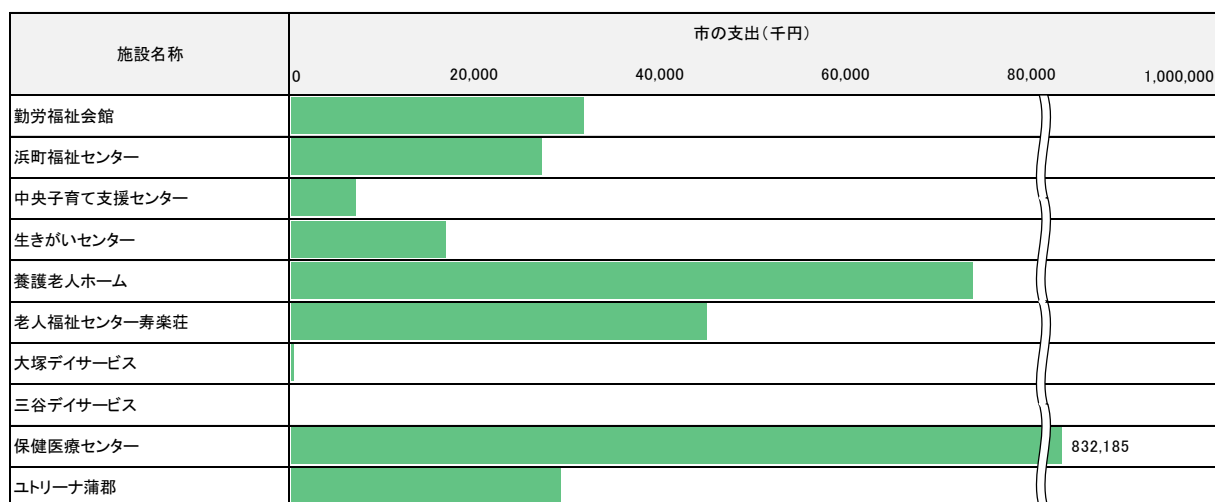
※勤労福祉会館の貸部屋等利用率は研修室や会議室、和室、談話室の利用率を、生きがいセンターの貸部屋等利用率は学習室やホールの利用率を掲載しています。

(3) コスト状況の把握

- ・保健医療センターのコストが高くなっています。支出項目別に見ると、事業運営に係るコストの割合が大きくなっています。これは人間ドック事業のコストが大きいためです。
- ・その他施設の多くでは、施設に係るコストの割合が大きくなっている傾向が見られます。

図 3-69 コスト状況（福祉センター等）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
勤労福祉会館	7,711	0	0	23,920	31,631
浜町福祉センター	278	26,787	0	0	27,065
中央子育て支援センター	888	1,166	4,867	0	6,921
生きがいセンター	1,306	0	0	15,392	16,698
養護老人ホーム	2,101	32	0	71,448	73,580
老人福祉センター寿楽荘	31	1,537	0	43,361	44,929
大塚デイサービス	347	0	0	0	347
三谷デイサービス	35	0	0	0	35
保健医療センター	34,489	687,029	110,667	0	832,185
ユトリーナ蒲郡	2,661	0	0	26,500	29,161



※支出額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

3-8 公営住宅等施設（公営住宅等）

- ・現在 390 戸（9 団地）の市営住宅を管理しており、市営丸山住宅内の 10 戸がシルバーハウジング（高齢者向け住宅）となっています。
- ・蒲郡市の公営住宅等施設は、住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で供給することを目的としています。
- ・住宅の申し込み条件として、住宅に困窮し、世帯収入が収入基準に適合していることなどが挙げられます。

図 3-70 配置状況・外観写真（公営住宅等施設）



市営丸山住宅



市営白山住宅



市営貴船住宅

3-8-1 公営住宅等

(1) 老朽化状況の把握

- ・市営丸山住宅、市営白山住宅、市営北浜住宅以外の施設は、建築年数が30年を大幅に上回り、老朽化が顕著となっています。
- ・市営丸山住宅は、建築年数が20年以下となっており、比較的良好な状態を維持しています。

図 3-71 老朽化状況（公営住宅等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
市営丸山住宅	6,951	H9	2.0					
市営大塚住宅	5,228	S49	3.3					
市営白山住宅	5,113	H3	2.2					
市営力川住宅	557	S49	3.0					
市営貴船住宅	855	S28	4.0					
市営大宮住宅	494	S35	4.0					
市営月田住宅	225	S30	4.0					
市営鹿島住宅	1,507	S38	4.0					
市営北浜住宅	3,423	S58	3.1					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・市営貴船住宅、市営大宮住宅、市営月田住宅、市営鹿島住宅以外の住宅での入居率は100%で、満室となっています。

図 3-72 利用状況（公営住宅等）

施設名称	延床面積 (㎡)	入居率(%)				入居率(%)				
		H23	H24	H25	3年平均	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0
市営丸山住宅	6,951	100.0	100.0	100.0	100.0					
市営大塚住宅	5,228	100.0	100.0	100.0	100.0					
市営白山住宅	5,113	100.0	100.0	100.0	100.0					
市営力川住宅	557	100.0	100.0	100.0	100.0					
市営貴船住宅	855	44.4	44.4	44.4	44.4					
市営大宮住宅	494	43.8	43.8	43.8	43.8					
市営月田住宅	225	87.5	87.5	87.5	87.5					
市営鹿島住宅	1,507	60.4	60.4	58.3	59.7					
市営北浜住宅	3,423	100.0	100.0	100.0	100.0					

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

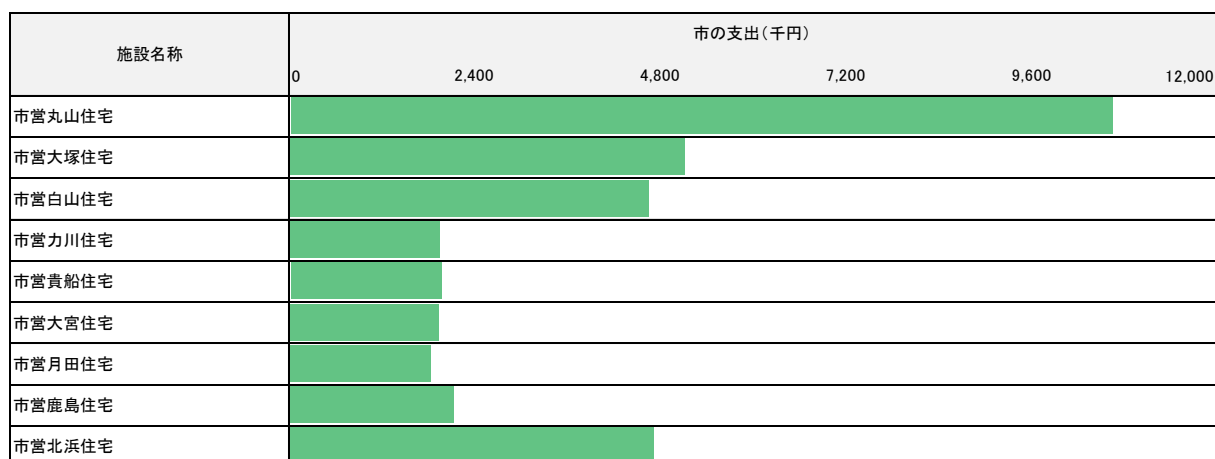
※市営貴船住宅、市営大宮住宅、市営月田住宅、市営鹿島住宅は、現在入居者の募集を行っていません。

(3) コスト状況の把握

- ・市営丸山住宅のコストが高くなっています。支出項目別に見ると、施設に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-73 コスト状況（公営住宅等）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
市営丸山住宅	8,863	0	1,800	0	10,663
市営大塚住宅	3,327	0	1,800	0	5,127
市営白山住宅	2,858	0	1,800	0	4,658
市営力川住宅	143	0	1,800	0	1,943
市営貴船住宅	150	0	1,800	0	1,950
市営大宮住宅	123	0	1,800	0	1,923
市営月田住宅	24	0	1,800	0	1,824
市営鹿島住宅	318	0	1,800	0	2,118
市営北浜住宅	2,918	0	1,800	0	4,718



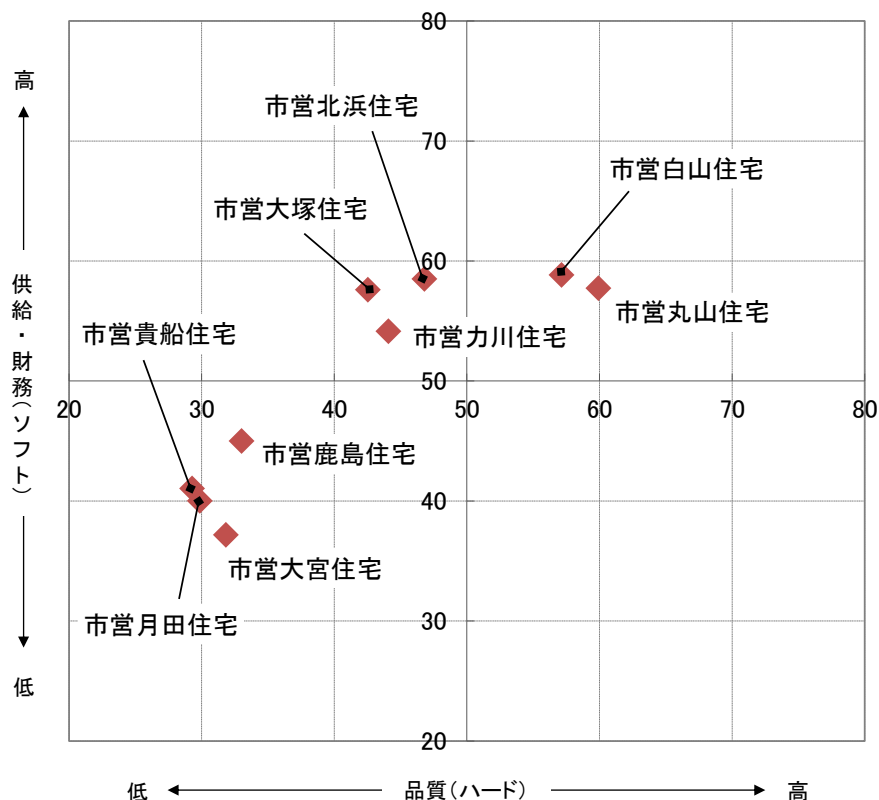
※支出額の値は 3 ヶ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、市営丸山住宅と市営白山住宅以外は、平均偏差値 50 以下となっており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・市営貴船住宅、市営大宮住宅、市営月田住宅は、供給・財務の平均偏差値が 40 前後になっています。

図 3-74 ポートフォリオ分析結果（公営住宅等）

施設名称	延床面積 (㎡)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務		供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		平均入居率 (%)	偏差値	面積あたり 市負担額 (円/㎡)	偏差値	
市営丸山住宅	6,951	17.0	61.1	2.0	58.7	59.9	100.0	57.7	-2,300	57.7	57.7
市営大塚住宅	5,228	39.3	43.5	3.3	41.6	42.5	100.0	57.7	-2,207	57.4	57.6
市営白山住宅	5,113	20.3	58.5	2.2	55.8	57.1	100.0	57.7	-3,017	59.9	58.8
市営力川住宅	557	40.0	42.9	3.0	45.3	44.1	100.0	57.7	75	50.5	54.1
市営貴船住宅	855	60.4	26.8	4.0	31.8	29.3	44.4	34.2	955	47.8	41.0
市営大宮住宅	494	54.0	31.9	4.0	31.8	31.8	43.8	33.9	3,404	40.4	37.2
市営月田住宅	225	59.0	27.9	4.0	31.8	29.9	87.5	52.5	7,634	27.6	40.0
市営鹿島住宅	1,507	51.0	34.3	4.0	31.8	33.0	59.7	40.7	473	49.3	45.0
市営北浜住宅	3,423	31.0	50.0	3.1	43.6	46.8	100.0	57.7	-2,802	59.3	58.5



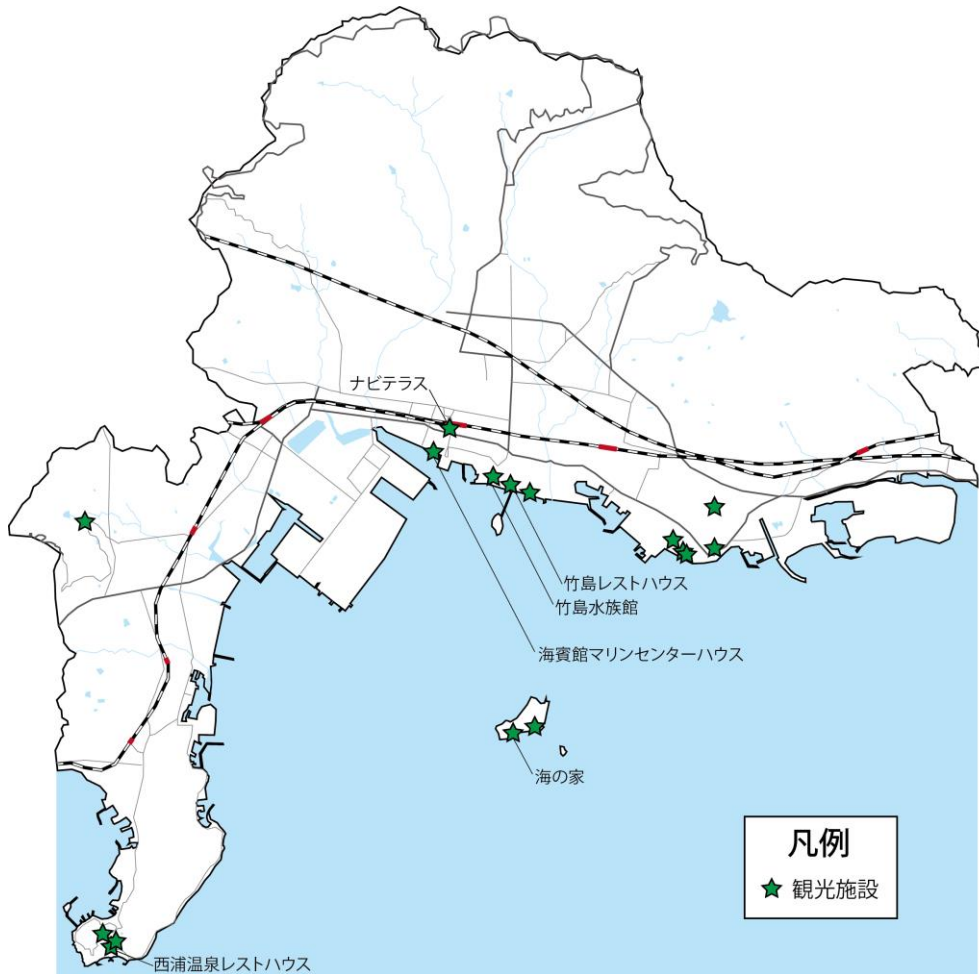
※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

3-9 観光施設

- ・観光施設としては、温泉資源を活用した施設や海洋資源を活用した海水浴場、水族館、観光交流拠点となるナビテラスなどを設置しています。
- ・それぞれの施設は本市の魅力や文化を伝え、観光地としての魅力を高めるとともに、市民の交流を生み出すことを目的として配置されています。

図 3-75 配置状況・外観写真（観光施設）



竹島水族館



海の家



ナビテラス

3-9-1 観光施設

(1) 老朽化状況の把握

- ・竹島水族館、西浦温泉レストハウス、海の家、竹島レストハウスは老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。特に海の家は、老朽化度が4を超えており、老朽化が相当程度進行しています。
- ・海賓館マリンセンターハウスとナビテラスは相対的に新しく、特にナビテラスは老朽化度が1.0であり、健全な状態となっています。

図 3-76 老朽化状況（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
海賓館マリンセンターハウス	278	H8	2.8					
竹島水族館	1,996	S37	3.4					
ナビテラス	429	H25	1.0					
海の家	583	S35	4.3					
西浦温泉レストハウス	140	S41	3.5					
竹島レストハウス	128	S43	3.2					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) 利用状況の把握

- ・竹島水族館の利用者数が最も多くなっています。
- ・面積あたりの1日あたり平均利用者数で見ると、竹島水族館とナビテラスが比較的用户数が多くなっています。

図 3-77 利用状況（観光施設）

施設名称	延床面積 (㎡)	利用者数(人)				1日あたり平均利用者数(人/日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)	面積あたり1日あたり平均利用者数(人/㎡・日)				
		H23	H24	H25	3年平均			0.000	0.100	0.200	0.300	0.400
海賓館マリンセンターハウス	278	17,135	17,863	15,555	16,851	56.2	0.202					
竹島水族館	1,996	202,645	200,058	212,524	205,076	639.5	0.320					
ナビテラス	429	-	9,858	39,932	39,932	110.6	0.258					
海の家	583	-	-	-	-	-	-	-				
西浦温泉レストハウス	140	-	-	-	-	-	-	-				
竹島レストハウス	128	-	-	-	-	-	-	-				

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

※ナビテラスは平成24年度中に開設されたため、平成25年度の値のみで計算しています。

※海の家、西浦温泉レストハウス、竹島レストハウスは利用者数の正確な把握ができないため、データを掲載していません。

(3) コスト状況の把握

- ・竹島水族館のコストが大きくなっています。支出項目別に見ると、指定管理者の人に係るコストの割合が大きくなっています。ただし竹島水族館は、入場料収入が近年増加しており、全体の収支は黒字となっています。
- ・竹島水族館以外の施設は、施設に係るコストがコストのほとんどを占めています。

図 3-78 コスト状況（観光施設）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
海賓館マリンセンターハウス	2,622	0	0	0	2,622
竹島水族館	6,817	0	0	27,300	34,117
ナビテラス	7,422	312	0	0	7,734
海の家	206	0	0	0	206
西浦温泉レストハウス	503	0	0	0	503
竹島レストハウス	115	0	0	0	115
施設名称	市の支出(千円)				
	0	8,000	16,000	24,000	32,000
海賓館マリンセンターハウス					
竹島水族館					
ナビテラス					
海の家					
西浦温泉レストハウス					
竹島レストハウス					

※支出額の値は 3 ヶ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

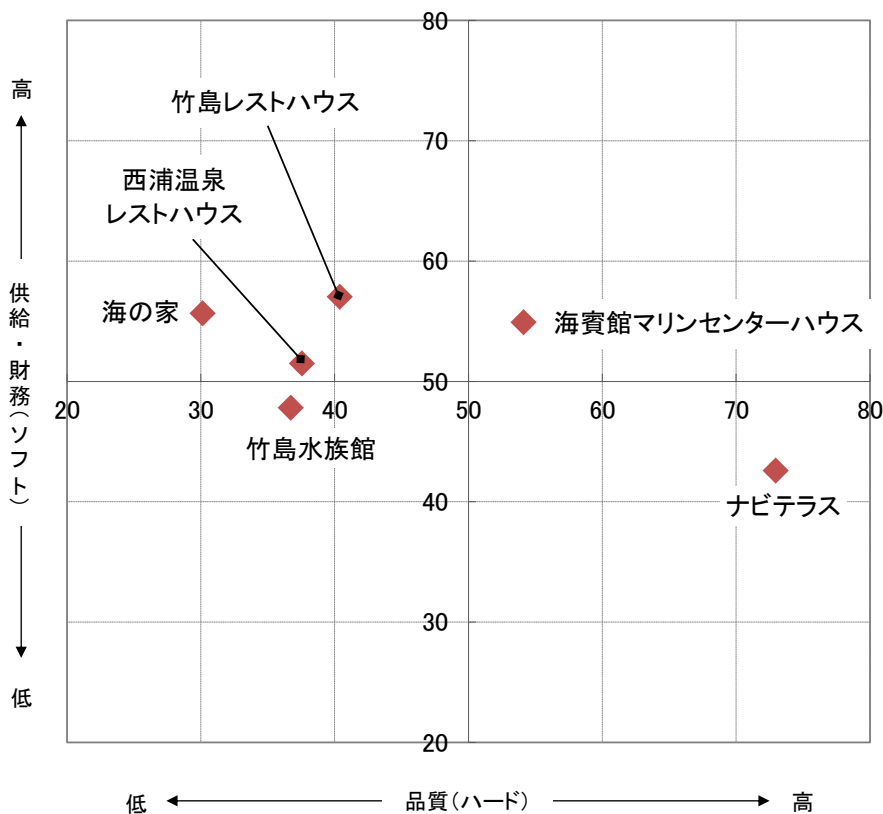
※ナビテラスは、平成 24 年度中に開設されたため、平成 25 年度の値のみで計算しています。

(4) ポートフォリオ分析結果

- ・建物の品質については、海賓館マリンセンターハウスとナビテラスは平均偏差値が 50 を上回っていますが、竹島水族館、海の家、西浦温泉レストハウス、竹島レストハウスは平均偏差値が 50 を下回っており、本市の公共施設の中でも老朽化が進んでいる状況です。
- ・供給・財務の平均偏差値が 50 を下回る施設は相対的に利用が低く、コストも高いことから一層の利用促進を図ると共に、効率的な運営が求められます。

図 3-79 ポートフォリオ分析結果（観光施設）

施設名称	延床面積 (m ²)	品質				品質 (ハード) 平均偏差値	供給		財務				供給・財務 (ソフト) 平均偏差値
		平均築年数	偏差値	老朽化度	偏差値		面積あたり1日あたり平均利用者数 (人/m ² ・日)	偏差値	面積あたり市負担額 (円/m ²)	偏差値	利用者1人あたり1日あたり市負担額 (円/人・日)	偏差値	
海賓館マリンセンターハウス	278	18.0	60.3	2.8	48.0	54.1	0.202	38.0	-6,214	62.6	-0.3	64.1	54.9
竹島水族館	1996	51.9	33.6	3.4	39.9	36.7	0.320	62.5	15,994	37.5	0.5	43.4	47.8
ナビテラス	429	1.0	73.7	1.0	72.2	73.0	0.258	49.5	17,508	35.8	0.5	42.5	42.6
海の家	583	54.0	31.9	4.3	28.4	30.1	-	-	-97	55.7	-	-	55.7
西浦温泉レストハウス	140	48.0	36.6	3.5	38.5	37.6	-	-	3,597	51.5	-	-	51.5
竹島レストハウス	128	46.0	38.2	3.2	42.6	40.4	-	-	-1,315	57.0	-	-	57.0



※品質（ハード）の偏差値は、全施設を対象として算出しています。

※供給・財務（ソフト）の偏差値は、本項に掲載している施設のみを対象として算出しています。

3-10 消防施設（消防署等）

- ・ 消防施設は、火災等の災害から市民等を守ることを目的とした消防活動の拠点施設として設置しています。
- ・ 消防の中核機能を担う消防本部、地域の消防活動の拠点となる消防署東部出張所および消防署西部出張所の2箇所の出張所、防災学習ホール等を備えた西部防災センターのほか、防災倉庫や消防団器具庫等が市内全域に59箇所あります。

図 3-80 配置状況・外観写真（消防施設）



消防本部



消防署東部出張所



三谷防災倉庫

3-10-1 消防署等

(1) 老朽化状況の把握

- ・ 消防本部以外は、築 30 年以上となっています。
- ・ 消防署東部出張所、消防署西部出張所、西部防災センター、宮成防災倉庫は老朽化度が 3 以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-81 老朽化状況（消防署等）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
消防本部	5,061	H22	1.0					
消防署東部出張所	439	S44	3.1					
消防署西部出張所	305	S41	3.4					
西部防災センター	1,041	S46	3.8					
三谷防災倉庫	110	S57	2.7					
宮成防災倉庫	261	S46	3.0					
形原防災倉庫	172	S58	2.4					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

- ・ 消防本部は、本部機能を担う施設であるため、コストが高くなっています。支出項目別に見ると、人に係るコストの割合が大きくなっています。

図 3-82 コスト状況（消防署等）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
消防本部	6,879	0	473,400	0	480,279
消防署東部出張所	976	0	78,000	0	78,976
消防署西部出張所	827	0	182,000	0	182,827
西部防災センター	110	0	0	0	110
三谷防災倉庫	0	0	0	0	0
宮成防災倉庫	0	0	0	0	0
形原防災倉庫	0	0	0	0	0

施設名称	市の支出(千円)					
	0	100,000	200,000	300,000	400,000	500,000
消防本部						
消防署東部出張所						
消防署西部出張所						
西部防災センター						
三谷防災倉庫						
宮成防災倉庫						
形原防災倉庫						

※支出額の値は 3 ヲ年度（平成 23～25 年度）の平均値を掲載しています。

3-11 その他施設（駐車場、その他）

- ・その他施設として、駐車場や交通安全教育センター、蒲郡乗船センター、公衆便所を保有しています。
- ・駐車場は、駅に隣接され、駅前の違法駐車問題を防ぐために設置されています。
- ・交通安全教育センターは、警察署に併設されている施設で、車庫証明の発行などに利用されています。管理・運営は蒲郡自家用自動車組合が行っています。

図 3-83 配置状況・外観写真（その他施設）



大塚駅第1自転車駐車場



三谷駅北自転車駐車場



交通安全教育センター

3-11-1 駐車場

(1) 老朽化状況の把握

- ・大塚駅第1自転車駐車場は築30年程度が経過していますが、ほぼ健全な状態を維持しています。三谷駅北自転車駐車場も築20年程度が経過していますが、比較的健全な状態となっています。

図 3-84 老朽化状況（駐車場）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全				老朽化
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
大塚駅第1自転車駐車場	145	S58	1.0					
三谷駅北自転車駐車場	594	H7	2.0					

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

- ・三谷駅北自転車駐車場のコストが、大塚駅第1自転車駐車場よりも高くなっています。
- ・どちらの施設も、事業運営に係るコストや人に係るコストはなく、施設に係るコストのみとなっています。

図 3-85 コスト状況（駐車場）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
大塚駅第1自転車駐車場	228	0	0	0	228
三谷駅北自転車駐車場	454	0	0	0	454

施設名称	市の支出(千円)				
	0	100	200	300	400
大塚駅第1自転車駐車場					
三谷駅北自転車駐車場					

※支出額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

3-11-2 その他

(1) 老朽化状況の把握

・交通安全教育センターと蒲郡乗船センターは、老朽化度が3以上となっており、全体的に老朽化が進んでいる状況です。

図 3-86 老朽化状況（その他）

施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	老朽化度				
				健全	←	→	老朽化	
				1.0	2.0	3.0	4.0	5.0
交通安全教育センター	276	S48	3.6					
蒲郡乗船センター	185	H4	4.0					
原山公衆便所	11	H23	調査対象外	調査対象外				
橘丘里山緑地公衆便所	15	H23	調査対象外	調査対象外				

※複数の建物で構成されている施設の建築年は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

(2) コスト状況の把握

・全施設とも、人件費や事業運営に係るコストがなく、施設に係るコストのみとなっています。

図 3-87 コスト状況（その他）

施設名称	市の支出(千円)				
	施設に係るコスト	事業運営に係るコスト	人に係るコスト	指定管理料	合計
交通安全教育センター	4	0	0	0	4
蒲郡乗船センター	57	0	0	0	57
原山公衆便所	-	-	-	-	-
橘丘里山緑地公衆便所	-	-	-	-	-

施設名称	市の支出(千円)				
	0	15	30	45	60
交通安全教育センター					
蒲郡乗船センター					
原山公衆便所	-				
橘丘里山緑地公衆便所	-				

※支出額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

第4章 地区別にみた公共施設の現状

4-1 地区の定義

本章では、地区別に公共施設の現状を整理します。各地区の範囲は、下図のとおり合併時の旧町村区分に基づいて定義します。

図 4-1 各地区の範囲



地区	範囲
大塚地区	昭和 30 年蒲郡市合併時の旧大塚村大字相楽・大字大塚
三谷地区	昭和 29 年蒲郡市設立時の旧三谷町
蒲郡北地区	昭和 29 年蒲郡市設立時の旧蒲郡町のうち、現在の中部中学校区
蒲郡南地区	昭和 29 年蒲郡市設立時の旧蒲郡町のうち、現在の蒲郡中学校区
塩津地区	昭和 29 年蒲郡市設立時の旧塩津村
形原地区	昭和 37 年蒲郡市合併時の旧形原町
西浦地区	昭和 38 年蒲郡市合併時の旧西浦町

4-2 各地区の人口構成と公共施設保有量

【人口】

- ・総人口は蒲郡南地区が 17,033 人と最も多くなっています。続いて形原地区が 15,658 人、三谷地区が 13,252 人となっています。
- ・西浦地区は年少人口割合が約 10%である一方、老年人口割合が約 29%となっており、少子化・高齢化といった人口構成の変化が 7 地区の中でも顕著となっています。

【公共施設保有面積】

- ・本章では、公共施設のうち、主に地区内の住民により利用される施設（公民館、公園、保育園、小中学校等）を「地区利用型施設」、全市の住民により利用される施設（庁舎、図書館、スポーツ施設、消防施設等）を「全市利用型施設」として分析します。
- ・地区利用型施設の人口 1 人あたり保有面積は 1.60~2.49 m²/人で、大塚地区および西浦地区が大きくなっています。全市利用型施設の人口 1 人あたり保有面積は 0.54~4.88 m²/人で、蒲郡北地区および塩津地区が大きくなっています。

図 4-2 地区別にみた人口・人口構成・公共施設保有面積の比較

地区	面積 (kn ²)	総人口 (人)	年齢階層別人口 (人)			年齢階層別人口の割合 (%)			公共施設保有面積 (m ²)			人口1人あたり保有面積 (m ² /人)		
			年少人口	生産年齢人口	老年人口	年少人口	生産年齢人口	老年人口	地区利用型施設	全市利用型施設	全施設	地区利用型施設	全市利用型施設	全施設
大塚	8.14	6,382	1,038	3,997	1,347	16.3%	62.6%	21.1%	14,820	16,848	31,668	2.32	2.64	4.96
三谷	4.16	13,252	1,588	8,326	3,338	12.0%	62.8%	25.2%	25,431	7,201	32,632	1.92	0.54	2.46
蒲郡北	14.14	12,652	1,759	8,015	2,880	13.9%	63.4%	22.8%	27,144	50,765	77,909	2.15	4.01	6.16
蒲郡南	9.18	17,033	2,261	10,316	4,454	13.3%	60.6%	26.2%	35,617	59,613	95,230	2.09	3.50	5.59
塩津	10.73	11,009	1,483	7,025	2,501	13.5%	63.8%	22.7%	17,589	53,670	71,259	1.60	4.88	6.47
形原	6.23	15,658	2,242	9,545	3,871	14.3%	61.0%	24.7%	25,632	9,560	35,192	1.64	0.61	2.25
西浦	3.97	6,263	644	3,817	1,802	10.3%	60.9%	28.8%	15,593	12,943	28,535	2.49	2.07	4.56

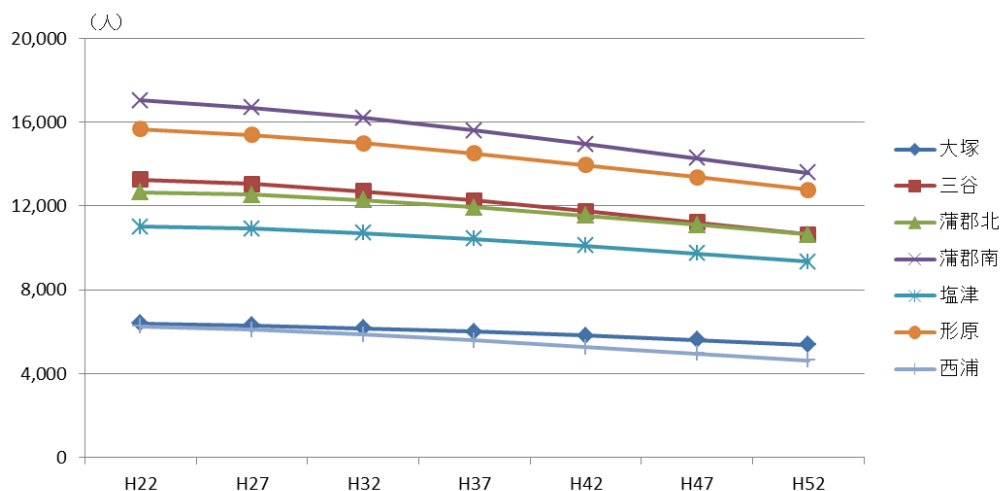
※人口は平成 22 年国勢調査の結果（年齢不詳按分済みのもの）をもとに掲載しています。

※年少人口は 15 歳未満の人口、生産年齢人口は 15 歳以上 65 歳未満の人口、老年人口は 65 歳以上の人口を表しています。

※人口の割合は、小数点第 2 位を四捨五入しているため、合計が 100 にならない場合があります。

出所：国勢調査、蒲郡市公共施設一覧

図 4-3 地区別の人口推移（総人口）



出所：国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査

4-3 大塚地区の現状

(1) 地区の特色

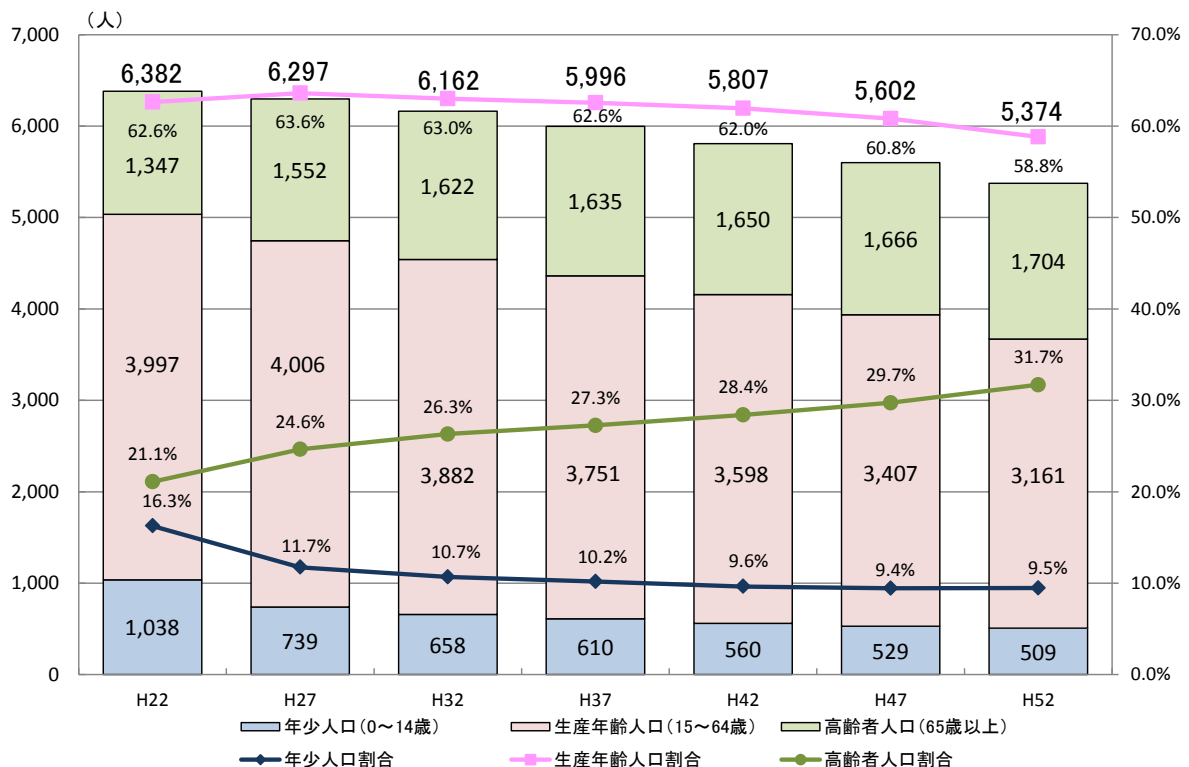
大塚地区は市東部に位置し、東海道本線の三河大塚駅を中心に市街地が形成されています。海岸から東海道本線沿線にかけては住宅地を中心とした市街地が広がり、その北側は主に農地として利用され、最北部は森林地帯となっています。人口は6,382人と7地区中2番目に少なく、市全体の約7.8%を占めています。

海辺には複合リゾート施設のラグーナテンボスが立地しており、市内の主要観光地の一つともなっています。また、森林地帯にはさがらの森や橘丘里山緑地といったレクリエーション空間としても活用される里山が残されており、人と自然が共生した地区となっています。

(2) 将来人口推計

- ・生産年齢人口は、平成27年の4,006人(63.6%)をピークに減少し、平成52年には3,161人(58.8%)となる見込みです。
- ・一方で、高齢者人口は平成22年の1,347人(21.1%)から平成52年の1,704人(31.7%)まで増加する見込みです。全市平均に比べると高齢化のペースは遅いですが、より少ない生産年齢人口で高齢者を支える構造となる点は共通しています。
- ・年少人口は平成22年の1,038人(16.3%)から平成52年には509人(9.5%)となり、半分にまで減少する見込みです。

図 4-4 将来人口推計 (大塚地区)



※実績値は平成22年の国勢調査をもとに作成しています。

※推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表)をもとに作成しています。

出所：国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

・合計 31,668 m²の公共施設が整備されており、海岸から東海道本線にかけての沿岸部に多くの施設が立地しています。

図 4-5 公共施設の配置状況（大塚地区）



(4) 老朽化状況・災害対策状況

- ・地区利用型施設では、大塚西保育園の老朽化が進行しています。
- ・大塚公民館、大塚小学校、大塚中学校は避難所に指定され、各種防災設備も整備されており、大塚地区における防災拠点となっています。
- ・全市利用型施設では、養護老人ホーム、老人福祉センター寿楽荘、市営大塚住宅の老朽化が進んでいます。

図 4-6 公共施設一覧（大塚地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化度	危険区域該当		避難所指定	防災設備の有無			
							津波浸水	土砂災害		防災備蓄用品	非常用発電装置	非常用通信装置	災害用電話配線
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	大塚公民館	742	S47	2.9			○	○		○	○
	体育施設	児童遊園地等	産子山児童遊び場便所	1	S57	調査対象外							
			相楽西児童遊び場便所	1	H5	調査対象外							
	児童福祉施設	保育園	大塚西保育園	530	S48	3.1			○				○
			大塚保育園	684	S45	2.8			○				○
	学校教育施設	小学校	大塚小学校	5,354	S31	2.5			○	○	○	○	○
			中学校	大塚中学校	7,104	S32	2.4			○	○	○	○
	その他施設	その他	橘丘里山緑地公衆便所	15	H23	調査対象外							
全市利用型施設	体育施設	スポーツ施設等	犬口グラウンド便所	3	S60	調査対象外							
			海陽多目的広場	132	H9	2.6							
	保健・福祉施設	福祉センター等	養護老人ホーム	1,070	S46	3.1				○			○
			老人福祉センター寿楽荘	1,610	S50	3.0							○
			大塚デイサービス	502	H7	2.6			○	○		○	○
	公営住宅等施設	公営住宅等	市営丸山住宅	6,951	H9	2.0							
			市営大塚住宅	5,228	S49	3.3							
	消防施設	消防署等	消防団器具庫1-1	60	H3	2.3							
			消防団器具庫1-2	85	H24	1.3							
			消防団器具庫1-3	60	H1	2.8							
			大塚水防倉庫	40	S51	調査対象外							
			大塚大震災対策用器具格納庫	7	S57	調査対象外							
	大塚西保育園大震災対策用器具格納庫	7	S62	調査対象外									
その他施設	駐車場	大塚駅第1自転車駐車場	145	S58	1.0								
		その他	三河大塚駅前公衆便所	32	H17	調査対象外							

※全市利用型施設のうち一般廃棄物最終処分場は掲載していません。

※複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

※「危険区域該当」における「津波浸水」は平成26年5月30日発表「愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査」に基づく津波浸水区域を指します。「土砂災害」は愛知県による土砂災害特別警戒区域を指します。

※「避難所」は避難施設（長期滞在）及び地域避難所（風水害の一時避難場所）を掲載しています。

※「非常用発電装置」は自家発電装置ならびに小型発電機を指します。

※「非常用電話配線」は災害時優先電話を指します。

※老朽化度3.0以上の施設は、黄色の網掛けで表示しています。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では大塚公民館において、会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率が20%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では海陽多目的広場において、広場等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は40%程度となっています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約1.65億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約25.9千円/人となっています。

図 4-7 市民に部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（大塚地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)				
				0.0	20.0	40.0	60.0	80.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	大塚公民館	23.7				
全市利用型施設	体育施設	スポーツ施設等	海陽多目的広場	38.0				

※貸部屋等利用率の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

図 4-8 公共施設の利用状況の把握（大塚地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	利用者数			平均入居率(%)	平均園児数(人)	平均児童・生徒数(人)	貸出冊数/蔵書数	貸部屋等利用率(%)	
							3年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/m ² ・日)						
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	大塚公民館	742	S47	2.9	34,742	116.5	0.157	-	-	-	-	23.7	
	体育施設	児童遊園地等	産子山児童遊び場便所	1	S57	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			相楽西児童遊び場便所	1	H5	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
	児童福祉施設	保育園	大塚西保育園	530	S48	3.1	-	-	-	-	32	-	-	-	
			大塚保育園	684	S45	2.8	-	-	-	-	59	-	-	-	
	学校教育施設	小学校	大塚小学校	5,354	S31	2.5	-	-	-	-	-	331	-	-	
			大塚中学校	7,104	S32	2.4	-	-	-	-	-	176	-	-	
	その他施設	その他	橋丘里山緑地公衆便所	15	H23	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
	全市利用型施設	体育施設	スポーツ施設等	犬口グラウンド便所	3	S60	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
				海陽多目的広場	132	H9	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-
保健・福祉施設		福祉センター等	養護老人ホーム	1,070	S46	3.1	6,089	16.7	0.016	-	-	-	-	-	
			老人福祉センター-寿楽荘	1,610	S50	3.0	48,696	199.6	0.124	-	-	-	-	-	
			大塚デイサービス	502	H7	2.6	6,757	20.2	0.040	-	-	-	-	-	
公営住宅等施設		公営住宅等	市営丸山住宅	6,951	H9	2.0	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
			市営大塚住宅	5,228	S49	3.3	-	-	-	100.0	-	-	-	-	
消防施設		消防署等	消防団器具庫1-1	60	H3	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
			消防団器具庫1-2	85	H24	1.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
			消防団器具庫1-3	60	H1	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	
			大塚水防倉庫	40	S51	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			大塚大震災対策用器具格納庫	7	S57	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			大塚西保育園大震災対策用器具格納庫	7	S62	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他施設	駐車場	大塚駅第1自転車駐車場	145	S58	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-		
		その他	三河大塚駅前公衆便所	32	H17	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-		

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

図 4-9 公共施設のコスト状況の把握（大塚地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築年	老朽化 度	市の支出				市の収入 (千円)	市の負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
							施設に係 るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に係る コスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用型 施設	公民館等施設	公民館・市民会館	大塚公民館	742	S47	2.9	1,453	0	0	6,523	5	7,971	10,738
			産子山児童遊び場便所	1	S57	調査対象外	4	0	0	0	0	4	4,000
	体育施設	児童遊園地等	相楽西児童遊び場便所	1	H5	調査対象外	4	0	0	0	0	4	4,000
			大塚西保育園	530	S48	3.1	4,120	7,929	22,200	0	7,125	27,125	51,213
	児童福祉施設	保育園	大塚保育園	684	S45	2.8	4,676	10,546	40,067	0	11,664	43,625	63,821
			おおつか児童館	389	H11	2.0	3,556	3,103	11,900	0	1,276	17,283	44,432
	学校教育施設	小学校	大塚小学校	5,354	S31	2.5	17,204	8,424	5,767	0	93	31,302	5,847
			大塚中学校	7,104	S32	2.4	24,446	7,190	6,500	0	93	38,043	5,355
	その他施設	その他	橋丘里山緑地公衆便所	15	H23	調査対象外	—	—	—	—	—	—	—
	全市 利用型 施設	体育施設	スポーツ施設等	犬口グラウンド便所	3	S60	調査対象外	0	0	0	714	0	714
海陽多目的広場				132	H9	2.6	4,983	0	0	0	0	4,983	37,804
保健・福祉施設		福祉センター等	養護老人ホーム	1,070	S46	3.1	2,101	32	0	71,448	14,841	58,739	54,890
			老人福祉センター寿楽荘	1,610	S50	3.0	31	1,537	0	43,361	40	44,889	27,881
			大塚デイサービス	502	H7	2.6	347	0	0	0	6	341	679
公営住宅等施設		公営住宅等	市営丸山住宅	6,951	H9	2.0	8,863	0	1,800	0	26,650	-15,987	-2,300
			市営大塚住宅	5,228	S49	3.3	3,327	0	1,800	0	16,664	-11,538	-2,207
消防施設		消防署等	消防回器具庫1-1	60	H3	2.3	23	0	0	0	0	23	380
			消防回器具庫1-2	85	H24	1.3	43	0	0	0	0	43	502
			消防回器具庫1-3	60	H1	2.8	22	0	0	0	0	22	365
			大塚水防倉庫	40	S51	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
			大塚大震災対策用器具格納庫	7	S57	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
			大塚西保育園大震災対策用器具格納庫	7	S62	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
その他施設		駐車場	大塚駅第1自転車駐車場	145	S58	1.0	228	0	0	0	0	228	1,572
			三河大塚駅前公衆便所	32	H17	調査対象外	1,065	2	0	0	0	1,067	33,873

※市の支出・収入・負担額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

4-4 三谷地区の現状

(1) 地区の特色

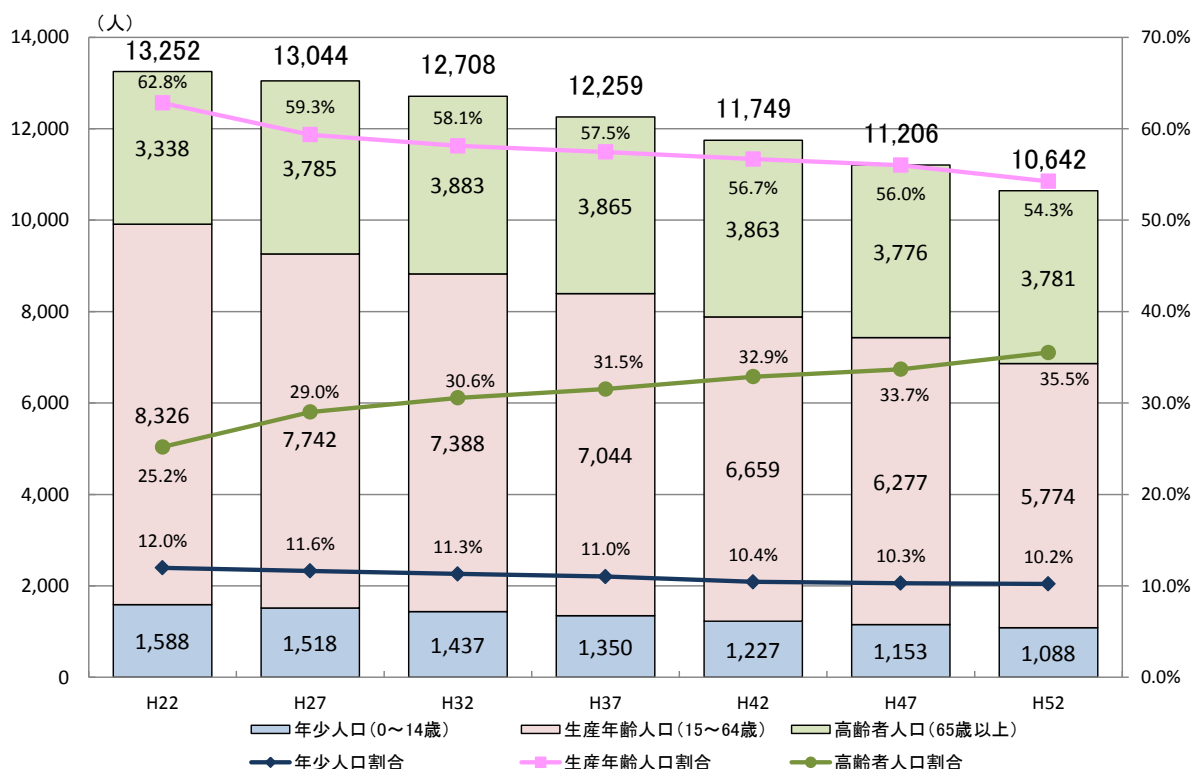
三谷地区は市中東部に位置し、東海道本線の三河三谷駅が中心となる一方、蒲郡地区と連続して市街地を形成しています。市街地の多くが住宅地となっていますが、三河湾国立公園内の海岸沿いには三谷温泉が立地しており、観光地としての機能も有しています。人口は13,252人と7地区中3番目で、市全体の約16.1%を占めています。

蒲郡市都市計画マスタープランにおいては、三河三谷駅周辺を中心都市核の機能を補完する副次都市核として位置付けているほか、三谷温泉周辺を広域的な観光レクリエーション拠点として位置付けています。

(2) 将来人口推計

- ・生産年齢人口は、平成22年から平成52年の間に、8,326人(62.8%)から5,774人(54.3%)まで減少する見込みです。
- ・一方で、高齢者人口は平成22年の3,338人(25.2%)から平成52年の3,781人(35.5%)まで増加する見込みです。三谷地区では、全市平均とほぼ同じペースで高齢化が進行する見込みになっています。

図 4-10 将来人口推計（三谷地区）



※実績値は平成22年の国勢調査をもとに作成しています。

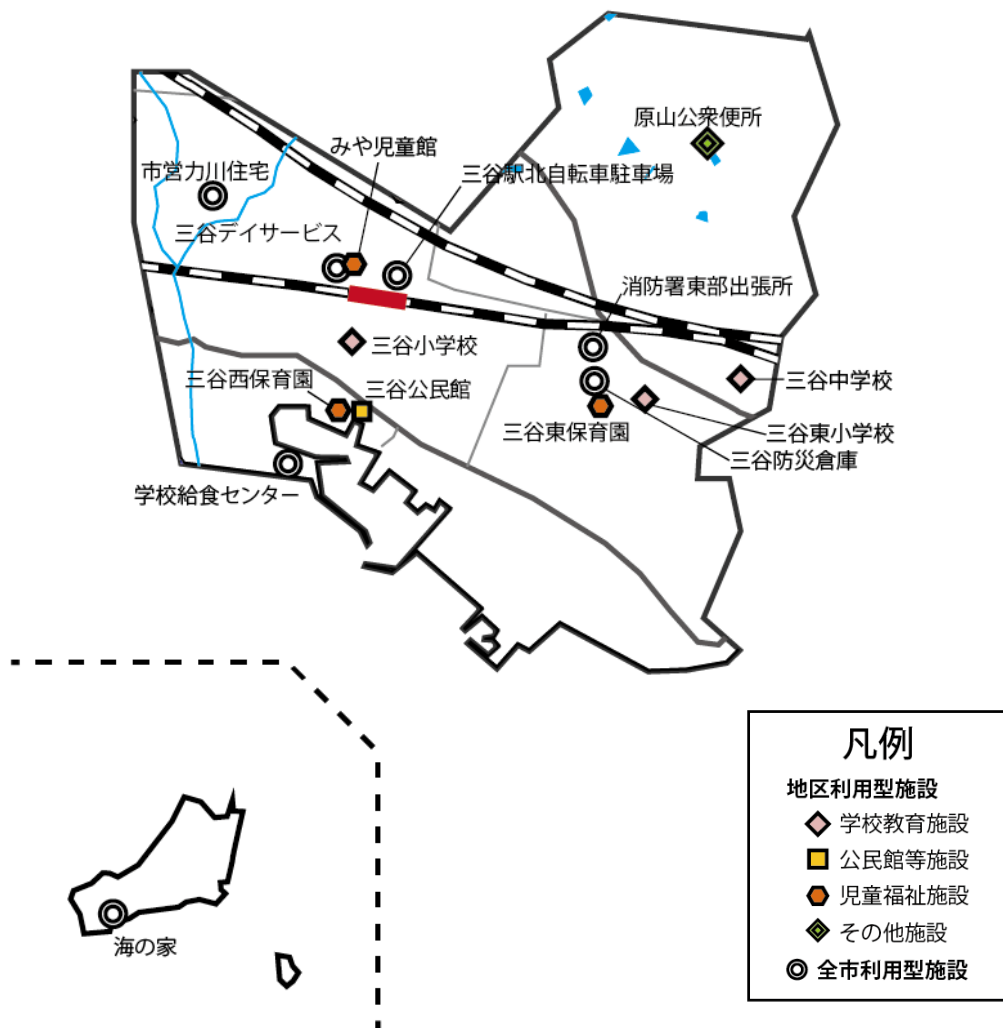
※推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表)をもとに作成しています。

出所：国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

・合計 32,632 m²の公共施設が整備されており、三河三谷駅周辺や東海道本線の沿線を中心に公共施設が立地しています。

図 4-11 公共施設の配置状況（三谷地区）



(4) 老朽化状況・災害対策状況

- ・地区利用型施設では、三谷西保育園、三谷小学校の老朽化が進行しています。三谷小学校は避難所にも指定されているため、避難時の安全性を確保するための対応が必要となっています。
- ・三谷公民館、三谷西保育園は津波浸水区域に該当しています。
- ・みや児童館、三谷小学校、三谷東小学校、三谷中学校は避難所に指定され、各種防災設備も整備されており、三谷地区における防災拠点となっています。
- ・全市利用型施設では、観光施設、公営住宅等、消防署等において老朽化が進行した施設が見られます。

図 4-12 公共施設一覧（三谷地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	危険区域該当		避難所指定	防災設備の有無					
							津波浸水	土砂災害		防災備蓄用品	非常用発電装置	非常用通信装置	災害用電話配線		
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	三谷公民館	1,854	S46	2.6	○								
			体育施設	公園	若宮公園	127	S43	調査対象外	○					○	
	児童福祉施設	保育園	児童遊園地等	弥生公園便所	10	S35	調査対象外								
				矢田公園便所	9	S45	調査対象外								
				須田公園便所	9	S45	調査対象外								
				星越公園便所	6	S59	調査対象外								
				丸戸公園便所	6	S59	調査対象外								
				向山公園便所	17	S45	調査対象外								
				半ノ木公園便所	10	S52	調査対象外								
				天伯公園便所	10	S46	調査対象外								
				寺戸公園	19	S46	調査対象外								
				西田川公園公衆便所	20	S63	調査対象外								
				黒別当児童遊園地便所	1	S48	調査対象外								
				みどりヶ丘児童遊び場便所	1	H5	調査対象外								
				三谷東保育園	1,252	S49	2.9			○					○
				三谷西保育園	1,002	S46	3.0	○							○
				みや児童館	490	H8	1.5			○	○				
学校教育施設	小学校	三谷小学校	6,092	S32	3.0			○	○	○	○	○			
		三谷東小学校	6,548	S32	2.9		○	○	○	○	○	○			
		三谷中学校	7,939	S48	2.7			○	○	○	○	○			
その他施設	その他	原山公衆便所	11	H23	調査対象外										
保健・福祉施設	福祉センター等	三谷デイサービス	557	H9	1.7			○	○		○				
全市利用型施設	観光施設	観光施設	海の家	583	S35	4.3	○								
			忠臣館	127	S40	3.8									
			三谷温泉園地休憩所	53	H3	2.0									
			三谷温泉篤欠 休憩所	72	S60	3.3	○	○							
			三谷温泉乃木山 休憩所	97	S56	3.3									
			弘法山園地管理舎(公衆便所)	24	S61	調査対象外									
			三河大島海水浴場	154	S50	調査対象外	○								
			公営住宅等施設	公営住宅等	市営力川住宅	557	S49	3.0							
			消防施設	消防署等	消防団器具庫2-1	27	S59	調査対象外							
					消防団器具庫2-2	57	H1	3.0	○						
	消防団器具庫2-3	23			S57	調査対象外	○								
	消防署東部出張所	439			S44	3.1					○	○	○		
	三谷防災倉庫	110			S57	2.7									
	三谷大震災対策用器具格納庫	7			S56	調査対象外									
	竹島小大震災対策用器具格納庫	7			S59	調査対象外									
	三谷小大震災対策用器具格納庫	7			S61	調査対象外									
	三谷中大震災対策用器具格納庫	7	H3	調査対象外											
三谷秋葉神社大震災対策用器具格納庫	6	H9	調査対象外												
学校教育施設	その他(学校教育)	学校給食センター	3,692	H16	1.0	○									
その他施設	駐車場	三谷駅北自転車駐車場	594	H7	2.0										
		三谷駅南公共駐車場料金所	2	H9	調査対象外										

※複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

※「危険区域該当」における「津波浸水」は平成26年5月30日発表 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査に基づく津波浸水区域を指します。「土砂災害」は愛知県による土砂災害特別警戒区域を指します。

※「避難所」は避難施設(長期滞在)及び地域避難所(風水害の一時避難場所)を掲載しています。

※「非常用発電装置」は自家発電装置ならびに小型発電機を指します。

※「非常用電話配線」は災害時優先電話を指します。

※老朽化度3.0以上の施設は、黄色の網掛けで表示しています。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設の三谷公民館において、集会室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は20%を下回っており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約3.06億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約23.1千円/人となっています。

図 4-13 市民に部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（三谷地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	貸出箇所						
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	三谷公民館	第1集会室、第2集会室、第3集会室、第4集会室、第5集会室、第6集会室、大集会室、和室、調理室						
利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)					
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	三谷公民館	16.4	0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0

※貸部屋等利用率の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

図 4-14 公共施設の利用状況の把握（三谷地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	利用者数			平均入居率(%)	平均園児数(人)	平均児童・生徒数(人)	貸出冊数/蔵書数	貸部屋等利用率(%)	
							3年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/m ² ・日)						
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	三谷公民館	1,854	S46	2.6	30,921	102.9	0.056	-	-	-	-	16.4	
			体育施設	公園	若宮公園	127	S43	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-
	児童福祉施設	保育園	若宮公園	127	S43	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			弥生公園便所	10	S35	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			久田公園便所	9	S45	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			須田公園便所	9	S45	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			星越公園便所	6	S59	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			丸戸公園便所	6	S59	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			向山公園便所	17	S45	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			半ノ木公園便所	10	S52	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			天伯公園便所	10	S46	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			寺戸公園	19	S46	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			西田川公園公衆便所	20	S63	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			児童遊園地等	黒別当児童遊園地便所	1	S48	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
			みどりヶ丘児童遊園地便所	1	H5	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			三谷東保育園	1,252	S49	2.9	-	-	-	-	-	145	-	-	-
			三谷西保育園	1,002	S46	3.0	-	-	-	-	-	83	-	-	-
児童館	みや児童館	490	H8	1.5	23,637	80.4	0.164	-	-	-	-	-			
学校教育施設	小学校	三谷小学校	6,092	S32	3.0	-	-	-	-	-	275	-	-		
三谷東小学校	6,548	S32	2.9	-	-	-	-	-	-	-	317	-			
中学校	三谷中学校	7,939	S48	2.7	-	-	-	-	-	-	330	-			
その他施設	その他	原山公衆便所	11	H23	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-		
保健・福祉施設	福祉センター等	三谷デイサービス	557	H9	1.7	8,933	26.9	0.048	-	-	-	-	-		
全市利用型施設	観光施設	観光施設	海の家	583	S35	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
			忠臣館	127	S40	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-	
			三谷温泉園地休憩所	53	H3	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
			三谷温泉喜久 休憩所	72	S60	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
			三谷温泉乃木山 休憩所	97	S56	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
			弘法山園地管理舎(公衆便所)	24	S61	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			三河大島海水浴場	154	S50	調査対象外	19,550	315.3	2.045	-	-	-	-	-	
			市営力川住宅	557	S49	3.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
			消防施設	消防署等	消防団器具庫2-1	27	S59	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-
			消防団器具庫2-2	57	H1	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
			消防団器具庫2-3	23	S57	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防署裏部出張所	439	S44	3.1	-	-	-	-	-	-	-	-			
	三谷防災倉庫	110	S57	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-			
	三谷大震災対策用器具格納庫	7	S56	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-			
	竹島小大震災対策用器具格納庫	7	S59	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-			
	三谷小大震災対策用器具格納庫	7	S61	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-			
	三谷中大震災対策用器具格納庫	7	H3	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-			
	三谷秋葉神社大震災対策用器具格納庫	6	H9	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-			
	学校教育施設	その他(学校教育)	学校給食センター	3,692	H16	1.0	1,462,456	6,621.7	1.793	-	-	-	-		
	その他施設	駐車場	三谷駅北自転車駐車場	594	H7	2.0	-	-	-	-	-	-	-		
	三谷駅南公共駐車場料金所	2	H9	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-			

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

※学校給食センターの利用者数は配食数を示しています。

図 4-15 公共施設のコスト状況の把握（三谷地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	市の支出				市の収入(千円)	市の負担額(千円)	面積あたり市負担額(円/m ²)		
							施設に係るコスト(千円)	事業運営に係るコスト(千円)	人に係るコスト(千円)	指定管理料(千円)					
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	三谷公民館	1,854	S46	2.6	1,767	2,330	4,009	0	21	8,085	4,361		
			体育施設	公園	若宮公園	127	S43	調査対象外	0	0	0	212	0	212	1,669
	公園	弥生公園便所	10	S35	調査対象外	198	0	0	0	0	0	198	19,604		
		矢田公園便所	9	S45	調査対象外	97	0	0	0	0	0	97	10,778		
		須田公園便所	9	S45	調査対象外	91	0	0	0	0	0	91	10,111		
		星越公園便所	6	S59	調査対象外	177	0	0	0	0	0	177	30,517		
		丸戸公園便所	6	S59	調査対象外	192	0	0	0	0	0	192	33,161		
		向山公園便所	17	S45	調査対象外	296	0	0	0	0	0	296	17,209		
		半ノ木公園便所	10	S52	調査対象外	471	0	0	0	0	0	471	49,475		
		天伯公園便所	10	S46	調査対象外	123	0	0	0	0	0	123	12,955		
		寺戸公園	19	S46	調査対象外	162	0	0	0	0	0	162	8,451		
		西田川公園公衆便所	20	S63	調査対象外	568	0	0	0	0	0	568	28,935		
		児童遊園地等	黒別当児童遊園地便所	1	S48	調査対象外	18	0	0	0	0	0	18	18,000	
			みどりヶ丘児童遊び場便所	1	H5	調査対象外	4	0	0	0	0	0	4	4,000	
	児童福祉施設	保育園	三谷東保育園	1,252	S49	2.9	7,014	32,135	85,900	0	27,997	97,052	77,538		
			三谷西保育園	1,002	S46	3.0	4,359	19,669	63,533	0	16,497	71,065	70,903		
	学校教育施設	小学校	みや児童館	490	H8	1.5	3,293	3,101	8,100	0	1,038	13,456	27,483		
			三谷小学校	6,092	S32	3.0	11,914	7,702	9,733	0	93	29,256	4,802		
	中学校	三谷東小学校	6,548	S32	2.9	24,761	7,648	2,700	0	93	35,016	5,348			
		三谷中学校	7,939	S48	2.7	34,295	8,014	7,033	0	93	49,250	6,204			
その他施設	その他	原山公衆便所	11	H23	調査対象外	—	—	—	—	—	—	—			
全市利用型施設	保健・福祉施設	福祉センター等	三谷デイサービス	557	H9	1.7	35	0	0	0	0	35	62		
			海の家	583	S35	4.3	206	0	0	0	262	-56	-97		
	観光施設	観光施設	忠臣館	127	S40	3.8	4	0	0	0	4	0	0		
			三谷温泉園地休憩所	53	H3	2.0	85	0	0	0	0	85	1,610		
			三谷温泉意久 休憩所	72	S60	3.3	138	0	0	0	0	138	1,912		
			三谷温泉乃木山 休憩所	97	S56	3.3	216	0	0	0	0	216	2,232		
			弘法山園地管理舎(公衆便所)	24	S61	調査対象外	715	0	0	0	0	715	30,375		
			三河大島海水浴場	154	S50	調査対象外	36,736	0	0	0	0	36,736	238,234		
			公営住宅等施設	公営住宅等	市営力川住宅	557	S49	3.0	143	0	1,800	0	1,902	42	75
			消防施設	消防署等	消防団器具庫2-1	27	S59	調査対象外	21	0	0	0	0	21	790
					消防団器具庫2-2	57	H1	3.0	13	0	0	0	0	13	221
					消防団器具庫2-3	23	S57	調査対象外	5	0	0	0	10	-5	-220
	消防署東部出張所	439			S44	3.1	976	0	78,000	0	0	78,976	179,708		
	三谷防災倉庫	110			S57	2.7	0	0	0	0	0	0	0		
	三谷大震災対策用器具格納庫	7			S56	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0		
	竹島小大震災対策用器具格納庫	7			S59	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0		
	三谷小大震災対策用器具格納庫	7			S61	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0		
	三谷中大震災対策用器具格納庫	7			H3	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0		
	三谷秋葉神社大震災対策用器具格納庫	6			H9	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0		
	学校教育施設	その他(学校教育)	学校給食センター	3,692	H16	1.0	92,436	438,153	129,400	0	304,217	355,772	96,360		
その他施設	駐車場	三谷駅北自転車駐車場	594	H7	2.0	454	0	0	0	0	454	764			
		三谷駅南公共駐車場料金所	2	H9	調査対象外	122	0	0	0	0	122	56,327			

※市の支出・収入・負担額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

4-5 蒲郡北地区の現状

(1) 地区の特色

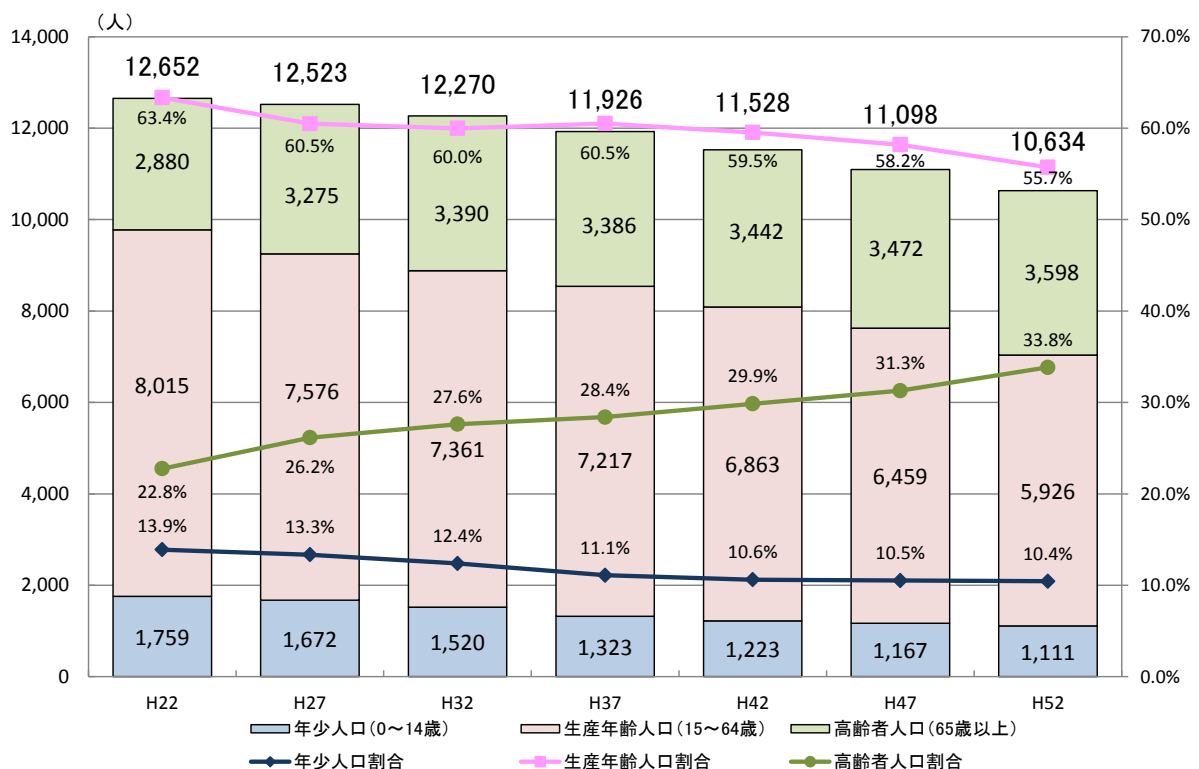
蒲郡北地区は市中北部に位置する地区で、地区南部の平野部に市役所や市民会館、図書館、博物館などの市の中核を担う施設が配置されており、市の行政上の中心になっています。一方、地区北部は住宅地や農地、森林が広がっていますが、平成26年3月末には国道23号蒲郡バイパス西部区間の開通によって西三河地域や名古屋圏とのアクセスが向上しました。自動車交通の利便性の高さを活かした今後の発展が期待されます。

人口は12,652人と7地区の中で4番目に多く、市全体の約15.4%を占めています。

(2) 将来人口推計

- ・生産年齢人口は、平成22年から平成52年の間に、8,015人(63.4%)から5,926人(55.7%)まで減少する見込みです。
- ・一方で、高齢者人口は平成22年の2,880人(22.8%)から平成52年の3,598人(33.8%)まで増加する見込みです。高齢者人口割合は全市平均より若干低いですが、ほぼ同じペースで高齢化が進行する見込みです。

図 4-16 将来人口推計（蒲郡北地区）



※実績値は平成22年の国勢調査をもとに作成しています。

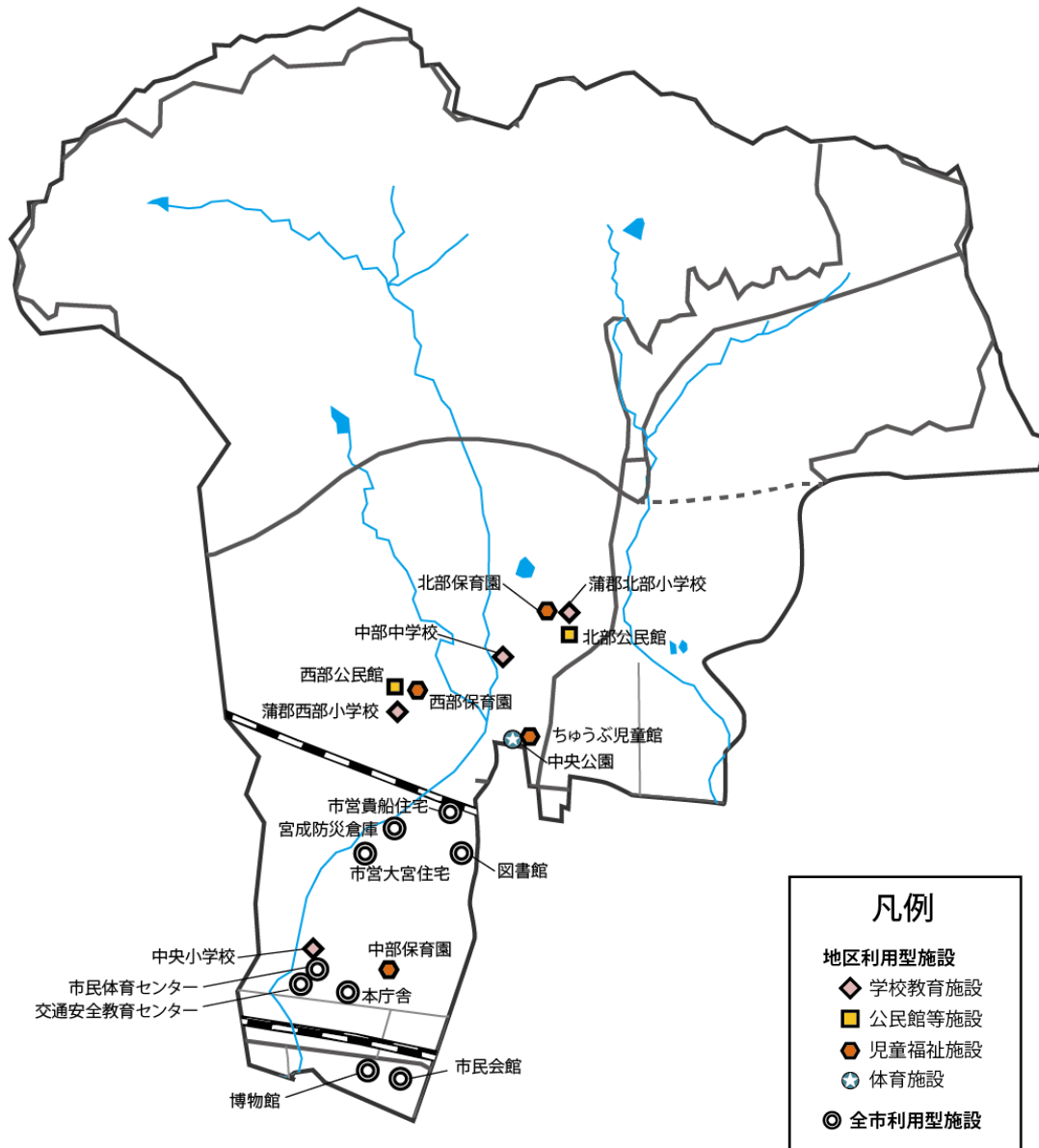
※推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表)をもとに作成しています。

出所：国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

・合計 77,909 m²の公共施設が整備されており、市役所や市民会館など市の大型公共施設が集まっています。

図 4-17 公共施設の配置状況（蒲郡北地区）



(4) 老朽化状況・災害対策状況

- ・地区利用型施設では、北部公民館、中央公園、北部保育園の老朽化が進行しています。北部公民館は避難所にも指定されているため、避難時の安全性を確保するための対応が必要となっています。
- ・西部公民館、北部公民館、蒲郡北部小学校、蒲郡西部小学校、中央小学校、中部中学校は避難所に指定され、各種防災設備も整備されており、蒲郡北地区における防災拠点となっています。
- ・全市利用型施設では、市民会館、博物館、図書館、市民体育センター（競技場）、市営貴船住宅、市営大宮住宅、宮成防災倉庫の老朽化が進行しています。
- ・市民会館、博物館は津波浸水区域に該当しています。

図 4-18 公共施設一覧（蒲郡北地区）

利用種別	施設用途（大分類）	施設用途（中分類）	施設名称	延床面積（㎡）	建築年	老朽化度	危険区域該当		避難所指定	防災設備の有無			
							津波浸水	土砂災害		防災備蓄用品	非常用発電装置	非常用通信装置	災害用電話配線
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西部公民館	418	S51	2.6			○	○			
			北部公民館	551	S53	3.0			○	○		○	
	体育施設	公園	中ノ坊公園便所	10	S38	調査対象外							
			御幸公園便所	8	S62	調査対象外							
			神倉公園便所	17	H8	調査対象外							
			旭公園	34	H8	調査対象外							
			蒲形公園便所	15	S59	調査対象外							
			大坪公園便所	12	S43	調査対象外							
			海岸公園便所	10	S47	調査対象外	○						
			数田公園便所	10	S51	調査対象外							
			中央公園	148	S55	3.0							
			児童遊園地等	児童遊園地等	西沢児童遊園地便所	11	S38	調査対象外					
	乙姫児童遊園地便所	15			S41	調査対象外							
	門田児童遊園地倉庫	20			S46	調査対象外							
	児童福祉施設	保育園	中部保育園	1,308	S51	2.6			○				○
			北部保育園	1,140	S55	3.0			○				○
	学校教育施設	小学校	西部保育園	660	S52	2.2			○				○
			ちゅうぶ児童館	569	H16	2.0							
			蒲郡北部小学校	4,747	S27	2.7			○	○	○	○	○
	中学校	中学校	蒲郡西部小学校	3,642	S27	2.2			○	○	○	○	○
中央小学校			6,216	S41	2.9			○	○	○	○	○	
中部中学校			7,585	S53	2.3			○	○	○	○	○	
全市利用型施設	庁舎等施設	庁舎・車庫	本庁舎	19,342	S36	2.7				○	○	○	○
	公民館等施設	公民館・市民会館	市民会館	13,233	S48	3.5	○						
	生涯学習施設	博物館等	博物館	2,344	S53	3.3	○						○
			図書館	3,348	S44	3.1							○
	体育施設	スポーツ施設等	市民体育センター	5,241	S42	3.6							
			競技場										
			武道館	5,031	S55	2.3			○				○
	公営住宅等施設	公営住宅等	中部運動広場便所	2	S61	調査対象外							
			市営貴船住宅	855	S28	4.0							
			市営大宮住宅	494	S35	4.0							
	消防施設	消防署等	消防回器具庫3-4	92	H22	1.0							
			消防回器具庫5-1	45	S59	調査対象外							
			消防回器具庫5-2	45	S58	調査対象外							
			消防回器具庫5-3	35	S53	調査対象外							
			消防回器具庫6	32	S56	調査対象外							
			宮成防災倉庫	261	S46	3.0					○		
			清田水防倉庫	39	S53	調査対象外							
			西部大震災対策用器具格納庫	7	S58	調査対象外							
			北部小大震災対策用器具格納庫	7	S59	調査対象外							
			中央小学校大震災対策用器具格納庫	7	H2	調査対象外							
中部中学校大震災対策用器具格納庫			7	H4	調査対象外								
中ノ坊公園大震災対策用器具格納庫			7	H7	調査対象外								
大坪公園大震災対策用器具格納庫			7	H8	調査対象外								
市民会館西大震災対策用器具格納庫	7	H8	調査対象外										
その他施設	その他	交通安全教育センター	276	S48	3.6								

※複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

※「危険区域該当」における「津波浸水」は平成26年5月30日発表 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査に基づく津波浸水区域を指します。「土砂災害」は愛知県による土砂災害特別警戒区域を指します。

※「避難所」は避難施設（長期滞在）及び地域避難所（風水害の一時避難場所）を掲載しています。

※「非常用発電装置」は自家発電装置ならびに小型発電機を指します。

※「非常用電話配線」は災害時優先電話を指します。

※老朽化度3.0以上の施設は、黄色の網掛けで表示しています。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では公民館で会議室やホール等の貸出しを行っています。西部公民館、北部公民館は貸部屋等利用率が20%を下回っており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では、市民会館や博物館やスポーツ施設で企画展示室や競技場の貸出しを行っています。市民会館、博物館、市民体育センターでは、貸部屋等利用率が30%を超える利用率となっています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約4.17億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約33千円/人となっています。
- ・支出を項目別にみると、市民会館は指定管理料が大きくなっています。

図 4-19 市民に部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（蒲郡北地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西部公民館	南和室(研修室1)、中和室(研修室2)、北和室(研修室3)、講義室、図書室、料理実習室
			北部公民館	第1研修室、第2研修室、会議室、講義室、料理実習室
全市利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	市民会館	大ホール、中ホール、東ホール、大会議室、中会議室、東会議室、談話室、展示場1(パブリックロビー)、展示場2(高床広場)、茶室、会議室1、会議室2、会議室3、リハーサル室1、リハーサル室2、音楽室、託児室
	生涯学習施設	博物館等	博物館	ギャラリー(企画展示室)東、ギャラリー(企画展示室)西
	体育施設	スポーツ施設等	市民体育センター	競技場A、競技場B、柔道場A、柔道場B、柔道場C、剣道場A、剣道場B、剣道場C、多目的練習場、武道館会議室、第1弓道場、第2弓道場、大会議室、第1会議室、第2会議室、第3会議室、第4会議室、第5会議室、和室大広間、和室南の間、相撲場

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸部屋等利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)				
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西部公民館	12.8					
			北部公民館	15.5					
全市利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	市民会館	32.7					
	生涯学習施設	博物館等	博物館	36.6					
	体育施設	スポーツ施設等	市民体育センター	39.3					

※貸部屋等利用率の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

図 4-20 公共施設の利用状況の把握（蒲郡北地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	利用者数			平均入居率(%)	平均園児数(人)	平均児童・生徒数(人)	貸出冊数/蔵書数	貸部屋等利用率(%)	
							3年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/m ² ・日)						
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西部公民館	418	S51	2.6	8,208	27.2	0.065	-	-	-	-	12.8	
			北部公民館	551	S53	3.0	34,282	112.6	0.204	-	-	-	-	-	15.5
	体育施設	公園	中ノ坊公園便所	10	S38	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			御幸公園便所	8	S62	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			神倉公園便所	17	H8	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			旭公園	34	H8	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			蒲形公園便所	15	S59	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			大坪公園便所	12	S43	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			海岸公園便所	10	S47	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			藪田公園便所	10	S51	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			中央公園	148	S55	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			児童遊園地等	西沢児童遊園地便所	11	S38	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
	乙姫児童遊園地便所	15	S41	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	門田児童遊園地倉庫	20	S46	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	児童福祉施設	保育園	中部保育園	1,308	S51	2.6	-	-	-	-	144	-	-	-	
			北部保育園	1,140	S55	3.0	-	-	-	-	126	-	-	-	
			西部保育園	660	S52	2.2	-	-	-	-	43	-	-	-	
	児童館	ちゅうぶ児童館	569	H16	2.0	35,599	121.1	0.213	-	-	-	-	-		
	学校教育施設	小学校	蒲郡北部小学校	4,747	S27	2.7	-	-	-	-	-	303	-	-	
			蒲郡西部小学校	3,642	S27	2.2	-	-	-	-	-	81	-	-	
中央小学校			6,216	S41	2.9	-	-	-	-	-	309	-	-		
中部中学校			7,585	S53	2.3	-	-	-	-	-	335	-	-		
中学校			7,585	S53	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-		
全市利用型施設	庁舎等施設	庁舎・車庫	本庁舎	19,342	S36	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	
			市民会館	13,233	S48	3.5	236,933	769.3	0.058	-	-	-	-	32.7	
	公民館等施設	公民館・市民会館	博物館等	2,344	S53	3.3	32,680	108.5	0.046	-	-	-	-	36.6	
			図書館	3,348	S44	3.1	-	-	-	-	-	-	1,565	-	
	体育施設	スポーツ施設等	市民体育センター	10,272	S42	3.0	167,728	466.8	0.045	-	-	-	-	39.3	
			中部運動広場便所	2	S61	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
	公営住宅等施設	公営住宅等	市営貴船住宅	855	S28	4.0	-	-	-	44.4	-	-	-	-	
			市営大宮住宅	494	S35	4.0	-	-	-	43.8	-	-	-	-	
	消防施設	消防署等	消防団器具庫3-4	92	H22	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
			消防団器具庫5-1	45	S59	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			消防団器具庫5-2	45	S58	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			消防団器具庫5-3	35	S53	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			消防団器具庫6	32	S56	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			宮成防災倉庫	261	S46	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	
			清田水防倉庫	39	S53	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			西部大震災対策用器具格納庫	7	S58	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			北部小大震災対策用器具格納庫	7	S59	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			中央小学校大震災対策用器具格納庫	7	H2	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			中部中学校大震災対策用器具格納庫	7	H4	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			中ノ坊公園大震災対策用器具格納庫	7	H7	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
大坪公園大震災対策用器具格納庫			7	H8	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-		
市民会館西大震災対策用器具格納庫	7	H8	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-				
その他施設	その他	交通安全教育センター	276	S48	3.6	-	-	-	-	-	-	-	-		

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

図 4-21 公共施設のコスト状況の把握（蒲郡北地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	市の支出				市の収入(千円)	市の負担額(千円)	面積あたり市負担額(円/m ²)
							施設に係るコスト(千円)	事業運営に係るコスト(千円)	人に係るコスト(千円)	指定管理料(千円)			
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西部公民館	418	S51	2.6	1,184	0	0	4,901	0	6,085	14,670
			北部公民館	551	S53	3.0	291	0	0	5,472	0	5,763	10,466
	体育施設	公園	中ノ坊公園便所	10	S38	調査対象外	177	0	0	0	0	177	17,733
			御幸公園便所	8	S62	調査対象外	136	0	0	0	0	136	16,464
			神倉公園便所	17	H8	調査対象外	163	0	0	0	0	163	9,535
			旭公園	34	H8	調査対象外	261	0	0	0	0	261	7,781
			蒲形公園便所	15	S59	調査対象外	261	0	0	0	0	261	17,284
			大坪公園便所	12	S43	調査対象外	116	0	0	0	0	116	9,442
			海岸公園便所	10	S47	調査対象外	194	0	0	0	0	194	20,413
			藪田公園便所	10	S51	調査対象外	140	0	0	0	0	140	14,741
			中央公園	148	S55	3.0	0	0	0	212	0	212	1,437
			児童遊園地等	西沢児童遊園地便所	11	S38	調査対象外	5	0	0	0	0	5
	乙姫児童遊園地便所	15	S41	調査対象外	14	0	0	0	0	14	904		
	門田児童遊園地倉庫	20	S46	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0		
	児童福祉施設	保育園	中部保育園	1,308	S51	2.6	6,094	33,612	78,867	0	34,987	83,585	63,909
			北部保育園	1,140	S55	3.0	5,757	28,361	83,733	0	27,194	90,657	79,533
			西部保育園	660	S52	2.2	2,972	9,416	50,533	0	8,939	53,983	81,840
	児童館	ちゅうぶ児童館	569	H16	2.0	1,795	2,436	10,633	0	323	14,541	25,567	
	学校教育施設	小学校	蒲郡北部小学校	4,747	S27	2.7	21,184	8,042	6,133	0	93	35,266	7,429
			蒲郡西部小学校	3,642	S27	2.2	14,485	6,878	2,700	0	93	23,970	6,582
中央小学校			6,216	S41	2.9	35,475	8,577	3,600	0	503	47,149	7,585	
中部中学校			7,585	S53	2.3	40,768	8,111	5,767	0	93	54,553	7,192	
中学校			7,585	S53	2.3	40,768	8,111	5,767	0	93	54,553	7,192	
全市利用型施設	庁舎等施設	庁舎・車庫	本庁舎	19,342	S36	2.7	137,610	23,222	3,900	0	7,565	157,166	8,126
			市民会館	13,233	S48	3.5	39,935	0	0	99,325	16,102	123,157	9,307
	公民館等施設	公民館・市民会館	博物館等	2,344	S53	3.3	12,041	8,007	26,900	0	3,823	43,125	18,399
			図書館	3,348	S44	3.1	3,752	0	0	112,879	0	116,631	34,832
	体育施設	スポーツ施設等	市民体育センター	10,272	S42	3.0	7,316	0	0	40,715	13,376	34,655	3,374
			中部運動広場便所	2	S61	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
	公営住宅等施設	公営住宅等	市営貴船住宅	855	S28	4.0	150	0	1,800	0	1,134	816	955
			市営大宮住宅	494	S35	4.0	123	0	1,800	0	240	1,682	3,404
	消防施設	消防署等	消防団器具庫3-4	92	H22	1.0	61	0	0	0	0	61	668
			消防団器具庫5-1	45	S59	調査対象外	21	0	0	0	0	21	463
			消防団器具庫5-2	45	S58	調査対象外	24	0	0	0	0	24	522
			消防団器具庫5-3	35	S53	調査対象外	21	0	0	0	0	21	601
			消防団器具庫6	32	S56	調査対象外	19	0	0	0	0	19	576
			宮成防災倉庫	261	S46	3.0	0	0	0	0	0	0	0
			清田水防倉庫	39	S53	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
			西部大震災対策用器具格納庫	7	S58	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
			北部小大震災対策用器具格納庫	7	S59	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
			中央小学校大震災対策用器具格納庫	7	H2	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
			中部中学校大震災対策用器具格納庫	7	H4	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
			中ノ坊公園大震災対策用器具格納庫	7	H7	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
大坪公園大震災対策用器具格納庫			7	H8	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0	
市民会館西大震災対策用器具格納庫	7	H8	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0			
その他施設	その他	交通安全教育センター	276	S48	3.6	4	0	0	0	65	-61	-220	

※市の支出・収入・負担額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

4-6 蒲郡南地区の現状

(1) 地区の特色

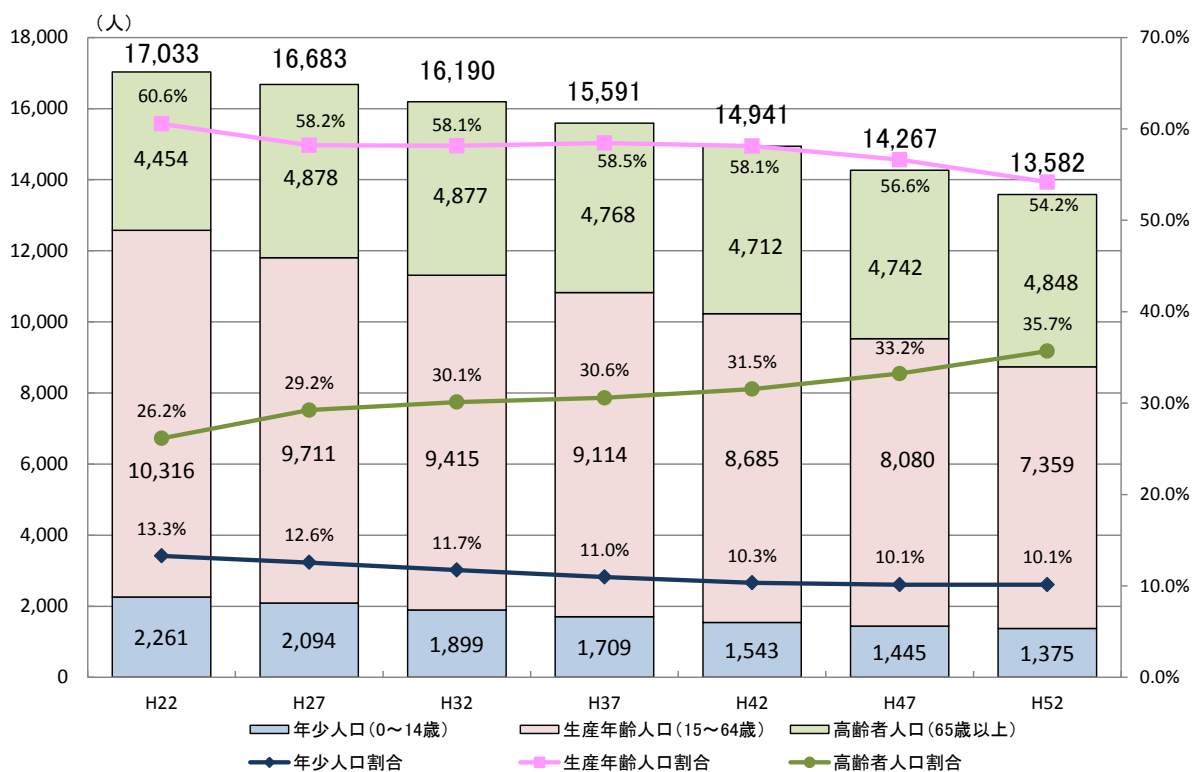
蒲郡南地区は市中南部に位置し、蒲郡駅を中心とした市の玄関口となる地区です。蒲郡駅周辺の中心市街地が商業地区となっているほか、海岸沿いには竹島や水族館、科学館といった観光地・観光施設が集まって市の観光の中心にもなっています。地区北部には住宅地や農地、森林が広がっています。人口は17,033人と7地区の中で最も多く、市全体の約20.7%を占めています。

蒲郡市都市計画マスタープランにおいては、蒲郡駅周辺を中心都市核として位置付け、中核的な都市機能の集積を図っています。

(2) 将来人口推計

- ・生産年齢人口は、平成22年から平成52年の間に、10,316人(60.6%)から7,359人(54.2%)まで減少する見込みです。
- ・一方で、高齢者人口は平成22年の4,454人(26.2%)から平成52年の4,848人(35.7%)まで増加する見込みになっています。平成22年の高齢者人口割合は全市平均より若干高く、今後も全市平均より早いペースでの高齢化の進行が見込まれます。

図 4-22 将来人口推計（蒲郡南地区）



※実績値は平成22年の国勢調査をもとに作成しています。

※推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表)をもとに作成しています。

出所：国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

・合計 95,230 m²の公共施設が整備されています。地区南部の平地部は蒲郡市の中心部に位置していることから、観光施設や公民館、保育園、小中学校などの多くの施設が集まっています。公共施設の保有面積は地区利用型施設、全市利用型施設ともに7地区の中で最も多くなっています。

図 4-23 公共施設の配置状況（蒲郡南地区）



(4) 老朽化状況・災害対策状況

- ・地区利用型施設では、南部市民センター（府相公民館）、小江公民館、東部公民館の老朽化が進行しています。小江公民館と東部公民館は避難所にも指定されているため、避難時の安全性を確保するための対応が必要となっています。
- ・府相保育園は津波浸水区域に該当しています。小江公民館、東部公民館、蒲郡南部小学校、蒲郡東部小学校、竹島小学校、蒲郡中学校は避難所に指定され、各種防災設備も整備されており、蒲郡南地区における防災拠点となっています。
- ・全市利用型施設では、勤労福祉会館や蒲郡乗船センターは老朽化度が 4.0 前後であり、老朽化がかなり進行しています。

図 4-24 公共施設一覧（蒲郡南地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	危険区域該当		避難所指定	防災設備の有無				
							津波浸水	土砂災害		防災備蓄用品	非常用発電装置	非常用通信装置	災害用電話配線	
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	南部市民センター(府相公民館)	876	S51	3.4								
			蒲郡公民館	806	H26	1.0								
			小江公民館	677	S50	3.2			○	○			○	
			東部公民館	667	S48	3.0			○	○				
	体育施設	公園	とよおか湖公園管理棟	41	H15	調査対象外								
			榎田公園便所	9	S56	調査対象外								
			御馬公園便所	9	S56	調査対象外								
			府相公園便所	5	H3	調査対象外								
			新井公園	50	H7	調査対象外								
			八百富公園	23	H4	調査対象外								
			本町公園便所	11	H23	調査対象外								
			常盤苑	198	S59	3.0								
			児童遊園地等	五井児童遊園地便所	1	S48	調査対象外							
				豊岡児童遊園地便所	2	H6	調査対象外							
				新井形児童遊び場便所	1	S42	調査対象外							
	赤羽児童遊び場便所	1		S45	調査対象外									
	本町児童遊び場便所	4		S56	調査対象外									
	児童福祉施設	保育園	南部保育園	1,088	H24	1.0			○				○	
			みどり保育園(私)	1,401	H8	2.2							○	
			東部保育園	793	S44	2.9			○				○	
			府相保育園	1,112	S46	2.7	○						○	
	児童館	がまごおり児童館	577	H24	1.2									
	学校教育施設	小学校	蒲郡南部小学校	6,826	S24	2.5			○	○	○	○	○	
蒲郡東部小学校			5,129	S41	2.3			○	○	○	○	○		
竹島小学校			5,973	S49	2.7			○	○	○	○	○		
蒲郡中学校			9,336	S36	2.3			○	○	○	○	○		
中学校			蒲郡中学校	9,336	S36	2.3			○	○	○	○	○	
全市利用型施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	3,281	H10	2.8	○							
			海辺の文学記念館	148	H9	1.8								
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	3,174	S55	3.8			○	○		○		
			中央子育て支援センター	99	H4	1.8								
			生きがいセンター	2,176	H5	2.6			○	○	○	○	○	
	産業振興施設	産業振興施設	名店街ビル	3,877	S41	3.7								
			海雲館マリンスンターハウス	278	H8	2.8	○							
	観光施設	観光施設	竹島レストハウス	128	S43	3.2								
			竹島園地休憩所	223	S51	3.3								
			水族館前門形公衆便所	46	S39	調査対象外								
			竹島水族館	1,996	S37	3.4								
			ナビテラス	429	H25	1.0								
			公営住宅等施設	公営住宅等	市営白山住宅	5,113	H3	2.2						
	消防施設	消防署等	消防団器具庫3-1	20	S50	調査対象外								
			消防団器具庫3-2	80	H13	2.0								
			消防団器具庫3-3	21	S61	調査対象外								
			消防団器具庫3-5	80	H7	1.8								
消防団器具庫3-6			86	H5	2.8									
消防団器具庫4-1			60	H6	2.5									
消防団器具庫4-2			60	H2	2.6									
消防団器具庫4-3			33	S60	調査対象外									
消防本部			5,061	H22	1.0					○	○	○		
東部大震災火災対策用器具格納庫			7	S58	調査対象外									
蒲郡中学校大震災火災対策用器具格納庫			7	S63	調査対象外									
西田川大震災火災対策用器具格納庫	7	H3	調査対象外											
学校教育施設	専門学校	ソフィア看護専門学校	4,418	H10	1.9									
		竹島駐車場料金徴収所	3	S63	調査対象外									
その他施設	駐車場	蒲郡駅前公共駐車場	5	H14	調査対象外									
		蒲郡乗船センター	185	H4	4.0	○								

※全市利用型施設のうち市民病院は掲載していません。
 ※複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。
 ※「危険区域該当」における「津波浸水」は平成 26 年 5 月 30 日発表 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査に基づく津波浸水区域を指します。「土砂災害」は愛知県による土砂災害特別警戒区域を指します。
 ※「避難所」は避難施設（長期滞在）及び地域避難所（風水害の一時避難場所）を掲載しています。
 ※「非常用発電装置」は自家発電装置ならびに小型発電機を指します。
 ※「非常用電話配線」は災害時優先電話を指します。
 ※老朽化度 3.0 以上の施設は、黄色の網掛けで表示しています。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では公民館で集会室等の貸出しを行っています。南部市民センター（府相公民館）と小江公民館の貸部屋等利用率は20%程度となっており、さらに、東部公民館の貸部屋等利用率は20%を下回っているため、利用の促進が求められます。
- ・全市利用型施設では、生命の海科学館や勤労福祉会館、生きがいセンターでホールや会議室等の貸出しを行っています。いずれの施設も貸部屋等利用率が40%を超えています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約4.71億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約27.6千円/人となっています。
- ・みどり保育園は民営化した保育園のため、市が負担している運営費をコストとして計上しています。

図 4-25 市民に部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（蒲郡南地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸出箇所
地区 利用型 施設	公民館等施設	公民館・市民会館	南部市民センター(府相公民館)	第1集会室、第2集会室、第3集会室、大集会室、和室(1階)、和室(3階)、料理実習室
			蒲郡公民館	和室1、和室2、研修室、調理室、多目的ホール1、多目的ホール2、多目的ホール3
			小江公民館	集会室、和室、会議室、小会議室、料理実習室、大会議室
			東部公民館	小会議室、南研修室、和室、研修室、大会議室、料理室
全市 利用型 施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	メディアホール、情報研修室
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	第2会議室、第3会議室、第4会議室、視聴覚室、大研修室、小研修室、和室、談話室
			生きがいセンター	201学習室、202学習室、301学習室、401学習室、402学習室、ホール

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	貸部屋等 利用率 (%)	貸部屋等利用率(%)				
					0.0	20.	40.0	60.0	80.0
地区 利用型 施設	公民館等施設	公民館・市民会館	南部市民センター(府相公民館)	23.2					
			蒲郡公民館	—					
			小江公民館	21.1					
			東部公民館	16.5					
全市 利用型 施設	生涯学習施設	博物館等	生命の海科学館	44.1					
	保健・福祉施設	福祉センター等	勤労福祉会館	48.1					
			生きがいセンター	52.9					

※貸部屋等利用率の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

※蒲郡公民館は平成25年度に建築されたため、データを掲載していません。

図 4-26 公共施設の利用状況の把握（蒲郡南地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	利用者数			平均入居率(%)	平均園児数(人)	平均児童・生徒数(人)	貸出冊数/蔵書数	貸部屋等利用率(%)		
							3年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/m ² ・日)							
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	南部市民センター(府相公民館)	876	S51	3.4	13,774	44.9	0.051	-	-	-	-	23.2		
			蒲郡公民館	806	H26	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			小江公民館	677	S50	3.2	13,086	44.4	0.065	-	-	-	-	-	21.1	
			東部公民館	667	S48	3.0	29,845	98.7	0.148	-	-	-	-	-	16.5	
	体育施設	公園	とよおか湖公園管理棟	41	H15	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			堰田公園便所	9	S56	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			御鷹公園便所	9	S56	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			府相公園便所	5	H3	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			新井公園	50	H7	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			八百富公園	23	H4	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			本町公園便所	11	H23	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			常盤苑	198	S59	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			児童遊園地等	五井児童遊園地便所	1	S48	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				豊岡児童遊園地便所	2	H6	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				新井形児童遊び場便所	1	S42	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				赤羽児童遊び場便所	1	S45	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
			本町児童遊び場便所	4	S56	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	児童福祉施設	保育園	南部保育園	1,088	H24	1.0	-	-	-	-	97	-	-	-	-	
			みどり保育園(私)	1,401	H8	2.2	-	-	-	-	110	-	-	-	-	
			東部保育園	793	S44	2.9	-	-	-	-	60	-	-	-	-	
			府相保育園	1,112	S46	2.7	-	-	-	-	106	-	-	-	-	
			がまこおり児童館	577	H24	1.2	24,225	82.1	0.142	-	-	-	-	-	-	
	学校教育施設	小学校	蒲郡南部小学校	6,826	S24	2.5	-	-	-	-	-	341	-	-		
			蒲郡東部小学校	5,129	S41	2.3	-	-	-	-	-	300	-	-		
			竹島小学校	5,973	S49	2.7	-	-	-	-	-	332	-	-		
			蒲郡中学校	9,336	S36	2.3	-	-	-	-	-	517	-	-		
			生命の海科学館	3,281	H10	2.8	63,050	197.6	0.060	-	-	-	-	-	44.1	
生涯学習施設	博物館等	海辺の文学記念館	148	H9	1.8	15,790	51.0	0.344	-	-	-	-	-			
		勤労福祉会館	3,174	S55	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-	48.1		
		中央子育て支援センター	99	H4	1.8	10,258	42.6	0.430	-	-	-	-	-	-		
		生きがいセンター	2,176	H5	2.6	44,515	123.9	0.057	-	-	-	-	-	52.9		
		産業振興施設	名店街ビル	3,877	S41	3.7	3	0.0	0.000	-	-	-	-	-	-	
		観光施設	観光施設	海賓館マリンセンターハウス	278	H8	2.8	16,851	56.2	0.202	-	-	-	-	-	-
				竹島レストハウス	128	S43	3.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				竹島園地休憩所	223	S51	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				水族館前円形公衆便所	46	S39	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				竹島水族館	1,996	S37	3.4	205,076	639.5	0.320	-	-	-	-	-	-
ナビテラス	429	H25	1.0	39,932	110.6	0.258	-	-	-	-	-	-				
公営住宅等施設	公営住宅等	市営白山住宅	5,113	H3	2.2	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-		
		消防器具庫3-1	20	S50	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		消防器具庫3-2	80	H13	2.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		消防器具庫3-3	21	S61	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		消防器具庫3-5	80	H7	1.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		消防器具庫3-6	86	H5	2.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		消防器具庫4-1	60	H6	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		消防器具庫4-2	60	H2	2.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		消防器具庫4-3	33	S60	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		消防本部	5,061	H22	1.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		東部大震災対策用器具格納庫	7	S58	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		蒲郡中学校大震災対策用器具格納庫	7	S63	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		西田川大震災対策用器具格納庫	7	H3	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		学校教育施設	専門学校	ソフィア看護専門学校	4,418	H10	1.9	-	-	-	-	118	-	-	-	
		その他施設	駐車場	竹島駐車場料金徴収所	3	S63	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
蒲郡駅前公共駐車場	5			H14	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-			
蒲郡乗船センター	185			H4	4.0	0	-	-	-	-	-	-	-			

※利用状況の値は3ヵ年度(平成23~25年度)の平均値を掲載しています。

※蒲郡公民館は平成25年度に建築されたため、データを掲載していません。

図 4-27 公共施設のコスト状況の把握（蒲郡南地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化 程度	市の支出				市の収入 (千円)	市の負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)				
							施設に係 るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に係る コスト (千円)	指定 管理料 (千円)							
地区 利用 型 施設	公民館等施設	公民館・市民会館	南部市民センター(府相公民館)	876	S51	3.4	751	1,569	2,152	7,075	798	10,749	12,264				
			蒲郡公民館	806	H26	1.0	—	—	—	—	—	—	—	—			
			小江公民館	677	S50	3.2	290	0	0	5,810	0	6,100	9,005				
			東部公民館	667	S48	3.0	532	0	0	5,844	0	6,376	9,555				
	体育施設	公園	公園	とよおか湖公園管理棟	41	H15	調査対象外	0	0	0	12	0	12	293			
				榎田公園便所	9	S56	調査対象外	131	0	0	0	0	131	15,019			
				御島公園便所	9	S56	調査対象外	110	0	0	0	0	110	12,629			
				府相公園便所	5	H3	調査対象外	132	0	0	0	0	132	26,952			
				新井公園	50	H7	調査対象外	284	3	0	0	0	287	5,741			
				八百富公園	23	H4	調査対象外	220	0	0	0	0	220	9,655			
				本町公園便所	11	H23	調査対象外	79	0	0	0	0	79	7,175			
				常盤苑	198	S59	3.0	781	0	0	0	0	781	3,938			
				児童遊園地等	児童遊園地等	児童遊園地等	五井児童遊園地便所	1	S48	調査対象外	18	0	0	0	0	18	18,000
							豊岡児童遊園地便所	2	H6	調査対象外	11	0	0	0	0	11	4,928
							新井形児童遊遊び場便所	1	S42	調査対象外	18	0	0	0	0	18	18,000
							赤羽児童遊遊び場便所	1	S45	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
	児童福祉施設	保育園	保育園	本町児童遊遊び場便所	4	S56	調査対象外	4	0	0	0	0	4	1,000			
				南部保育園	1,088	H24	1.0	5,332	23,875	70,933	0	22,659	77,481	71,202			
	学校教育施設	小学校	小学校	みどり保育園(私)	1,401	H8	2.2	0	100,302	0	0	0	100,302	71,592			
				東部保育園	793	S44	2.9	3,305	9,305	34,100	0	13,242	33,468	42,188			
				府相保育園	1,112	S46	2.7	4,131	25,143	84,067	0	25,221	88,120	79,223			
				がまごおり児童館	577	H24	1.2	882	3,051	8,100	0	1,646	10,387	18,007			
		中学校	中学校	中学校	蒲郡南部小学校	6,826	S24	2.5	25,334	8,452	2,700	0	93	36,392	5,331		
					蒲郡東部小学校	5,129	S41	2.3	13,463	8,113	2,700	0	93	24,183	4,715		
					竹島小学校	5,973	S49	2.7	18,260	8,485	2,700	0	93	29,352	4,914		
					蒲郡中学校	9,336	S36	2.3	27,595	10,284	8,300	0	93	46,086	4,936		
					生命の海科学館	3,281	H10	2.8	44,536	32,951	70,000	0	11,250	136,237	41,522		
					海辺の文学記念館	148	H9	1.8	1,898	0	2,695	0	6	4,587	30,951		
	保健・福祉施設	福祉センター等	福祉センター等	勤労福祉会館	3,174	S55	3.8	7,711	0	0	23,920	226	31,405	9,894			
				中央子育て支援センター	99	H4	1.8	888	1,166	4,867	0	0	6,921	69,906			
	産業振興施設	産業振興施設	産業振興施設	生きがいセンター	2,176	H5	2.6	1,306	0	0	15,392	2,940	13,758	6,321			
				名店街ビル	3,877	S41	3.7	2,116	0	0	0	2,044	72	19			
海賓館マリンセンターハウス				278	H8	2.8	2,622	0	0	0	4,346	-1,724	-6,214				
竹島レストハウス				128	S43	3.2	115	0	0	0	284	-169	-1,315				
竹島園地休憩所				223	S51	3.3	0	0	0	0	0	0	0				
水族館前円形公衆便所				46	S39	調査対象外	356	0	0	0	0	356	7,695				
竹島水族館				1,996	S37	3.4	6,817	0	0	27,300	2,186	31,931	15,994				
ナビテラス				429	H25	1.0	7,422	312	0	0	216	7,518	17,508				
市営白山住宅				5,113	H3	2.2	2,858	0	1,800	0	20,085	-15,427	-3,017				
公営住宅等施設				公営住宅等	公営住宅等	消防団器具庫3-1	20	S50	調査対象外	4	0	0	0	0	4	185	
	消防団器具庫3-2	80	H13			2.0	23	0	0	0	0	23	293				
	消防団器具庫3-3	21	S61			調査対象外	4	0	0	0	0	4	179				
	消防団器具庫3-5	80	H7			1.8	29	0	0	0	0	29	368				
	消防団器具庫3-6	86	H5			2.8	5	0	0	0	0	5	62				
	消防団器具庫4-1	60	H6			2.5	33	0	0	0	0	33	546				
	消防団器具庫4-2	60	H2			2.6	25	0	0	0	0	25	408				
	消防団器具庫4-3	33	S60			調査対象外	25	0	0	0	0	25	769				
	消防本部	5,061	H22			1.0	6,879	0	473,400	0	0	480,279	94,891				
	東部大震災火災対策用器具格納庫	7	S58			調査対象外	0	0	0	0	0	0	0				
	蒲郡中学校大震災火災対策用器具格納庫	7	S63			調査対象外	0	0	0	0	0	0	0				
	西田川大震災火災対策用器具格納庫	7	H3			調査対象外	0	0	0	0	0	0	0				
	学校教育施設	専門学校	専門学校			ソフィア看護専門学校	4,418	H10	1.9	14,060	14,446	98,567	0	22,056	105,017	23,773	
						竹島駐車場料金徴収所	3	S63	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0	
その他施設	駐車場	駐車場	蒲郡駅前公共駐車場	5	H14	調査対象外	184	0	0	0	0	184	39,485				
			蒲郡乗船センター	185	H4	4.0	57	0	0	0	15	42	227				

※市の支出・収入・負担額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

※蒲郡公民館は平成25年度に建築されたため、データを掲載していません。

4-7 塩津地区の現状

(1) 地区の特色

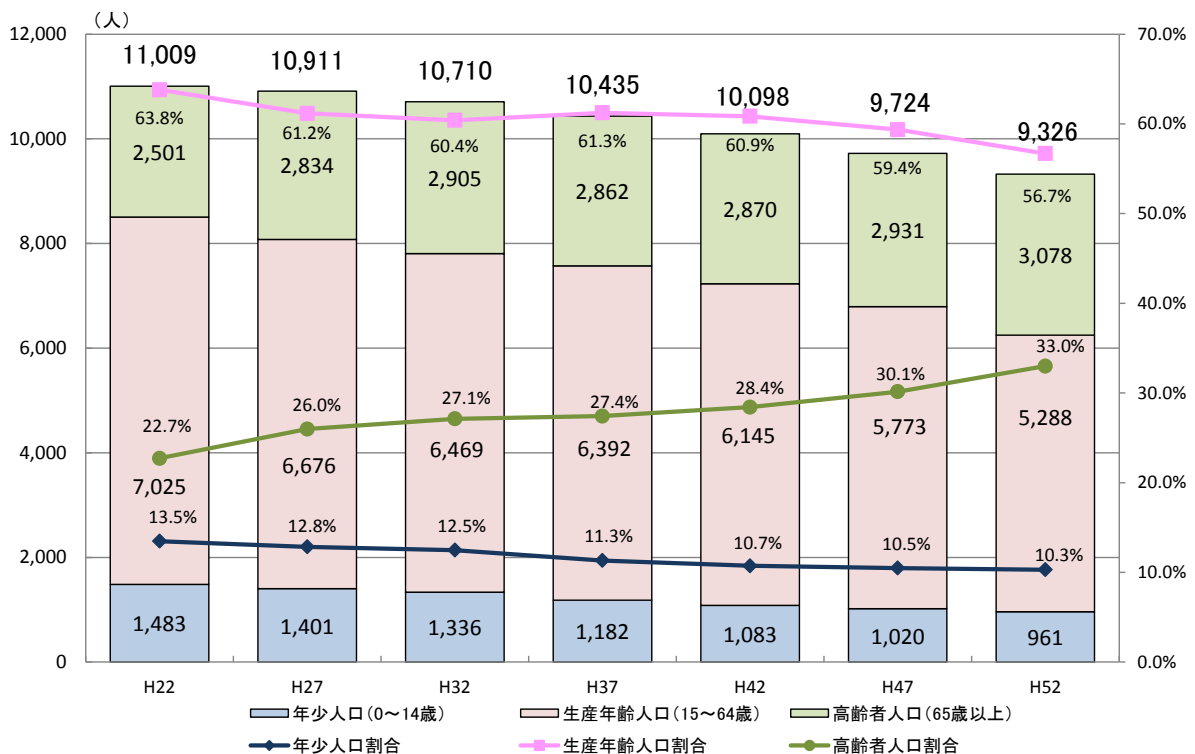
塩津地区は市中西部に位置し、三河塩津駅および名鉄蒲郡競艇場前駅の周辺に住宅を中心とした市街地が形成されています。地区北部は農地、森林エリアとなっており、豊かな自然が広がっています。人口は11,009人で7地区中5番目となっており、市全体の約13.4%を占めています。

海辺は工業団地となっており、地域経済のけん引役となっています。また、競艇場が立地し、市の中でも特色ある地区となっています。

(2) 将来人口推計

- ・生産年齢人口は、平成22年から平成52年の間に、7,025人(63.8%)から5,288人(56.7%)まで減少する見込みになっています。
- ・一方で、高齢者人口は平成22年の2,501人(22.7%)から平成52年の3,078人(33.0%)まで増加する見込みです。高齢者人口割合は全市平均より若干低いですが、ほぼ同じペースで高齢化が進行することが見込まれます。

図 4-28 将来人口推計（塩津地区）



※実績値は平成22年の国勢調査をもとに作成しています。

※推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表)をもとに作成しています。

出所：国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

- ・合計 71,259 m²の公共施設が整備されており、三河塩津駅周辺や東海道本線の沿線に塩津公民館や塩津保育園など、地区利用型施設が集まっています。
- ・斎場や競艇場、保健医療センターなど、全市利用型施設も多く立地しています。

図 4-29 公共施設の配置状況（塩津地区）



(4) 老朽化状況・災害対策状況

- ・地区利用型施設では、塩津公民館、塩津保育園、塩津中学校の老朽化が進行しています。塩津公民館、塩津中学校は避難所にも指定されているため、避難時の安全性を確保するための対応が必要となっています。
- ・鹿島保育園は津波浸水区域に該当しています。また、塩津保育園は土砂災害特別警戒区域に該当しています。
- ・塩津公民館、塩津小学校、塩津中学校は避難所に指定され、各種防災設備も整備されており、塩津地区における防災拠点となっています。

図 4-30 公共施設一覧（塩津地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	危険区域該当		避難所指定	防災設備の有無				
							津波浸水	土砂災害		防災備蓄用品	非常用発電装置	非常用通信装置	災害用電話配線	
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	塩津公民館	554	S50	3.0			○	○		○	○	
	体育施設	公園	前田公園便所	9	S49	調査対象外								
			東浜公園便所	9	S50	調査対象外								
			亀岩臨海公園管理室・便所	29	S48	調査対象外	○							
		児童遊園地等	油井児童遊園地便所	11	S45	調査対象外								
			鹿島児童遊園地便所	5	S48	調査対象外								
			竹谷団地児童遊園地便所	2	S47	調査対象外								
			西ノ浜児童遊び場便所	3	H11	調査対象外								
			川東児童遊び場便所	1	S55	調査対象外								
	児童福祉施設	保育園	塩津北保育園	552	S53	2.8			○					
			鹿島保育園(私)	1,239	H5	2.8	○							○
		塩津保育園	933	S44	3.0		○	○	○	○	○	○	○	
	児童館	しおつ児童館	510	H12	1.2								○	
	学校教育施設	小学校	塩津小学校	6,992	S35	2.7			○	○	○	○	○	○
中学校		塩津中学校	6,740	S37	3.2			○	○	○	○	○	○	
全市利用型施設	体育施設	スポーツ施設等	竹谷運動広場倉庫・休憩所	18	S56	調査対象外								
			柏原運動広場便所・倉庫	6	S60	調査対象外								
			浜町テニスコート管理棟	89	H2	2.8	○							
	衛生施設	斎場	斎場	1,244	S53	3.6								
	保健・福祉施設	福祉センター等	浜町福祉センター	709	S57	3.0	○							
			保健医療センター	5,861	H6	2.7	○						○	
	公営住宅等施設	公営住宅等	市営月田住宅	225	S30	4.0								
			市営鹿島住宅	1,507	S38	4.0								
	消防施設	消防署等	消防団器具庫7-1	62	H8	1.8								
			消防団器具庫7-2	20	S43	調査対象外								
			消防団器具庫7-3	24	S45	調査対象外								
			塩津水防倉庫	33	S56	調査対象外								
			塩津大震災対策用器具格納庫	7	S57	調査対象外								
			前田公園大震災対策用器具格納庫	7	H5	調査対象外								
			前田公園大震災対策用器具格納庫	7	H5	調査対象外								
	その他施設	競艇場	競艇場	43,838	S41	調査対象外	○							
		その他	三河塩津駅公衆便所	20	H1	調査対象外								

※複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

※「危険区域該当」における「津波浸水」は平成26年5月30日発表 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査に基づく津波浸水区域を指します。「土砂災害」は愛知県による土砂災害特別警戒区域を指します。

※「避難所」は避難施設（長期滞在）及び地域避難所（風水害の一時避難場所）を掲載しています。

※「非常用発電装置」は自家発電装置ならびに小型発電機を指します。

※「非常用電話配線」は災害時優先電話を指します。

※老朽化度3.0以上の施設は、黄色の網掛けで表示しています。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では塩津公民館で会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は12%程度となっており、利用の促進が求められます。
- ・鹿島保育園は民営化された保育園のため、市が負担している運営費をコストとして計上しています。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約2.89億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約26.3千円/人となっています。

図 4-31 市民に部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（塩津地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	塩津公民館	講座室南(和室)、講座室北(和室)、会議室、料理実習室、講義室、小会議室
全市利用型施設	体育施設	スポーツ施設等	浜町テニスコート管理棟	テニスコート(8面)

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)					
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	塩津公民館	12.7						
全市利用型施設	体育施設	スポーツ施設等	浜町テニスコート管理棟	36.5						

※貸部屋等利用率の値は3か年(平成23~25年度)の平均値を掲載しています。

※浜町テニスコートは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はテニスコートです。

図 4-32 公共施設の利用状況の把握（塩津地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	利用者数			平均入居率(%)	平均園児数(人)	平均児童・生徒数(人)	貸出冊数/蔵書数	貸部屋等利用率(%)
							3年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/㎡・日)					
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	塩津公民館	554	S50	3.0	27,764	92.3	0.167	-	-	-	-	12.7
			体育施設	公園	前田公園便所	9	S49	調査対象外	-	-	-	-	-	-
	東浜公園便所	9			S50	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
	亀岩臨海公園管理室・便所	29			S48	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
	油井児童遊園地便所	11			S45	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
	鹿島児童遊園地便所	5			S48	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
	竹谷団地児童遊園地便所	2			S47	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
	西ノ浜児童遊び場便所	3			H11	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
	川東児童遊び場便所	1	S55	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-		
	児童福祉施設	保育園	塩津北保育園	552	S53	2.8	-	-	-	-	-	45	-	-
			鹿島保育園(私)	1,239	H5	2.8	-	-	-	-	-	125	-	-
			塩津保育園	933	S44	3.0	-	-	-	-	-	44	-	-
	児童館	しおつ児童館	しおつ児童館	510	H12	1.2	24,903	84.5	0.166	-	-	-	-	-
			学校教育施設	小学校	塩津小学校	6,992	S35	2.7	-	-	-	-	-	521
塩津中学校	6,740	S37			3.2	-	-	-	-	-	-	312	-	
全市利用型施設	体育施設	スポーツ施設等	竹谷運動広場倉庫・休憩所	18	S56	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	
			柏原運動広場便所・倉庫	6	S60	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	
	衛生施設	斎場	浜町テニスコート管理棟	89	H2	2.8	10,811	35.1	0.392	-	-	-	-	36.5
			斎場	1,244	S53	3.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	保健・福祉施設	福祉センター等	浜町福祉センター	709	S57	3.0	4,751	19.4	0.027	-	-	-	-	
			保健医療センター	5,861	H6	2.7	30,000	82.2	0.014	-	-	-	-	-
	公営住宅等施設	公営住宅等	市営月田住宅	225	S30	4.0	-	-	-	-	87.5	-	-	
			市営鹿島住宅	1,507	S38	4.0	-	-	-	-	59.7	-	-	
	消防施設	消防署等	消防団器具庫7-1	62	H8	1.8	-	-	-	-	-	-	-	
			消防団器具庫7-2	20	S43	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	
			消防団器具庫7-3	24	S45	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	
			塩津水防倉庫	33	S56	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	
			塩津大震災対策用器具格納庫	7	S57	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	
			前田公園大震災対策用器具格納庫	7	H5	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	
	その他施設	競艇場	競艇場	43,838	S41	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	
			その他	三河塩津駅公衆便所	20	H1	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-

※利用状況の値は3か年(平成23~25年度)の平均値を掲載しています。

※浜町テニスコートは、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はテニスコートです。

図 4-33 公共施設のコスト状況の把握（塩津地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築年	老朽化 度	市の支出				市の収入 (千円)	市の負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)
							施設に係 るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に係る コスト (千円)	指定 管理料 (千円)			
地区 利用 型 施設	公民館等施設	公民館・市民会館	塩津公民館	554	S50	3.0	1,008	0	0	5,780	5	6,783	12,235
	体育施設	公園	前田公園便所	9	S49	調査対象外	150	0	0	0	0	150	16,376
			東浜公園便所	9	S50	調査対象外	115	0	0	0	0	115	12,491
			亀岩臨海公園管理室・便所	29	S48	調査対象外	459	0	0	0	0	459	15,704
			油井児童遊園地便所	11	S45	調査対象外	38	0	0	0	0	38	3,486
		児童遊園地等	鹿島児童遊園地便所	5	S48	調査対象外	4	0	0	0	0	4	800
			竹谷団地児童遊園地便所	2	S47	調査対象外	18	0	0	0	0	18	10,909
			西ノ浜児童遊び場便所	3	H11	調査対象外	4	0	0	0	0	4	1,471
			川東児童遊び場便所	1	S55	調査対象外	5	0	0	0	0	5	4,667
	児童福祉施設	保育園	塩津北保育園	552	S53	2.8	2,063	8,829	29,233	0	8,895	31,230	56,532
			鹿島保育園(私)	1,239	H5	2.8	0	106,764	0	0	0	106,764	86,167
			塩津保育園	933	S44	3.0	5,013	8,725	34,833	0	8,668	39,904	42,790
		児童館	しおつ児童館	510	H12	1.2	4,457	4,534	11,900	0	1,969	18,922	37,103
	学校教育施設	小学校	塩津小学校	6,992	S35	2.7	14,025	9,556	10,633	0	93	34,122	4,880
中学校		塩津中学校	6,740	S37	3.2	37,117	8,170	5,767	0	93	50,960	7,561	
全市 利用 型 施設	体育施設	スポーツ施設等	竹谷運動広場倉庫・休憩所	18	S56	調査対象外	1,341	0	0	0	1,341	74,564	
			柏原運動広場便所・倉庫	6	S60	調査対象外	860	0	0	0	860	145,516	
			浜町テニスコート管理棟	89	H2	2.8	0	0	0	2,624	74	2,550	28,507
	衛生施設	斎場	斎場	1,244	S53	3.6	14,077	25,582	0	0	7,487	32,173	25,866
			保健・福祉施設	福祉センター等	浜町福祉センター	709	S57	3.0	278	26,787	0	0	1,090
	保健医療センター	5,861			H6	2.7	34,489	687,029	110,667	0	134,665	697,520	119,007
	公営住宅等施設	公営住宅等	市営月田住宅	225	S30	4.0	24	0	1,800	0	104	1,720	7,634
			市営鹿島住宅	1,507	S38	4.0	318	0	1,800	0	1,405	713	473
	消防施設	消防署等	消防団器具庫7-1	62	H8	1.8	23	0	0	0	0	23	366
			消防団器具庫7-2	20	S43	調査対象外	3	0	0	0	0	3	152
			消防団器具庫7-3	24	S45	調査対象外	10	0	0	0	0	10	425
			塩津水防倉庫	33	S56	調査対象外	13	0	0	0	0	13	385
			塩津大震災対策用器具格納庫	7	S57	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
			前田公園大震災対策用器具格納庫	7	H5	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0
	その他施設	競艇場	競艇場	43,838	S41	調査対象外	464,045	34,168,974	252,700	0	35,990,583	-1,104,865	-25,203
		その他	三河塩津駅公衆便所	20	H1	調査対象外	522	0	0	0	0	522	26,769

※市の支出・収入・負担額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

4-8 形原地区の現状

(1) 地区の特色

形原地区は市南西部に位置し、名鉄形原駅を中心に住工混在の市街地が広がっています。古くはロープ産業で栄え、発展してきました。

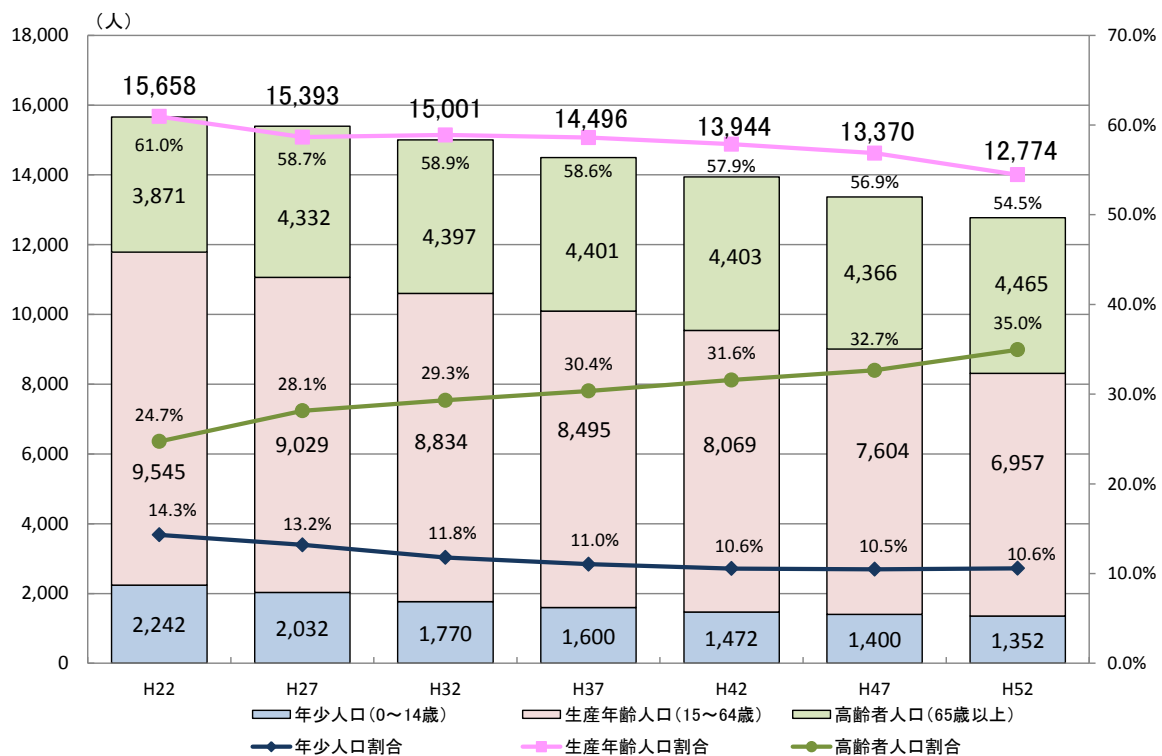
地区西部の山あいには形原温泉があります。一方、海辺には形原漁港があり、海から丘陵までの多様な自然を享受できることが地区の特色となっています。人口は15,658人と7地区中2番目に多く、市全体の約19.0%を占めています。

蒲郡市都市計画マスタープランにおいては、名鉄形原駅周辺を中心都市核の機能を補完する副次都市核として位置付けているほか、形原温泉周辺を広域的な観光レクリエーション拠点として位置付けています。

(2) 将来人口推計

- ・生産年齢人口は、平成22年から平成52年の間に、9,545人(61.0%)から6,957人(54.5%)まで減少する見込みです。
- ・一方で、高齢者人口は平成22年の3,871人(24.7%)から平成52年の4,465人(35.0%)まで増加する見込みです。形原地区では、全市平均とほぼ同じペースで高齢化の進行が見込まれます。

図 4-34 将来人口推計（形原地区）



※実績値は平成22年の国勢調査をもとに作成しています。

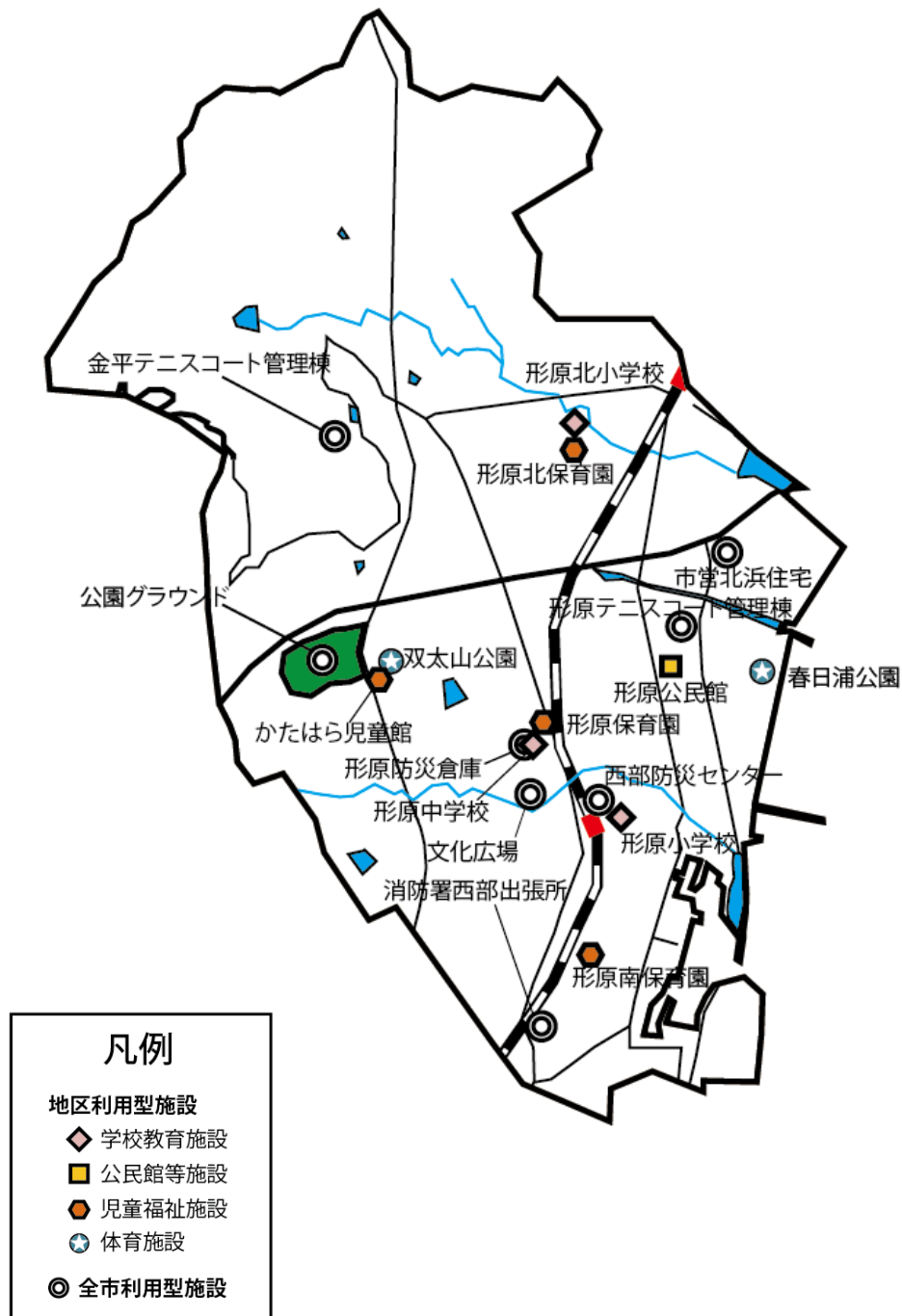
※推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計値(平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表)をもとに作成しています。

出所：国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

・合計 35,192 m²の公共施設が整備されており、地区内に比較的分散して各施設が立地しています。

図 4-35 公共施設の配置状況（形原地区）



(4) 老朽化状況・災害対策状況

- ・地区利用型施設では、形原南保育園、形原北保育園、形原小学校の老朽化が進行しています。形原小学校は避難所にも指定されているため、避難時の安全性を確保するための対応が必要となっています。
- ・形原小学校、形原北小学校、形原中学校は避難所に指定され、各種防災設備も整備されており、形原地区における防災拠点となっています。

図 4-36 公共施設一覧（形原地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化 度	危険区域該当		避難所 指定	防災設備の有無						
							津波 浸水	土砂 災害		防災 備蓄 用品	非常用 発電 装置	非常用 通信 装置	災害用 電話 配線			
地区 利用 型 施設	公民館等施設 体育施設	公民館・市民会館 公園	形原公民館	777	H22	1.0							○			
			北浜公園便所兼管理事務所	18	S54	調査対象外										
		児童遊園地等	双太山公園	220	H2	2.5										
			春日浦公園	78	H11	2.2										
			下市児童遊園地便所	11	S38	調査対象外										
			ひまわり児童遊び場休憩所	96	S40	2.7				○						
	児童福祉施設	保育園	ひまわり児童遊び場便所	9	S40	調査対象外				○						
			鞍掛児童遊び場便所	2	S46	調査対象外				○						
			形原保育園	905	S46	2.4				○					○	
			形原南保育園	1,201	S56	3.4				○					○	
		形原北保育園	921	S43	3.4				○						○	
		児童館	かたはら児童館	349	H4	2.6										
		学校教育施設	小学校	形原小学校	6,208	S43	3.2				○	○	○	○	○	○
				形原北小学校	6,271	S42	2.7				○	○	○	○	○	○
全市 利用 型 施設	体育施設	スポーツ施設等	形原中学校	8,566	S40	2.1				○	○	○	○			
			公園グラウンド	2,071	S47	2.2				○	○	○	○			
			文化広場	1,857	S58	2.4				○					○	
			形原テニスコート管理棟	30	S53	調査対象外										
			金平テニスコート管理棟	242	S62	3.0										
			一色運動広場便所器具庫	6	S59	調査対象外										
	観光施設	観光施設	アジサイ園地公衆便所	19	H2	調査対象外										
	公営住宅等施設	公営住宅等	市営北浜住宅	3,423	S58	3.1										
	消防施設	消防署等	西部防災センター	1,041	S46	3.8					○					
			消防団器具庫8-1	22	S53	調査対象外										
			消防団器具庫8-2	20	S48	調査対象外										
			消防団器具庫8-3	58	S45	3.0										
			消防署西部出張所	305	S41	3.4							○	○	○	
			形原防災倉庫	172	S58	2.4										
形原大震災対策用器具格納庫			7	S55	調査対象外											
形北小大震災対策用器具格納庫			7	S60	調査対象外											
形原中学校大震災対策用器具格納庫			7	H2	調査対象外											
しあわせ会館大震災対策用器具格納庫	7	H11	調査対象外													

※全市利用型施設のうち一色不燃物処理場は掲載していません。

※複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。

※「危険区域該当」における「津波浸水」は平成26年5月30日発表 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査に基づく津波浸水区域を指します。「土砂災害」は愛知県による土砂災害特別警戒区域を指します。

※「避難所」は避難施設（長期滞在）及び地域避難所（風水害の一時避難場所）を掲載しています。

※「非常用発電装置」は自家発電装置ならびに小型発電機を指します。

※「非常用電話配線」は災害時優先電話を指します。

※老朽化度3.0以上の施設は、黄色の網掛けで表示しています。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設では形原公民館で会議室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は30%程度となっています。
- ・全市利用型施設では、スポーツ施設等で体育館やテニスコートの貸出しを行っています。文化広場、形原テニスコート管理棟は、貸部屋等利用率が20%を下回っており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約3.31億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約21.2千円/人となっています。

図 4-37 市民に部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（形原地区）

利用種別	施設用途（大分類）	施設用途（中分類）	施設名称	貸出箇所
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	形原公民館	和室(東)、和室(西)、会議室1、会議室2、会議室3、大ホール、
全市利用型施設	体育施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	陸上競技場、野球場
			文化広場	体育館、多目的運動場、ふれあい会館 大会議室、ふれあい会館 小会議室、ふれあい会館 和室、ふれあい会館 作業場、はなのき広場
			形原テニスコート管理棟	テニスコート(4面)
			金平テニスコート管理棟	テニスコート(8面)

利用種別	施設用途（大分類）	施設用途（中分類）	施設名称	貸部屋等利用率 (%)	貸部屋等利用率 (%)				
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	形原公民館	27.4					
全市利用型施設	体育施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	36.4					
			文化広場	19.7					
			形原テニスコート管理棟	16.0					
			金平テニスコート管理棟	46.3					

※貸部屋等利用率の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

※公園グラウンド、形原テニスコート管理棟、金平テニスコート管理棟は、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンドやテニスコートです。

図 4-38 公共施設の利用状況の把握（形原地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築年	老朽化 度	利用者数			平均 入居率 (%)	平均 園児数 (人)	平均 児童・生徒数 (人)	貸出冊数 /蔵書数	貸部屋等 利用率 (%)		
							3年平均 (人)	1日あたり 平均 (人/日)	面積あたり 1日あたり平均 (人/㎡・日)							
地区利用 型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	形原公民館	777	H22	1.0	30,266	99.6	0.128	-	-	-	-	27.4		
			公園	北浜公園便所兼管理事務所	18	S54	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-
				双太山公園	220	H2	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	春日浦公園	78		H11	2.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
	児童遊園地等	児童遊園地等	下市児童遊園地便所	11	S38	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			ひまわり児童遊び場休憩所	96	S40	2.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			ひまわり児童遊び場便所	9	S40	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			鞍掛児童遊び場便所	2	S46	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			形原保育園	905	S46	2.4	-	-	-	-	-	59	-	-	-	
	児童福祉施設	保育園	形原南保育園	1,201	S56	3.4	-	-	-	-	94	-	-	-		
			形原北保育園	921	S43	3.4	-	-	-	-	98	-	-	-		
			児童館	349	H4	2.6	21,764	73.9	0.212	-	-	-	-	-		
	学校教育施設	小学校	形原小学校	6,208	S43	3.2	-	-	-	-	-	420	-	-		
			形原北小学校	6,271	S42	2.7	-	-	-	-	-	569	-	-		
			形原中学校	8,566	S40	2.1	-	-	-	-	-	521	-	-		
全市利用 型施設	体育施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	2,071	S47	2.2	31,150	101.0	0.049	-	-	-	-	36.4		
			文化広場	1,857	S58	2.4	23,492	76.3	0.041	-	-	-	-	-	19.7	
			形原テニスコート管理棟	30	S53	調査対象外	2,768	7.7	0.259	-	-	-	-	-	16.0	
	観光施設	観光施設	金平テニスコート管理棟	242	S62	3.0	15,978	44.5	0.184	-	-	-	-	-	46.3	
			一色運動広場便所器具庫	6	S59	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			アンサイ園地公衆便所	19	H2	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	公営住宅等施設	公営住宅等	市営北浜住宅	3,423	S58	3.1	-	-	-	100.0	-	-	-	-		
			消防施設	消防署等	西部防災センター	1,041	S46	3.8	-	-	-	-	-	-	-	-
					消防器具庫8-1	22	S53	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-
	消防器具庫8-2	20			S48	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-		
	消防施設	消防署等	消防器具庫8-3	58	S45	3.0	-	-	-	-	-	-	-	-		
			消防署西部出張所	305	S41	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			形原防災倉庫	172	S58	2.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			形原大震災対策用器具格納庫	7	S55	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
			形北小大震災対策用器具格納庫	7	S60	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
形原中学校大震災対策用器具格納庫			7	H2	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
しあわせ会館大震災対策用器具格納庫			7	H11	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

※公園グラウンド、形原テニスコート管理棟、金平テニスコート管理棟は、建築物等があるため掲載していますが、貸出しを行っている箇所はグラウンドやテニスコートです。

図 4-39 公共施設のコスト状況の把握（形原地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床 面積 (㎡)	建築年	老朽化 度	市の支出				市の収入 (千円)	市の負担額 (千円)	面積あたり 市負担額 (円/㎡)		
							施設に係 るコスト (千円)	事業運営に 係るコスト (千円)	人に係る コスト (千円)	指定 管理料 (千円)					
地区利用 型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	形原公民館	777	H22	1.0	1,145	0	0	7,344	0	8,489	10,920		
			公園	北浜公園便所兼管理事務所	18	S54	調査対象外	0	0	0	106	0	106	6,057	
				双太山公園	220	H2	2.5	0	5	0	225	0	230	1,046	
	春日浦公園	78		H11	2.2	0	0	0	106	0	106	1,351			
	児童遊園地等	児童遊園地等	下市児童遊園地便所	11	S38	調査対象外	4	0	0	0	0	4	367		
			ひまわり児童遊び場休憩所	96	S40	2.7	280	0	0	0	0	280	2,909		
			ひまわり児童遊び場便所	9	S40	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0		
			鞍掛児童遊び場便所	2	S46	調査対象外	18	0	0	0	0	18	10,909		
			形原保育園	905	S46	2.4	3,725	14,604	48,000	0	11,518	54,811	60,595		
	児童福祉施設	保育園	形原南保育園	1,201	S56	3.4	3,437	21,407	72,367	0	17,870	79,341	66,078		
			形原北保育園	921	S43	3.4	4,425	20,508	42,767	0	21,016	46,684	50,665		
			児童館	349	H4	2.6	1,593	3,852	11,900	0	1,452	15,994	45,563		
	学校教育施設	小学校	形原小学校	6,208	S43	3.2	12,538	9,041	4,500	0	93	25,966	4,186		
			形原北小学校	6,271	S42	2.7	52,942	8,761	5,767	0	93	67,377	10,744		
			形原中学校	8,566	S40	2.1	17,276	9,192	5,767	0	93	32,142	3,752		
全市利用 型施設	体育施設	スポーツ施設等	公園グラウンド	2,071	S47	2.2	14,920	0	0	17,395	569	31,745	15,330		
			文化広場	1,857	S58	2.4	1,511	0	0	9,791	1,501	9,801	5,277		
			形原テニスコート管理棟	30	S53	調査対象外	0	7	0	672	0	679	22,808		
	観光施設	観光施設	金平テニスコート管理棟	242	S62	3.0	243	0	0	3,879	446	3,676	15,172		
			一色運動広場便所器具庫	6	S59	調査対象外	1,873	0	0	0	0	1,873	312,167		
			アンサイ園地公衆便所	19	H2	調査対象外	1,399	0	0	0	0	1,399	71,948		
	公営住宅等施設	公営住宅等	市営北浜住宅	3,423	S58	3.1	2,918	0	1,800	0	14,311	-9,593	-2,802		
			消防施設	消防署等	西部防災センター	1,041	S46	3.8	110	0	0	0	250	-140	-134
					消防器具庫8-1	22	S53	調査対象外	5	0	0	0	0	5	209
	消防器具庫8-2	20			S48	調査対象外	7	0	0	0	0	7	370		
	消防施設	消防署等	消防器具庫8-3	58	S45	3.0	78	0	0	0	0	78	1,334		
			消防署西部出張所	305	S41	3.4	827	0	182,000	0	0	182,827	600,219		
			形原防災倉庫	172	S58	2.4	0	0	0	0	0	0	0		
			形原大震災対策用器具格納庫	7	S55	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0		
			形北小大震災対策用器具格納庫	7	S60	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0		
形原中学校大震災対策用器具格納庫			7	H2	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0			
しあわせ会館大震災対策用器具格納庫			7	H11	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0			

※市の支出・収入・負担額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

4-9 西浦地区の現状

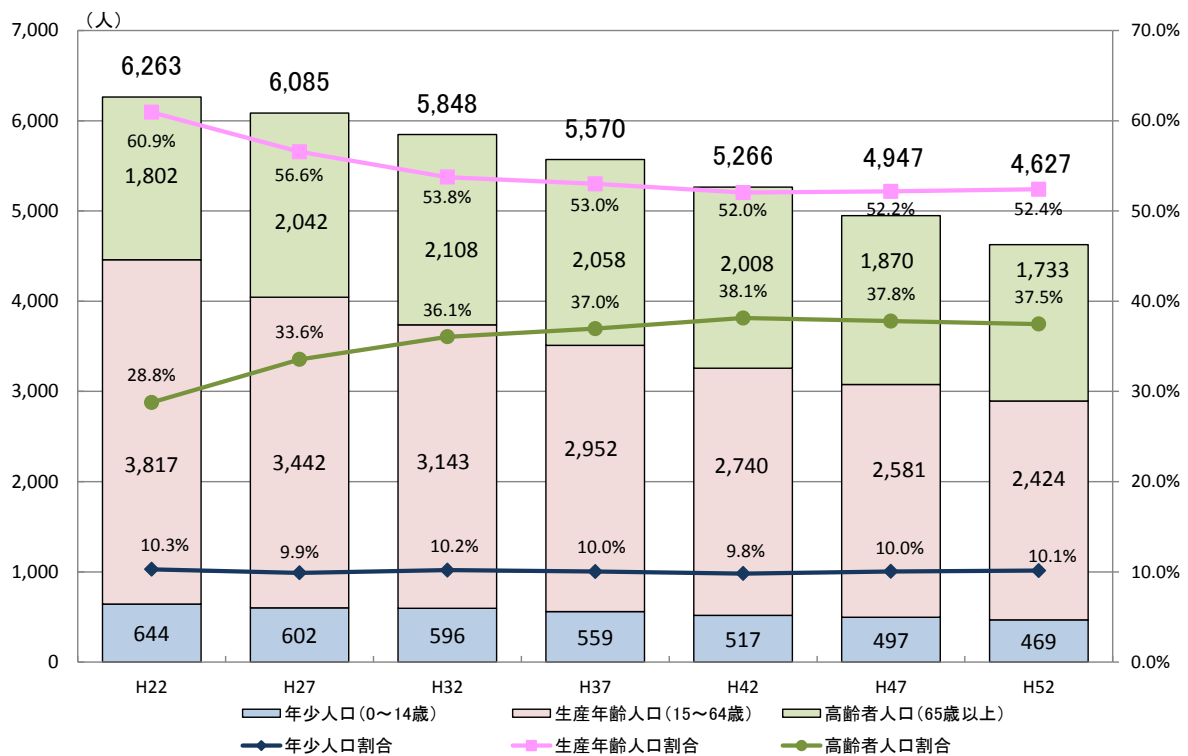
(1) 地区の特色

西浦地区は市南端部に位置し、名鉄西浦駅を中心に市街地が広がっています。地区中西部には知柄漁港が立地するほか、岬の先端部には西浦温泉があり、自然景観を活かした温泉保養地となっています。西浦温泉のある一帯は三河湾国定公園に指定されており、観光地となっています。人口は6,263人で、市全体の約7.6%を占めています。

(2) 将来人口推計

- ・生産年齢人口は、平成22年から平成52年の間に、3,817人(60.9%)から2,424人(52.4%)まで減少する見込みになっています。
- ・一方で、高齢者人口は平成22年の1,802人(28.8%)から平成32年の2,108人(36.1%)まで増加した後、平成52年には1,733人(37.5%)まで減少する見込みです。既に全市平均よりかなり早いペースで高齢化が進行しており、平成32年以降は高齢者人口についても減少していくことが見込まれます。

図 4-40 将来人口推計（西浦地区）



※実績値は平成22年の国勢調査をもとに作成しています。

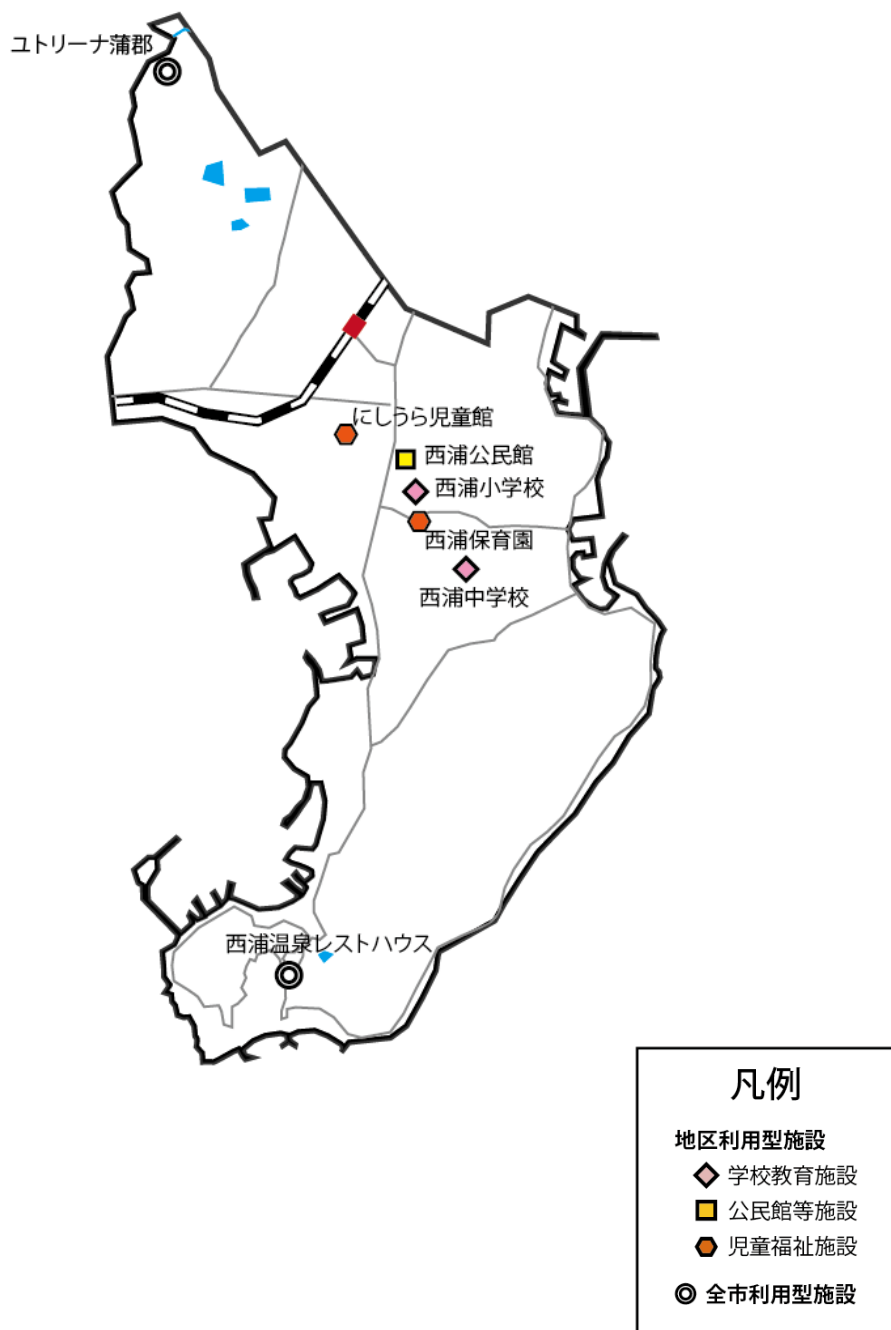
※推計値は国立社会保障・人口問題研究所による推計値（平成22年国勢調査をもとに平成25年3月に公表）をもとに作成しています。

出所：国立社会保障・人口問題研究所、国勢調査

(3) 公共施設の配置状況

・合計 28,535 m²の公共施設が整備されており、地区中心部に集中して施設が立地しています。

図 4-41 公共施設の配置状況（西浦地区）



(4) 老朽化状況・災害対策状況

- ・地区利用型施設は、いずれの施設も老朽化度が 3.0 を下回っています。
- ・西浦公民館、西浦小学校、西浦中学校は避難所に指定され、各種防災設備も整備されており、西浦地区における防災拠点となっています。
- ・全市利用型施設では、西浦温泉レストハウス、西浦園地（駐車場トイレ）の老朽化が進行しています。

図 4-42 公共施設一覧（西浦地区）

利用種別	施設用途 (大分類)	施設用途 (中分類)	施設名称	延床面積 (㎡)	建築年	老朽化 度	危険区域該当		避難所 指定	防災設備の有無			
							津波 浸水	土砂 災害		防災 備蓄 用品	非常用 発電 装置	非常用 通信 装置	災害用 電話 配線
地区 利用 型 施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西浦公民館	1,078	S52	2.5			○	○		○	
	体育施設	児童遊園地等	稲生児童遊園地便所	1	S45	調査対象外							
	児童福祉施設	保育園	西浦保育園	1,184	S58	2.9			○				○
		児童館	にしうら児童館	491	H13	1.8							
	学校教育施設	小学校	西浦小学校	6,101	S31	2.9			○	○	○	○	○
		中学校	西浦中学校	6,737	S38	2.1			○	○	○	○	○
	全市 利用 型 施設	保健・福祉施設	福祉センター等	ユトリーナ蒲郡	1,977	H12	2.3						
観光施設		観光施設	西浦温泉レストハウス	140	S41	3.5		○					
			西浦園地(駐車場トイレ)	127	S44	3.5		○					
			西浦温泉塩柄遊園地	39	S50	調査対象外							
			西浦海水浴場警備詰所	42	S53	調査対象外							
消防施設		消防署等	消防団器具庫9-1	136	H25	1.0							
			消防団器具庫9-2	20	S49	調査対象外		○					
			西浦水防資材庫	9	H8	調査対象外		○					
			西浦防災・水防倉庫	42	H25	調査対象外							
			西浦大震災火災対策用器具格納庫	7	S56	調査対象外							

- ※全市利用型施設のうちクリーンセンター、リサイクルプラザは掲載していません。
- ※複数の建物で構成されている施設の築年数は、最も建築年の古い建物をもとに掲載しています。
- ※「危険区域該当」における「津波浸水」は平成 26 年 5 月 30 日発表 愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査に基づく津波浸水区域を指します。「土砂災害」は愛知県による土砂災害特別警戒区域を指します。
- ※「避難所」は避難施設（長期滞在）及び地域避難所（風水害の一時避難場所）を掲載しています。
- ※「非常用発電装置」は自家発電装置ならびに小型発電機を指します。
- ※「非常用電話配線」は災害時優先電話を指します。
- ※老朽化度 3.0 以上の施設は、黄色の網掛けで表示しています。

(5) 利用状況・コスト状況

- ・地区利用型施設の西浦公民館で研修室等の貸出しを行っています。貸部屋等利用率は20%程度となっており、さらなる利用の促進が求められます。
- ・地区利用型施設の市負担額の合計は約1.77億円で、地区人口1人あたりの市負担額は約28.2千円/人となっています。

図 4-43 市民に部屋等の貸出しを行っている施設における利用率の把握（西浦地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	貸出箇所					
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西浦公民館	研修室1、研修室2、研修室3、料理実習室、講堂、第1集会室、談話室(みやち)、会議室(みやち)					

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	貸部屋等利用率(%)	貸部屋等利用率(%)					
					0.0	20.0	40.0	60.0	80.0	100.0
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西浦公民館	22.8						

※貸部屋等利用率の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

図 4-44 公共施設の利用状況の把握（西浦地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	利用者数			平均入居率(%)	平均園児数(人)	平均児童・生徒数(人)	貸出冊数/蔵書数	貸部屋等利用率(%)	
							3年平均(人)	1日あたり平均(人/日)	面積あたり1日あたり平均(人/m ² ・日)						
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西浦公民館	1,078	S52	2.5	44,433	153.7	0.143	-	-	-	-	22.8	
	体育施設	児童遊園地等	稲生児童遊園地便所	1	S45	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
	児童福祉施設	保育園	西浦保育園	1,184	S58	2.9	-	-	-	-	93	-	-	-	
	学校教育施設	児童館	にしうら児童館	491	H13	1.8	18,156	61.8	0.126	-	-	-	-	-	
		小学校	西浦小学校	6,101	S31	2.9	-	-	-	-	-	229	-	-	
全市利用型施設	保健・福祉施設	福祉センター等	ユトリーナ蒲郡	1,977	H12	2.3	46,817	145.5	0.074	-	-	-	-	-	
		観光施設	観光施設	西浦温泉レストハウス	140	S41	3.5	-	-	-	-	-	-	-	
	観光施設	観光施設	西浦園地(駐車場トイレ)	127	S44	3.5	-	-	-	-	-	-	-	-	
			西浦温泉塩柄遊園地	39	S50	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			西浦海水浴場警備詰所	42	S53	調査対象外	17,000	274.2	6.510	-	-	-	-	-	
			消防施設	消防署等	消防団器具庫9-1	136	H25	1.0	-	-	-	-	-	-	-
			消防団器具庫9-2	20	S49	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			西浦水防資材庫	9	H8	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
	消防施設	消防署等	西浦防災・水防倉庫	42	H25	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	
			西浦大震災対策用器具格納庫	7	S56	調査対象外	-	-	-	-	-	-	-	-	

※利用状況の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

図 4-45 公共施設のコスト状況の把握（西浦地区）

利用種別	施設用途(大分類)	施設用途(中分類)	施設名称	延床面積(m ²)	建築年	老朽化度	市の支出				市の収入(千円)	市の負担額(千円)	面積あたり市負担額(円/m ²)	
							施設に係るコスト(千円)	事業運営に係るコスト(千円)	人に係るコスト(千円)	指定管理料(千円)				
地区利用型施設	公民館等施設	公民館・市民会館	西浦公民館	1,078	S52	2.5	3,340	0	0	7,089	5	10,424	9,668	
	体育施設	児童遊園地等	稲生児童遊園地便所	1	S45	調査対象外	18	0	0	0	0	18	18,000	
	児童福祉施設	保育園	西浦保育園	1,184	S58	2.9	7,851	17,628	64,967	0	17,793	72,653	61,340	
	学校教育施設	児童館	にしうら児童館	491	H13	1.8	2,013	3,371	8,100	0	487	12,997	26,469	
		小学校	西浦小学校	6,101	S31	2.9	37,975	7,407	3,600	0	93	48,889	8,013	
全市利用型施設	保健・福祉施設	福祉センター等	ユトリーナ蒲郡	1,977	H12	2.3	2,661	0	0	26,500	287	28,874	14,601	
		観光施設	観光施設	西浦温泉レストハウス	140	S41	3.5	503	0	0	0	0	503	3,597
	観光施設	観光施設	西浦園地(駐車場トイレ)	127	S44	3.5	4,232	0	0	0	5	4,227	33,273	
			西浦温泉塩柄遊園地	39	S50	調査対象外	456	0	0	0	0	456	11,813	
			西浦海水浴場警備詰所	42	S53	調査対象外	95	0	0	0	0	95	2,248	
			消防施設	消防署等	消防団器具庫9-1	136	H25	1.0	99	0	0	0	99	728
			消防団器具庫9-2	20	S49	調査対象外	4	0	0	0	0	4	219	
			西浦水防資材庫	9	H8	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0	
	消防施設	消防署等	西浦防災・水防倉庫	42	H25	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0	
			西浦大震災対策用器具格納庫	7	S56	調査対象外	0	0	0	0	0	0	0	

※市の支出・収入・負担額の値は3ヵ年度（平成23～25年度）の平均値を掲載しています。

平成 26 年度 蒲郡市公共施設白書

編集・発行 蒲郡市総務部財務課

〒443-8601

愛知県蒲郡市旭町 17 番 1 号

TEL 0533-66-1111 (代表)